

仙 台 市

実施計画

2021-2023

令和3年度 ▶ 令和5年度

仙 台 市

# 目 次

第1章 はじめに .....	1
第2章 チャレンジプロジェクト .....	5
① 杜と水の都プロジェクト .....	10
② 防災環境都市プロジェクト .....	18
③ 心の伴走プロジェクト .....	29
④ 地域協働プロジェクト .....	40
⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト .....	50
⑥ ライフデザインプロジェクト .....	60
⑦ TOHOKU未来プロジェクト .....	68
⑧ 都心創生プロジェクト .....	79
⑨ 市政運営 .....	85
第3章 施策の一覧 .....	93
I 杜の恵みと共に暮らすまちへ	
1 みどり .....	94
2 環境 .....	96
3 防災・減災 .....	97
II 多様性が社会を動かす共生のまちへ	
4 人権 .....	101
5 地域生活 .....	102
6 健康・医療 .....	106
7 安全・安心 .....	108
III 学びと実践の機会があふれるまちへ	
8 教育 .....	111
9 子育て .....	113
10 学び .....	115
IV 創造性と可能性が開くまちへ	
11 経済 .....	118
12 観光 .....	120
13 都市機能 .....	122
V 目指す都市の姿を実現するための市政運営	
14 市政運営 .....	125
第4章 各区の事業一覧 .....	127
青葉区 .....	128
宮城野区 .....	136
若林区 .....	143
太白区 .....	150
泉区 .....	157
第5章 計画の推進 .....	163
参 考 .....	165
チャレンジプロジェクトとSDGsの対応表 .....	166
新型コロナウイルス感染症対策事業一覧 .....	168



# 第1章 はじめに

本実施計画は、仙台のまちづくりの指針である「仙台市基本計画（令和3年度～令和12年度）」に掲げるまちづくりの理念、目指す都市の姿及びその実現に向けた施策の方向性に基づき、基本計画の着実な推進と実効性の確保を図るために策定し、本市が令和3年度から令和5年度までの3年間に取り組む目標と施策を示します。

本章では、本実施計画の基本的な考え方、構成及び凡例を示します。

## 1 基本的な考え方

基本計画では、まちづくりの理念に「挑戦を続ける、新たな杜の都へ ～“The Greenest City” SENDAI～」を掲げています。そして、この理念を具体化する目指す都市の姿として「杜の恵みと共に暮らすまちへ」、「多様性が社会を動かす共生のまちへ」、「学びと実践の機会があふれるまちへ」、「創造性と可能性が開くまちへ」の4つを定めています。

まちづくりの理念及び目指す都市の姿の実現に向け、本実施計画は以下に掲げる4つの基本的な考え方を重視して構成しています。

### (1) 仙台の強みを掛け合わせた取り組みの重視

まちづくりの理念と目指す都市の姿を実現するため、自然と都市機能が調和する杜の都の「環境」、ともに支え合い、より良い暮らしを追求してきた「共生」の理念、多くの若者や教育機関が集積する「学び」の風土、持続可能な「活力」を生み出す中枢機能と広域性など、仙台が培ってきた都市個性を深化させ、掛け合わせ、相乗効果を生み出しながら事業を実施していきます。

### (2) 挑戦を続ける姿勢の重視

人口減少や自然災害など社会を取り巻く環境が大きく変化する中でも、これからも輝き続ける仙台をつくるため、「杜の都」ならではの暮らしの質に磨きをかけ、仙台内外に発信し多くの人を惹きつけるとともに、幅広い分野にデジタル技術を積極的に取り入れるなど、常に都市としての高みを目指し、挑戦を続ける姿勢を持ちながら事業を実施していきます。

### (3) 市民協働によるまちづくりの重視

仙台のまちは、市民一人ひとりの主体的な行動と、多くの方々による協働によって築き上げられてきた歴史があり、協働によるまちづくりの積み重ねは、本市のかけがえのない財産です。仙台に関わるすべての方々とともに、市民協働によるまちづくりを重視して事業を実施していきます。

### (4) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業の展開

2019年（令和元年）に発生した新型コロナウイルス感染症は、社会のあらゆる側面に大きな影響を与えており、一人ひとりの命と、安全に安心して生活できる基盤を守ることが何よりも必要とされています。一方で、危機を乗り越えた先に、より多くの人には選ばれるまちへと変化を遂げるため、本市では、眼前に迫る変化の中から中長期を見据えた可能性を見出して事業を実施していきます。

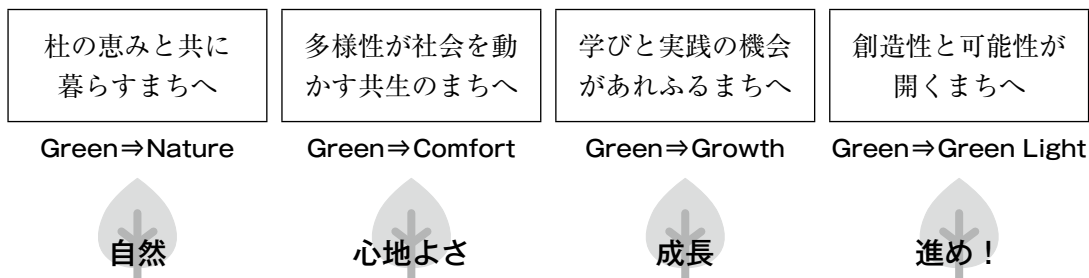
## 2 構成

本実施計画は、基本計画の体系に沿って構成しています。

基本計画		実施計画	内容
はじめに 新たな杜の都に向けて	→	第1章 はじめに	実施計画の基本的な考え方、構成、凡例を示します。
チャレンジプロジェクト	→	第2章 チャレンジプロジェクト	基本計画における「チャレンジプロジェクト」及び「未来をつくる市政運営」の推進に向け、実施の方向性を具体化する施策と事業を示します（全156事業）。
未来をつくる市政運営	→	第3章 施策の一覧	基本計画における「未来をつくる市政運営」の「施策の一覧」に基づき、実施する施策と事業を一覧表で示します（全283事業）。
区ごとの地域づくりの方向性	→	第4章 各区の事業一覧	基本計画における「区ごとの地域づくりの方向性」に基づき、実施する事業を一覧表で示します。
計画の推進	→	第5章 計画の推進	実施計画の実効性を確保するため、進捗管理と評価に向けた取り組みを示します。
		参考	チャレンジプロジェクトとSDGsの対応表、新型コロナウイルス感染症対策事業一覧を示します。

## 3 凡例

本実施計画では、それぞれの施策がどの目指す都市の姿の実現に向けた取り組みであるかを示すため、以下の凡例を付して整理しています。





## 第2章 チャレンジプロジェクト

基本計画で掲げる「挑戦を続ける、新たな杜の都へ ～“The Greenest City” SENDAI～」の理念のもと、4つの目指す都市の姿の実現に向け、仙台の強みや現状を踏まえて、仙台市が重点的に取り組む施策と事業を掲げます。

### <構成>

チャレンジプロジェクトごとに、以下の構成としています。

- ・冒頭に、基本計画における「チャレンジプロジェクト」で掲げる目標及び実施の方向性を示します。
- ・施策ごとに、概要、数値目標、目指す都市の姿との関連を示すアイコン及び実施の方向性との対応関係を示します。続いて、事業ごとに、概要、年次計画及び担当を示します。
- ・本章では、基本計画における「チャレンジプロジェクト」のほか、「未来をつくる市政運営」に該当する施策と事業も併せて掲載します。

## チャレンジプロジェクトにおける施策と事業の一覧

プロジェクト	施策	事業	頁数
① 杜と水の都プロジェクト	① 青葉山エリア魅力創出	・ 全国都市緑化フェア推進事業 ・ 青葉山公園整備事業 ・ 広瀬川創生・清流保全事業 ・ 仙台城跡整備推進事業	P11 P11 P11 P12
	② グリーンインフラを活用した都心まちづくり	・ 定禅寺通活性化推進事業 ・ 都心部みどりの回廊づくり事業 ・ 勾当台公園再整備事業 ・ 西公園再整備事業	P12 P13 P13 P13
	③ 杜の都の景観を彩るみどりのまちづくり	・ 杜の都の風土を育む景観形成推進事業 ・ 公園マネジメント事業 ・ 街路樹マネジメント事業 ・ 都市公園整備事業	P14 P14 P15 P15
	④ 交遊の海辺づくり推進	・ 海浜エリア活性化事業 ・ 東部地域移転跡地利活用推進事業 ・ ふるさとの杜再生プロジェクト ・ 海岸公園整備事業 ・ せんだい・アート・ノード・プロジェクト	P16 P16 P17 P17 P17
② 防災環境都市プロジェクト	① 防災環境都市づくり推進	・ 防災環境都市づくり推進事業 ・ 震災復興メモリアル事業 ・ 成長産業振興事業 ・ 仙台版防災教育推進事業	P19 P19 P20 P20
	② 新型コロナウイルス感染拡大防止	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止事業	P21
	③ 防災・減災発信強化	・ 津波避難広報体制強化事業 ・ 災害時情報伝達体制強化事業 ・ 防災意識の周知啓発強化事業 ・ 体験型防災学習機能の充実強化事業	P22 P22 P22 P23
	④ 消防体制強化推進	・ 消防団充実強化事業 ・ 市民ニーズに対応した救急体制推進事業 ・ 地域密着で取り組む火災の無いまちづくり事業 ・ 災害活動能力充実強化事業	P23 P24 P24 P24
	⑤ 脱炭素都市づくり推進	・ 脱炭素都市づくり推進事業 ・ 公共施設低炭素化事業 ・ 環境教育・学習推進事業	P25 P25 P26
	⑥ 資源循環都市づくり推進	・ ごみ減量・リサイクル推進事業	P26
	⑦ 都市交通戦略推進	・ 新たな都市交通政策推進事業 ・ 公共交通利用促進事業 ・ 地域交通運行確保・運行支援事業 ・ 広域交通ネットワーク整備事業	P27 P27 P28 P28
③ 心の伴走プロジェクト	① インクルージョン推進	・ 男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業 ・ 多様な性の理解促進・性的少数者支援事業 ・ 障害理解促進事業 ・ 多文化共生推進事業	P30 P30 P31 P31

プロジェクト	施策	事業	頁数
③心の伴走 プロジェクト	②地域支えあいの基盤づくり	・ 地域福祉推進事業	P32
		・ 障害者相談支援体制推進事業	P33
		・ 障害者グループホーム整備促進事業	P33
		・ 障害者福祉センター整備事業	P33
		・ 就学前療育支援体制整備事業	P33
		・ 発達障害児者支援体制整備事業	P34
		・ 高齢者生活支援事業	P34
		・ 認知症地域支援推進事業	P34
	③社会的自立支援	・ 生活困窮者自立支援事業	P35
		・ ひきこもり者地域支援事業	P35
		・ ひとり親家庭等支援推進事業	P35
		・ 青少年自立促進事業	P36
	④子どもの安全・安心確保	・ いじめ防止等対策推進事業	P37
		・ 児童虐待防止推進事業	P37
		・ 社会的養育推進事業	P37
		・ 子どもの居場所づくり推進事業	P38
		・ 児童相談所機能強化事業	P38
	⑤心を支える取り組み推進	・ 自殺対策事業	P38
		・ 命を大切に教育推進事業	P39
④地域協働 プロジェクト	①協働が生まれる基盤整備	・ クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進事業	P41
		・ 地域づくりパートナーサポート事業	P41
		・ 市民センター整備事業	P42
		・ コミュニティ・センター整備事業	P42
		・ 地域交通運行確保・運行支援事業【再掲】	P42
		・ まち再生・まち育て活動支援事業	P43
		・ ストック活用型都市再生推進事業	P43
		・ マンション等コミュニティ強化事業	P44
	②地域づくりパートナーシップ推進	・ 先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業	P44
		・ 海浜エリア活性化事業【再掲】	P44
		・ 「小さくても未来へつながる連携」促進事業	P45
		・ 泉中央地区活性化事業	P45
		・ 若者が活躍するまちづくり事業	P46
	③ユースチャレンジ推進	・ 学生の参加による地域づくり推進事業	P46
		・ みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業	P47
		・ わかばやし地学連携推進事業	P47
		・ たいはく若者まちづくりフォーラム事業	P47
		・ 大学連携地域づくり事業	P47
		・ 宮城地区西部活性化事業	P48
	④西部地区活性化	・ 生出地区活性化事業	P48
		・ 秋保地区活性化事業	P49
		・ 泉区西部活性化事業	P49

プロジェクト	施策	事業	頁数
⑤笑顔咲く 子ども プロジェクト	①挑戦する力を育てる学び 推進	・ ICT 教育推進事業 ・ 新学習指導要領を踏まえた教育の充実事業 ・ 仙台自分づくり教育推進事業 ・ 確かな学力育成事業	P51 P51 P52 P52
	②個性に応じた一人ひとりの 学び推進	・ 35 人以下学級推進事業 ・ 学校における働き方改革推進事業 ・ 不登校対策推進事業 ・ 特別支援教育推進事業	P53 P53 P53 P54
	③学校・地域・家庭の協働 による学びや成長の環境 づくり推進	・ 放課後児童クラブ推進事業 ・ コミュニティ・スクール推進事業 ・ 学校支援地域本部事業 ・ 地域学校協働活動推進事業	P55 P55 P55 P55
	④切れ目のない子育て支援	・ のびすく運営事業 ・ 子ども・子育てに関するオンライン等相談事業 ・ 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業 ・ 児童館整備・運営事業 ・ 保育士等人材確保推進事業 ・ 保育施設・幼稚園における保育の提供体制充実事業	P56 P57 P57 P57 P58 P58
	⑤子育て応援社会推進	・ 子どもの遊びの環境充実事業 ・ 子育てに関する情報発信充実事業 ・ 子ども・子育てを応援する各種プロジェクト展開事業	P59 P59 P59
⑥ライフ デザイン プロジェクト	①多彩な学びと実践の環境 づくり推進	・ 文化芸術によるまちの魅力づくり事業 ・ 音楽ホール整備事業 ・ ミュージアム連携事業 ・ せんだい・アート・ノード・プロジェクト【再掲】 ・ 仙台城跡整備推進事業【再掲】 ・ 電子図書館サービス導入事業	P61 P61 P61 P62 P62 P62
	②多様な主体の活躍推進	・ 働く女性の活躍推進事業 ・ 障害者就労支援体制整備事業 ・ 高齢者社会参加・生きがいづくり促進事業 ・ 市民センターによる地域づくり支援事業	P63 P63 P64 P64
	③ヘルスケア向上推進	・ 一般介護予防推進事業 ・ 市民健康づくり推進事業 ・ 被災者の健康支援事業 ・ ウェルビーイング産業振興事業 ・ 六郷地区の健康づくり推進事業	P65 P65 P66 P66 P66
⑦ TOHOKU 未来 プロジェクト	①ローカルイノベーション 推進	・ 国家戦略特区推進事業 ・ 経済産業政策推進事業 ・ 成長産業振興事業【再掲】 ・ 次世代放射光施設関連産業振興事業 ・ 企業立地促進事業	P69 P69 P70 P70 P70
	②起業支援	・ 起業支援事業	P71
	③地域経済循環促進	・ 地元企業成長促進事業 ・ 人材確保定着・雇用対策事業 ・ 中小企業経営基盤強化事業	P72 P72 P72

プロジェクト	施策	事業	頁数
⑦ TOHOKU 未来 プロジェクト	④農業振興	・ 農食ビジネス支援事業 ・ 農業経営体育成支援事業 ・ 農業生産基盤整備事業 ・ 先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業【再掲】	P73 P73 P74 P74
	⑤仙台・東北交流人口拡大	・ 東北観光推進事業 ・ 観光客誘致宣伝事業 ・ インバウンド推進事業 ・ MICE 推進事業	P74 P75 P75 P75
	⑥仙台観光コンテンツ創出	・ まつり等開催支援事業 ・ 仙台観光魅力創出事業 ・ 国際スポーツイベント等の開催・招致事業 ・ 青葉山公園整備事業【再掲】	P76 P76 P76 P77
	⑦西部地区魅力向上推進	・ 西部地区観光振興事業 ・ 秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業 ・ 秋保地区交流人口拡大事業	P77 P78 P78
	①都心のビジネス環境向上	・ 起業支援事業【再掲】 ・ 企業立地促進事業【再掲】 ・ まちなか拠点整備事業 ・ まちなか建替促進事業	P80 P80 P80 P81
	②巡りたくなる都心の魅力づくり	・ 定禅寺通活性化推進事業【再掲】 ・ 市役所本庁舎建替事業 ・ 中心部商店街活性化促進事業 ・ 音楽ホール整備事業【再掲】	P82 P82 P82 P83
		・ まちなかウォークابل推進事業 ・ まち再生・まち育て活動支援事業【再掲】 ・ ストック活用型都市再生推進事業【再掲】 ・ 勾当台公園再整備事業【再掲】	P83 P83 P83 P84
		・ 西公園再整備事業【再掲】	P84
	①持続可能な都市基盤づくり推進	・ 機能集約型都市づくり推進事業 ・ 地下鉄沿線まちづくり推進事業	P85 P85
	②公共施設経営推進	・ 公共施設総合マネジメント推進事業 ・ 泉区役所建替事業 ・ 市役所本庁舎建替事業【再掲】 ・ 下水道施設再構築事業 ・ 浄水場統合推進事業	P86 P86 P86 P87 P87
⑨市政運営	③公共インフラ災害対策	・ 無電柱化推進事業 ・ 道路防災対策事業 ・ 河川改修事業 ・ 下水道浸水対策事業 ・ 下水道地震対策事業 ・ 水道施設災害対策事業	P87 P88 P88 P88 P89 P89
	④ガス事業民営化推進	・ ガス事業民営化推進事業	P89
	⑤人材育成機能・組織力強化	・ 人材育成機能・組織力強化事業	P90
	⑥デジタル化推進	・ デジタル化推進事業	P90

## ① 杜と水の都プロジェクト

### 目 標

### 「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくる

「杜の都」という言葉に代表される自然と調和した都市空間は仙台の歴史的な財産であり、この魅力をさらに磨くことで、みどりがもたらす様々な効果を実感できる居心地の良い空間を広げていきます。加えて、「杜の都」を形づくる川や海などの水辺に、より親しめる空間をつくることなどを通じて、たくさんの人が集い、交流し、たびたび訪れたいくなるような魅力的な都市空間をつくりまします。

### 実施の 方向性

### 01 「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる

- ◆ 「杜の都」の象徴である定禅寺通や青葉通、宮城野通などについて、市民も来訪者も楽しめる空間づくりに取り組むとともに、それらの空間を活用した多様なアイデアを実践できる機会をつくりまします。
- ◆ 通りを歩き、時間を過ごしたくなるような居心地の良い空間をデザインするとともに、建築物や広告物などが街並みと調和した良好な景観を形成します。

### 02 みどりを楽しめる生活空間をつくる

- ◆ 利用者のニーズを踏まえた様々なアイデアを取り入れながら、周辺環境と調和した魅力ある公園をつくりまします。
- ◆ 街路樹のきめ細かな管理や、みどりを守り育む活動を通じて、美しい景観をつくるとともに、みどりを楽しむことができる機会をつくりまします。

### 03 水辺を楽しめる親水空間をつくる

- ◆ 広瀬川をはじめとする水辺において、市民から観光客に至るまで、誰もが親しみやすく、楽しめる親水空間をつくりまします。
- ◆ 自然環境、海岸公園、レクリエーション施設などの海辺の資源の活用やネットワーク化を進め、東部沿岸地域一帯に賑わいを生み出します。

## ① 青葉山エリア魅力創出

概要	地域内外から人を惹きつける仙台の新たな魅力を創出するため、青葉山エリアにおいて青葉山公園などの整備を進めるとともに、全国都市緑化フェアの開催を契機として眺望空間づくりや広瀬川の活用を進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	青葉山公園（公園センター地区）整備進捗率	—	100%（令和5年度）
	広瀬川魅力創生ゴールドサポーター認定数	—	3件（令和5年度）
	広瀬川創生・清流保全事業における重点事業の参加者満足度	—	80.0%（令和5年度）
	仙台北城跡の来場者数	58万人（平成30年度）	60万人（令和5年度）

## 全国都市緑化フェア推進事業

- 都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及などを図ることにより、みどり豊かな潤いのある都市づくりを進め、仙台市の代名詞である「杜の都」の魅力を広く発信することを目的として、国内最大級の花とみどりの祭典である全国都市緑化フェアを令和5年度に開催します。
- 青葉山公園追廻地区では、見どころとなる花壇や庭園などを展開するとともに、西公園南側地区では、広瀬川・大橋・青葉山を望む良好な景観を活かした会場づくりを行います。また、広瀬川では、大橋周辺の河川敷へのアプローチや散策路などの親水施設を整備します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
実行委員会 設立準備	実行委員会 設立	会場準備・開催準備
		開催

担当：建設局全国都市緑化フェア推進室

青葉山公園整備事業  
※関連P77

- 「青葉山公園整備基本計画」に基づき、仙台の礎である仙台北城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる公園の整備を進めます。
- 追廻地区については、（仮称）公園センターを起点に、広瀬川や仙台北城跡の眺望など、広がりや奥行きを持った空間を展開し、活動の場としても機能する空間をつくります。
- 国史跡指定地区については、仙台北城跡の遺構などを保全するとともに、水堀の再生、土塁の顕在化などにより歴史的な景観を充実させ、展望や散策により来訪者に歴史と文化を堪能してもらう空間をつくります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
公園センター新築工事		
	追廻地区広場整備工事（公園センター地区）	
	公園センターの運営	

担当：建設局公園課

## 広瀬川創生・清流保全事業

- 「広瀬川創生プラン」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境の保全や安全安心な川づくり、そして新たな魅力の創出について、市民と協働で取り組みます。また、「広瀬川の清流を守る条例」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境や景観などを保全します。
- 令和5年度に開催される全国都市緑化フェアに向けて、大橋周辺の河川敷へのアプローチや散策路などの親水施設を整備します。
- 広瀬川での市民活動団体のイベント情報などを集約し情報を発信するとともに、活動団体同士の連携を促進します。また、事業負担金の交付や広瀬川魅力創生サポーターの認定を行います。
- 緑化木の交付や緑化助成の制度をPRし、環境保全区域内の広瀬川周辺において、さらなる緑化や維持を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
大橋周辺での親水施設設計	散策路など親水施設工事	親水施設を活用した市民イベントなどの活動支援
各活動団体から広瀬川でのイベント情報などを集約し、本市が情報を発信		

担当：建設局河川課

**仙台北城跡整備  
推進事業**  
※関連 P62

- 歴史と趣を感じる城郭らしい景観と、来訪者が学びを楽しむことのできる環境を実現するため、仙台北城跡の史跡整備を計画的に進めます。
- 仙台北城築城期の大手道とされる巽門登城路や、大手門周辺における測量調査・発掘調査などを計画的に実施し、整備に向けた史跡の実態解明を行います。
- 植生調査を実施し、これに基づき「植生修景計画」を策定のうえ、本丸跡をはじめとする城郭全体にかかる景観の整備を行い、歴史的な背景を踏まえた眺望（政宗ビュー）を実現します。
- 発掘調査成果に基づく巽門登城路の再現や土塁の顕在化、法面保護など、史跡の保存と活用のための整備を行います。
- 大手門復元については、令和3年度から令和12年度の事業計画期間において、絵図、文献、古写真などの調査や、周辺部を含む地形測量や発掘調査などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
大手門復元関連基礎調査を含む各種調査の実施		
植生調査、本丸縁辺地・東丸土塁の景観整備		
	東丸土塁の史跡整備	

担当：教育局文化財課



**2 グリーンインフラを活用した都心まちづくり**

実施の方向性

01・02

概要	「杜の都」という言葉を体現する空間を都心に広げるため、その象徴である定禅寺通エリアにおける空間利活用などのまちづくりを推進するとともに、勾当台公園や西公園を再整備するなど、みどりが持つ多様な機能を日々の暮らしやまちづくりに生かしていきます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	定禅寺通における歩行者・自転車運転者通行量	12:00-13:00 725人 17:00-18:00 852人 (令和元年度)	基準値以上
	仙台北城心部緑化重点地区内緑被率	14.2% (令和元年度)	基準値以上
	仙台北城心部主要路線緑視率	31.7% (平成26年度)	基準値以上
	勾当台公園再整備基本計画策定進捗率	—	100% (令和4年度)
	西公園再整備進捗率	—	85% (令和5年度)

**定禅寺通活性化推進事業**  
※関連 P82

- にぎわいや人の流れの仙台北駅周辺への集中及び定禅寺通を含むエリアの歩行者通行量の減少を踏まえ、本エリアの魅力を生み出し、まちなか全体の回遊性を高めるため、市役所本庁舎建て替えなど重要なプロジェクトと一体性を確保しながら、官民連携による定禅寺通エリアの活性化に取り組みます。
- 仙台北市と定禅寺通活性化検討会（地元関係者を中心に構成）が共催する本格的な社会実験において、市は将来的な道路空間再構成を見据えた車線規制、交通量調査やシミュレーション、利活用効果に係る調査などを実施し、定禅寺通活性化検討会は歩行者空間などの利活用や情報発信・集客コンテンツを企画・実施します。定禅寺通活性化検討会として、その成果や検

証結果・課題も反映させた「まちづくり基本構想」を取りまとめます。

- 定禅寺通活性化検討会による「まちづくり基本構想」を踏まえ仙台市の方針をとりまとめ、事業化を目指します。定禅寺通活性化検討会は、「まちづくり基本構想」をもとに主体的な空間利活用事業などを開始するとともに、エリアマネジメント体制の構築・発展に向けた議論も継続します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
社会実験実施	仙台市の方針策定	具体的な事業実施
まちづくり基本構想策定	エリアマネジメント体制議論	
	地域による主体的な利活用事業などの実施	

担当：まちづくり政策局定禅寺通活性化室

### 都心部みどりの回廊づくり事業

- 市民や来訪者が心地よく過ごせる質の高いみどりの空間を創出するため、仙台駅を中心に半径2 km程度の圏内において重点的に緑化を推進します。
- 仙台都心部緑化重点地区での開発や建築について、グリーンインフラを推進するための助成のほか、国のグリーンインフラ活用型都市構築支援事業や市民緑地制度を組み合わせることで、質の高い緑化を誘導します。
- 公開空地や条例に基づく緑化計画に係る建築物等緑化ガイドラインを策定し、質の高い緑化を誘導します。
- みどりの回廊の拠点となる公園の再整備を進め、「仙台市公園マネジメント方針」により利活用を推進し、にぎわいを創出します。
- 街路樹について、路線ごとの整備・管理計画の策定により、心地良い街路空間を創出します。
- 仙台駅前ペデストリアンデッキや定禅寺通などを花で修景します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台都心部緑化重点地区における質の高い緑化の誘導		
助成制度見直し		
建築物等緑化ガイドライン策定	ガイドラインによる質の高い建築物緑化の誘導	
みどりの回廊の拠点となる公園の再整備・利活用の推進		
街路樹の路線ごとの管理計画の策定、仙台駅東口エリアの改植		
花による修景		

担当：建設局百年の杜推進課

### 勾当台公園再整備事業 ※関連P84

- 「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」のほか、市役所本庁舎の建て替え、定禅寺通活性化など、周辺で進む関連プロジェクトの内容を踏まえ、市内中心部の日常的なにぎわい・交流を創出する勾当台公園の再整備を進めます。
- 有識者による検討懇話会を立ち上げ、勾当台公園の目指す方向性やあり方、施設整備の具体的な構想について検討を進め、「再整備基本構想」を策定します。
- 「再整備基本構想」に基づき、「再整備基本計画」を策定するとともに、再整備基本設計・実施設計を実施し、再整備工事に着手します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本構想の策定	基本計画の策定	基本設計
		実施設計

担当：建設局公園課

### 西公園再整備事業 ※関連P84

- 地下鉄東西線大町西公園駅の整備など、周辺環境が大きく変化した西公園について、みどりの持つ多様な機能を最大限活用するとともに、定禅寺通の活性化や都心のまちづくりも見据えた再整備を推進します。
- 南側区域のプール跡地では、園路・多目的広場整備などを行うとともに、北側区域の図書館跡地付近では、園路などの再整備を行います。

- 子どもが遊ぶ機会づくりや子育てイベントの開催など、整備した公園の活用を通じて、誰もが地域づくりに関わることのできるような、多様な協働の生まれる機会をつくります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
南側区域プール跡地における基盤整備・園路整備		広場などの整備
トイレ設計	トイレ整備	

担当：建設局公園課

自然

心地よさ

実施の方向性

01

### ③ 杜の都の景観を彩るみどりのまちづくり

概要	仙台商しく魅力的で居心地の良い景観形成を推進し、みどりに囲まれた環境をつくるため、都市空間の質の向上に向けて景観施策を推進するとともに、街路樹・公園のマネジメントや都市公園の整備を進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	景観計画や景観地区に基づく届出など対象行為の基準適合率	100%（令和元年度末）	基準値を維持
	都市公園における官民連携事業延べ実施件数	3件（令和2年度）	5件（令和5年度）
	都市公園におけるサウンディング調査実施件数	—	2回（令和5年度）
	街路樹更新進捗率	—	13%（令和5年度）
	高砂中央公園整備進捗率	—	90%（令和5年度）

#### 杜の都の風土を育む景観形成推進事業

- 景観法に基づく「仙台市『杜の都』景観計画」の改定を行い、建築物・工作物の新築・増築に対する行為の制限などにより、良好な景観形成を図ります。
- 有効なオープンスペース創出のためのガイドラインを作成し、まちの回遊や滞留を促進するような整備の誘導を図ります。
- 屋外広告物のためのガイドラインの作成・活用により優れた広告物の誘導を図るとともに、はり紙、はり札など違反広告物の除却を実施し、良好な景観形成を図ります。
- 市民による自主的な景観づくりのための活動支援を検討します。
- 杜の都景観重要建造物など景観資源のさらなる保全・活用を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
景観計画の改定	良好な景観形成の誘導	
オープンスペースガイドライン作成、有効なオープンスペースの整備の誘導		
屋外広告物ガイドラインの作成、優れた広告物の誘導		
	景観資源の調査・活用の検討	

担当：都市整備局都市景観課

#### 公園マネジメント事業

- 「仙台しみどりの基本計画」に基づき、公園資源を有効に活用し、公園の魅力を向上させるとともに、都市の魅力向上にもつなげる取り組みを推進します。
- 地域ごとの公園機能の見直しに伴う機能再編事業を進めるとともに、新たな公園利用ニーズに対応した公園整備・再整備を進めます。
- Park-PFIの活用や指定管理者制度の充実など、PPP/PFI事業を推進するとともに、公園管理業務委託から指定管理者制度への移行を推進します。また、指定管理者制度におけるパークコーディネーターの設置・育成を試行します。
- ホームページなどによる施設情報の発信の充実を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
公園機能の見直しに伴うストック再編事業、ニーズに即した公園整備・再整備		
PPP/PFI事業の推進、指定管理者制度の充実		
施設情報の発信充実		

担当：建設局公園課

## 街路樹マネジメント事業

- 「仙台市みどりの基本計画」に基づき、定禅寺通や青葉通のケヤキ並木など「杜の都」を象徴するみどりである街路樹が、都市景観の形成や都市環境の改善など、みどりの多機能性を十分発揮できるよう、街路樹の計画的な更新や維持管理を行い、都市の魅力ある資源として活用します。
- 街路樹健全度調査の実施、台帳システムの保守点検・更新、事業展開プランの策定、総合的な街路樹管理計画の作成・運用を通じて、街路樹の計画的な更新・維持管理の仕組みをつくりまします。
- 街路樹の根上がり対策や、剪定講習会・剪定業務の成績評価制度の導入など街路樹を剪定する技術向上の取り組みなどを通じて街路樹の整備・更新・管理を行うとともに、街路樹を生かしたまちづくりを推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
街路樹健全度調査		
街路樹管理計画の作成	街路樹管理計画の運用	
街路樹更新計画の作成	街路樹更新モデル事業の実施	街路樹更新事業の実施

担当：建設局公園課

## 都市公園整備事業

- 防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。
- 高砂中央公園、大年寺山公園、住区基幹公園の整備・再整備を行います。
- 子どもの健全な育ちや、充実した子育て環境に寄与する公園の整備・再整備を進めます。
- 有料運動公園施設の計画的改修や、快適に散歩や運動のできる園路広場、健康遊具の整備など、市民の健康を支える公園づくりを進めます。
- グリーンインフラの定着・高質化に向けて、公園整備に係る資機材・工法の積極的活用やグリーンインフラの技術的要素を取り入れた公園整備ガイドラインの策定、雨水流出抑制などの取り組みを進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
公園整備・再整備		
子育てや健康づくりに寄与する公園整備・利活用		
グリーンインフラの技術的要素を取り入れた公園整備ガイドラインの調査・検討・策定		

担当：建設局公園課、各区公園課

## 4 交遊の海辺づくり推進

概要	東日本大震災から10年が経過した東部沿岸地域において、復興の次のステージを目指すため、様々な主体との協働による海浜エリアの活性化を推進するとともに、ふるさとの杜の再生や海岸公園の整備、集団移転跡地の利活用などを通じて、海辺の新たなにぎわいづくりに取り組みます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	東部沿岸地域の協議体への参加団体数	10団体（令和2年度）	15団体（令和5年度）
	東部地域移転跡地利活用事業を開始した面積の割合	3 %（令和元年度末）	100%（令和5年度）
	育樹に関するイベントやプログラムの実施回数	6回（令和元年度）	基準値以上
	荒浜地区におけるパークゴルフ場のホール数	—	27ホール（令和5年度）

海浜エリア活性化事業  
※関連P44

- 東部沿岸地域の持続的な回遊性を構築するために、各種データの収集・分析を行うほか、自然・農業・観光等に関する専門家からの意見聴取を行うとともに、様々な交通手段による回遊性向上のための検証を行います。
- 東部沿岸地域のにぎわいづくりを目指す仙台東部エリア交流施設連絡協議会における検討や地域住民・地域活動団体・防災集団移転跡地利活用事業者等との意見交換を進めます。
- 地域団体が自主的・自発的に企画実施する、農業振興や地域PRなど東部沿岸地域の活性化に資する取り組みに対する支援を行います。
- 貞山運河跡への桜植樹等、新たな名所づくりを進めるほか、多くの方が来訪しやすい環境の整備、深沼海水浴場のあり方などについての検討を進めます。また、「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」の活用・発信を支援するとともに、これらの震災メモリアルスポットなど海辺の魅力を発信します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種リサーチの実施		交通資源実証実験
地域住民・地域活動団体・防災集団移転跡地利活用事業者などとの連携		
桜植樹、来訪環境の整備、「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」の活用・発信支援		
ホームページ等による海辺の魅力の発信		

担当：文化観光局観光課、宮城野区まちづくり推進課、若林区まちづくり推進課

東部地域移転跡地利活用推進事業

- 東日本大震災により被災した東部沿岸地域の防災集団移転跡地のうち、七北田川以南の南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚の5地区について、民間の自由な発想や提案を最大限に生かした利活用を図り、地域の新たな魅力を創出していきます。
- 利活用事業者による事業開始に向けて、事業者や関係部署と調整を進めるとともに、事業者が継続して土地を利用できるように、荒浜地区の地区計画の決定や必要な公共施設の整備を行います。
- 地域の新たな魅力を創出する場とするために、利活用事業者・地域住民・関係部署と協力するとともに、東部沿岸地域の各施設と連携を図り、情報発信を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業開始に向けた利活用事業者や関係部署との調整		
地区計画の決定、公共施設の整備		
東部沿岸地域の各施設との連携・情報発信		

担当：都市整備局市街地整備課

## ふるさとの杜 再生プロジェクト

- 東日本大震災前に東部地域の風景を構成し、防潮、防風、防砂や生物多様性の保全などの機能を有していた海岸防災林や居久根などのみどりを再生するとともに、新たなみどりの創出を図ります。
- 荒浜地区貞山運河沿いと高砂中央公園における植樹、海岸公園藤塚地区における海岸防災林の植樹を市民協働で実施します。また、これまでに植樹が完了した海岸防災林や公園のみどりについて、「ふるさとの杜」として市民協働で育てていくために、育樹イベントを開催します。
- 育樹・植樹への市民参加をさらに促進するため、市民協働で苗木を育てるほ場を整備するとともに、子ども向けの参加プログラムを実施します。
- 東部地域の歴史・文化的な農村風景を構成してきた居久根について、津波に耐えて残った場所は保全や活用、流失した場所については再生支援に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
荒浜地区貞山運河、高砂中央公園、海岸公園藤塚地区での植樹		
育樹イベントの開催		
苗木育成用ほ場の整備		ほ場の運営・活用
子ども向けの参加プログラムの実施		
居久根の保全・活用と再生支援の実施		

担当：建設局百年の杜推進課

## 海岸公園整備 事業

- 東日本大震災の津波により大きな被害を受けた海岸公園について、津波防災機能や震災の記憶を継承する新たな役割を持たせながら、自然と人がつながり、新たなにぎわい・交流をつくる公園としての整備を行います。
- 荒浜地区については、パークゴルフ場を増設するとともに、駐車場を整備し、利便性の向上と利用促進を図ります。また、「ふるさとの杜再生プロジェクト」の一環として、貞山運河沿いに桜植樹ゾーンを設け、植栽・園路整備を行います。
- 岡田地区については、親水護岸などの整備を検討します。
- 藤塚地区については、海岸防災林の拡充や駐車場・トイレなどの整備を行います。また、貞山運河などの河川の融合した良好な空間形成を目指すため、国交省の「かわまちづくり支援制度」の活用を検討します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
パークゴルフ場整備、桜園路整備		
各種施設整備		

担当：建設局公園課

## せんだい・アート・ノード・プロジェクト ※関連P62

- 文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるため、アートプロジェクトを展開します。
- 被災地域である貞山運河沿いで作品制作を通じた南北の往来を促進するとともに、里海の魅力を引き出し、新たな価値を創造するアートプロジェクトを展開します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
川俣正/仙台インプログレスの推進		
今後の展開の検討・実施		

担当：教育局生涯学習課

## ② 防災環境都市プロジェクト

### 目 標

### 持続可能でしなやかな都市環境をつくる

2015年、災害リスクの低減に向けた国際的な取組指針である「仙台防災枠組2015-2030」と、脱炭素を目指す「パリ協定」が採択され、防災・減災の推進と自然環境との調和は世界的な潮流となっています。「杜の都」の豊かな環境を守り、活かしながら、災害リスクの軽減にもつなげる「防災環境都市」を世界に発信するとともに、災害への対応や環境配慮の視点を日常生活に織り込み、持続可能でしなやかな都市環境をつくります。

### 実施の 方向性

### 01 防災・減災の備えを日常生活に織り込む

- ◆ 自然災害や感染症などあらゆる危機への対応力を向上させるとともに、防災・減災への取り組みを通じて地域のつながりを深めます。
- ◆ 市民参加型のフォーラムや国際会議の開催、震災メモリアル施設の活用、国際的な防災の基準づくりなどを通じて、東日本大震災の経験と教訓を国内外に発信します。
- ◆ 産学官金連携によるオープンイノベーションの取り組みを通じて、防災・減災の視点を取り入れた新たな製品・サービスを創出します。

### 02 環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる

- ◆ 再生可能エネルギーの導入などエネルギーの地産地消を進めるとともに、消費エネルギーの削減や廃棄物の発生抑制を進めるなど、脱炭素型の日常生活や事業活動の輪を広げ、温室効果ガスの削減を進めます。
- ◆ プラスチックの3Rと再生可能資源への代替化の推進、食品ロスの削減などを通じて、様々な資源が効果的に循環する仕組みをつくります。

### 03 都市インフラの持続可能性を高める

- ◆ 自然や生態系の機能を活かしたグリーンインフラの充実を通じて、公園・農地・樹林地を活用した保水・浸透機能や火災の延焼防止等防災機能の向上、道路・公共施設等の更新に合わせた雨水の貯留浸透機能の向上などを図ります。
- ◆ 高断熱化・高気密化等によるネット・ゼロ・エネルギー・ビルディングやグリーンビルディングの導入など、新築や建て替え、改修を契機とした、建築物の環境性能の向上を図ります。
- ◆ 環境に優しい暮らしの浸透を図るため、公共交通・自転車などの移動手段やMaaSなどの生活の利便性を高めるサービスの利用を広げるとともに、災害時における人や物の安定的な輸送環境をつくります。

## ① 防災環境都市づくり推進

概要	「杜の都」の豊かな環境を保全しながら、災害にも強い都市をつくるため、災害に対応する担い手の育成や震災メモリアル施設の活用、防災分野の新事業創出などを通じて、東日本大震災の経験と教訓の継承を図ります。		
	項目	基準値	目標値
数値目標	防災環境都市づくりに関するステークホルダー育成事業の参加者数	4,000 人（令和元年度）	4,000 人（令和 5 年度）
	防災フォーラムなどへの参加者数	3,500 人（平成 30 年度）	3,500 人（令和 5 年度）
	せんだい 3.11 メモリアル交流館の来館者数	平均 55,900 人/年 （平成 28～令和元年度）	60,000 人（令和 5 年度）
	震災遺構仙台市立荒浜小学校の来館者数	平均 78,400 人/年 （平成 29～令和元年度）	80,000 人（令和 5 年度）
	せんだい 3.11 メモリアル交流館における他地域・他団体などの協力事業数	平均 33.3 件/年 （平成 29～令和元年度）	30 件（令和 5 年度）
	3 がつ 11 にちをわすれないためにセンターのウェブサイト閲覧数	平均 2,173,000 件/年 （平成 30～令和元年度）	2,000,000 件（各年度）
	成長産業振興事業を通じた新たな製品・サービスの開発件数	32 件（令和元年度）	合計 54 件（令和 3～5 年度）
	仙台版防災教育に関する防災主任研修回数	2 回（令和元年度）	基準値を維持

## 防災環境都市づくり推進事業

- 東日本大震災の被災地としての役割、仙台防災枠組の採択都市としての役割を踏まえ、「杜の都」の豊かな環境を活かしながら、日常生活に防災と環境配慮が織り込まれた防災環境都市づくりを進めます。
- 関係機関や地域などとのネットワークを活かしながら、防災環境都市づくりの施策や多様なステークホルダーによる取り組みについて国内外へ発信することで、選ばれる都市・誇れる都市を目指します。
- 地震・津波だけでなく、風水害や感染症など新たな都市の課題にも対応できるよう、市民参加の防災フォーラムの継続的な開催などを通じて、ステークホルダーの育成に努めます。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
防災環境都市づくりの施策や多様なステークホルダーによる取り組みの発信		
市民参加の防災フォーラムなどの継続的な開催		

担当：まちづくり政策局防災環境都市推進室

## 震災復興メモリアル事業

- 災害から命を守り、世代や地域を超えて東日本大震災の経験と教訓を継承する取り組みを進めます。
- せんだい 3.11 メモリアル交流館・震災遺構仙台市立荒浜小学校・震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎の運営、中心部震災メモリアル拠点の整備推進など、震災メモリアル施設の整備・活用を進めます。
- 東日本大震災の経験と教訓を仙台市職員間で継承していく仕組みである職員間伝承プログラムを整備することで、災害の経験や教訓が息づく組織風土を醸成し、今後の災害への対応力を強化していきます。
- 「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」におけるアーカイブの取り組み、歴史的公文書の保存などを通じて、震災関連資料の保存・活用を進めます。
- 震災メモリアル施設の活用や 3.11 伝承ロードの取り組みなどを通じて、国や被災自治体などの連携を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
せんだい3.11メモリアル交流館の運営		
震災遺構荒浜小学校・荒浜地区住宅基礎の運営		
中心部震災メモリアル拠点検討		
職員間伝承プログラムの構築	職員間伝承プログラムの運用	
3がつ11にちをわすれないためにセンターの運営		
歴史的公文書の保存		
国や被災自治体などと連携した経験や教訓の発信		

担当：まちづくり政策局防災環境都市推進室、教育局生涯学習課

- 成長産業振興事業**  
※関連P70
- 産学官金連携により、防災関連産業のオープンイノベーションに取り組み、新たな製品・サービスの開発を支援するとともに、BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業の実施		

担当：経済局産業振興課

- 仙台版防災教育推進事業**
- 児童生徒が災害に関する正しい知識や対応方法を身に付け、平常時から災害に備え、災害時に冷静に判断し、臨機応変に自らの安全を確保できる自助の力を育むとともに、平常時から進んで他の人や地域の力となれる共助の意識の育成を図るための防災教育を推進します。
  - 防災教育を実践し、自校の取り組みを発表する仙台版防災教育研究推進取組発表校を1年間に25～30校ずつ指定し、令和3年度までに市内すべての小学校・中学校を取組発表校とします。また、当該年度内に研究推進取組発表会を開催し、防災教育に関する内容についての共有を図ります。
  - 防災主任研修と仙台版防災教育研修の連携を図るとともに、情報交換を推進し、各校が直面している防災教育の課題の解決を図ります。
  - 仙台版防災教育実践ガイドの改訂を検討します。
  - 震災の体験が風化しないよう、震災遺構仙台市立荒浜小学校の活用を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
学校の実情や児童生徒の実態を踏まえた仙台版防災教育の推進		
研究推進取組発表会	実践ガイド改訂の検討	
震災遺構仙台市立荒浜小学校の活用		

担当：教育局教育指導課

## ② 新型コロナウイルス感染拡大防止

概要	世界中で蔓延する新型コロナウイルス感染症に対応するため、相談体制や宿泊療養施設などの感染症医療提供体制の確保に向けた取り組みを推進するとともに、ワクチンの接種体制を整えます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	新型コロナ仙台市感染制御地域支援チーム会議等開催回数	—	12回（各年度）

### 新型コロナウイルス感染拡大防止事業

- 新型コロナウイルス感染症患者の市内での発生状況、検査実施状況や相談状況等について、個人情報の保護等に留意しながら、最新の情報を正確にわかりやすく発信します。
- 新型コロナウイルス感染症の疑似症状がある方や不安を抱えている方など向けにコールセンターを設置し、相談者の状況に応じて帰国者・接触者相談センターにつなぐなど、適切な助言・指導を行います。また、聴覚や言語に障害のある方も相談しやすいよう、ファクスやメールなど複数の通信手段を確保します。
- 感染の疑いがある方に円滑に検査・診療を行うため、医師会や医療機関との連携のもと、帰国者・接触者外来等の十分な体制を確保します。
- 宮城県や医療機関等との連携により、重症者及び中等症者の受け入れに必要な病床を確保します。
- 新型コロナウイルスの感染拡大が見られた場合に備え、軽症者等の療養施設の確保に向けて宮城県と積極的、主体的に協議し、必要な体制を確保します。また、宿泊療養及び自宅療養において、軽症者の病状が急変した場合でも円滑に医療機関につなげられるよう、適切な健康フォローアップを行います。
- 市内でのクラスターの発生時はもとより、医療や介護従事者等の感染が疑われる場合などにおいても、必要なPCR検査が的確に実施できるよう、仙台市衛生研究所での検査をはじめ、民間検査機関等のさらなる活用、ドライブスルー方式での検体採取などについて、関係機関への連携、支援を行うことなどにより、十分な検査体制を確保します。
- 十分な医療体制を維持することができるよう、病院間におけるネットワークの構築について、市町村の枠に留まらない広域的な医療提供体制の整備を図るため、国や県と連携して検討を行います。
- 感染症対策に係る保健所機能の強化を図るため、組織横断的な速やかな応援などによる体制構築を行います。併せて、今後の対応を見据え、PPE（個人用防護具）の着脱や検体の梱包・搬送の訓練を実施します。
- 新型コロナウイルス感染症は、誰もが罹患する可能性のある病気であり、感染者や濃厚接触者、医療関係者、外国人、その他感染症に関わった方々に対して、決して誤った認識や差別を行わないよう、地域社会全体の意識の徹底が図られるよう啓発に努めます。
- 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の円滑な実施に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	感染症に関する情報発信	
	受診・相談センター、帰国者・接触者相談センター対応	
	重症者・中症者の病床確保	
	検査体制の充実	
	広域的な医療体制の整備	

担当：健康福祉局新型コロナウイルスワクチン接種推進室、感染症対策室

3 防災・減災発信強化

概要	防災・減災に向けた意識を向上するとともに、災害時の情報が行きわたる環境をつくるため、津波避難広報体制や緊急情報の伝達体制を強化するとともに、普及啓発を継続的に実施するなど、防災・減災体制の強化を推進します。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	津波避難広報範囲	—	100%（令和5年度）
	IP無線の整備状況	—	790台（令和5年度）
	津波情報伝達システム屋外拡声装置伝達エリアのカバー率	—	150%（令和5年度）
	防災に関する住民説明会の開催回数	66回（令和元年度）	基準値以上
	体験型防災学習機能利用者数	7,700人（令和元年度） ※地震体験車の年間体験者数	21,000人（令和5年度）

津波避難広報体制強化事業

- 東部集団移転跡地の利活用などにより、地域外からの来訪者の増加が見込まれる東部沿岸地域において安全と安心を確保するため、津波避難広報体制の強化を図ります。
- 大津波警報などの発表と同時に離陸し、海岸線の避難広報や避難状況などの情報収集を行う完全自動のドローンを、南蒲生浄化センターのポンプ送風機棟屋上に整備します。
- 管制システムを災害情報センターに設置し、ドローンの飛行状況や避難者の避難状況などの確認を行います。
- ドローンを制御するプライベートLTE通信網を整備するとともに、平常時には産業振興などに活用します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
津波避難広報ドローンの整備	津波避難広報ドローンの運用	

担当：危機管理局危機対策課

災害時情報伝達体制強化事業

- 災害時に、携帯電話等を保有していない高齢者などの情報弱者に対して緊急情報を確実に伝達するとともに、情報伝達手段を多重化する体制の検討と強化を進めます。
- 情報弱者への情報伝達体制の強化を図るため、登録した固定電話に緊急情報を自動音声で伝達する一斉電話発信システムを導入します。
- 津波情報伝達システムの配置計画を策定するとともに、電波法の改正や耐用年数超過に伴う機器更新の際に、高性能スピーカーを導入します。
- IP無線を避難所などに整備するとともに、次期更新に向け、より高機能な通信サービスの導入を検討します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
一斉電話発信システムの導入・運用		
津波情報伝達システムへの高性能スピーカーの導入		
高機能な通信サービスの導入の検討		

担当：危機管理局危機対策課・防災計画課

防災意識の周知啓発強化事業

- 近年、地球温暖化などにより大雨災害が激甚化していることを受け、災害時に自ら命を守る行動が取れるよう、防災意識を醸成するための周知啓発の取り組みを進めます。
- 仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、市民が日頃から居住地域などの危険性を把握し、災害時に自らの命を守る行動がとれるようするための防災情報の普及啓発を実施します。
- 冊子など紙媒体が主な広報手段であった防災情報の普及啓発について、詳細なハザードマップデータの公開やアプリの検討など電子媒体の一層の活用を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	防災情報の普及啓発	
	電子媒体の活用促進	

担当：危機管理局減災推進課

#### 体験型防災学習機能の充実強化事業

- 災害を疑似体験する防災学習を展開することにより、市民が災害への備えの重要性を認識する機会をつくとともに、自助・共助による災害への備えを進めます。
- 更新期を迎える地震体験車に代えて、新たに充実強化した体験型防災学習機能を構築し、地域・学校・各種施設において、災害の疑似体験などリアルティのある防災学習を展開します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地震体験車による体験型防災学習の実施	新たな体験型防災学習機能の展開	
地震体験車に代わる体験型防災学習機能の導入		

担当：危機管理局減災推進課



#### ④ 消防体制強化推進

実施の方向性

01

概要	安全・安心な日常生活を送ることができる環境をつくるため、消防団の充実強化や救急需要の増加に応じた体制整備、地域密着型の防火防災意識の普及啓発や地域防災力の向上など、消防体制の強化を推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	消防団防火衣の更新配備数	117着（令和元年度）	100着（各年度）
	消防団保安帽の更新配備数	－	400個（各年度）
	（仮称）デイトタイム救急隊の導入数	－	1隊（令和4年度）
	幼児・児童を対象とした指導育成人数	平均4,000人／年 （平成28年度～令和2年度）	基準値以上
	婦人防火クラブ訓練・研修などの参加人数	平均9,000人／年 （平成28年度～令和2年度）	基準値以上
	熱画像直視装置の配備数	－	26機（令和5年度）

#### 消防団充実強化事業

- 大雨や台風など多様化・大規模化する災害に対応するため、「消防団活性化五ヶ年計画」に基づき、消防団員の入団を促進します。
- 消防団のロゴマークを作成し、消防団員の士気向上と消防団のイメージアップを図るとともに、学生や女性の団員など様々な属性に合わせた研修を実施し、団員が長く活躍できる環境づくりと消防団の魅力づくりを行います。
- 消防団アピール月間を創設し、集中的に入団促進を図るとともに、SNSなどを活用した広報活動を実施することで、消防団に対する理解の醸成を図ります。
- 消防団の災害対応力を強化するため、各種資機材の充実を図るとともに、消防団員が安全で効果的に活動できる装備や施設などの環境を整備します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
消防団ロゴマークの作成	消防団ロゴマークの活用	
	学生や女性の団員など様々な属性に合わせた研修の実施	
	集中的な募集活動やSNSを活用した広報活動の実施	
	資機材の充実強化、装備・施設などの環境整備	

担当：消防局総務課

市民ニーズに対応した救急体制推進事業

- 救急需要の増加や救急車の搬送時間の延伸などの課題に対応し、救急車を必要とする市民ニーズに対応した救急体制を整備します。
- 救急要請が特に多い日中時間帯に運用する「(仮称) デイタイム救急隊」を導入します。
- 救急隊へ配備した通信端末を用い、関係者などへの連絡をさらに迅速に行うほか、多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用し、外国の方に対する対応力の向上を図ります。また、病院照会サポートシステムなどを有効に活用し、搬送時間の短縮に努めます。
- 救急車の適正利用を推進するため、スマホ用アプリ「救命ナビ」やウェブ版「救急受診ガイド」の広報活動、健康福祉局と連携し「#7119」の周知を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
(仮称)デイトタイム救急隊導入準備	(仮称) デイトタイム救急隊の運用	
救急活動の迅速化・搬送時間の短縮のためのICTの活用		
救急車適正利用の広報・啓発		

担当：消防局管理課・救急課

地域密着で取り組む火災の無いまちづくり事業

- 高齢化の進展や東日本大震災の被災経験を踏まえ、関連団体と連携して火災の無いまちづくりに向けた取り組みを進めます。
- 火災予防運動に加え、防火訪問や地域行事などの機会を捉え、幅広い参加者・年齢層に対して防火意識の浸透を図るほか、東日本大震災の記憶と経験を次世代に継承する取り組みを継続して支援するなど、防火防災意識の普及啓発を推進します。
- 防火防災等のイベントや消防署見学の機会を捉え、火災や災害の怖さ、備えの大切さについて学んでもらうなど、幼児・児童を対象とした防火防災に関する指導育成の取り組みを推進します。
- 婦人防火クラブ員に対して、火災予防に関する知識や災害への備えを学ぶ研修会を実施するなど、意識高揚に向けた取り組みと活動しやすい環境づくりを推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域密着による防火防災意識の普及啓発・指導育成の取り組みの推進		
婦人防火クラブの活性化・環境づくりなどの検討	婦人防火クラブの活動活性化のための支援	

担当：消防局予防課

災害活動能力充実強化事業

- 大規模化・複雑化する災害に的確に対応するため、効果的・効率的な訓練を実施し、災害活動能力の向上を図るとともに、安全管理体制を強化します。
- 様々な災害を想定した訓練ができる街区訓練施設を整備します。
- 街区訓練施設や実火災体験型訓練施設を活用し、実践的な訓練を実施します。
- 火災現場での活動をより安全に実施するために各警防隊に熱画像直視装置を配備します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
街区訓練施設の整備、実践的な訓練の実施		
熱画像直視装置の配備		

担当：消防局警防課

## 5 脱炭素都市づくり推進

概要	脱炭素社会を実現するため、市民や事業者との協働により、温室効果ガスの排出削減や気候変動への適応を進めるとともに、環境教育などに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	市域における温室効果ガス排出量	911万 t-CO <sub>2</sub> （平成25年度）	593万 t-CO <sub>2</sub> （令和12年度） ※森林等による吸収量を含む
	市役所におけるエネルギーの使用に伴う二酸化炭素排出量	18.8万 t-CO <sub>2</sub> （平成25年度）	15.1万 t-CO <sub>2</sub> （令和5年度）
	環境教育・学習推進事業の講座・イベントなどの年間参加者数	—	18,000人（令和5年度）

## 脱炭素都市づくり推進事業

- 脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者との協働により、温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、気候変動への適応を進めます。
- 事業者との連携による温室効果ガス削減アクションプログラムの推進、住宅の断熱化や家電の買い替えの促進、「グリーンビルディングの整備を促進するための方針」の運用などにより、再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入、エネルギー性能の高い建築物の普及を図ります。
- 環境負荷の小さい公共交通体系の利活用や次世代自動車の普及など、環境にやさしい交通手段が選択されるような取り組みを進めます。
- せんだいE-Actionにおける啓発活動を強化するなど、市民、事業者の環境配慮行動の輪を広げます。
- 気候変動への適応の重要性などに関する周知啓発や、気候変動の影響に応じた各種施策を展開します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
脱炭素型のエネルギーシステムの構築		
環境にやさしい交通への転換促進		
脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進		
気候変動リスクに応じた施策実施		

担当：環境局地球温暖化対策推進課・環境共生課

## 公共施設低炭素化事業

- 「仙台市環境行動計画」と「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」に基づき、公共施設において、建築物の断熱化やLED照明のような高効率機器などの低炭素化技術を積極的に導入し、温室効果ガスの排出を削減するとともに、エネルギーコストの削減につなげます。
- さらなる断熱化を推進するため、学校や事務所などのモデルとなる施設において実証実験を実施し、断熱効果やランニングコストの分析を行い、公共施設の設計における断熱基準を確立します。
- 職員や設計事務所、施工業者などに対して、断熱の必要性の認識向上と、知識・技術の定着のための普及啓発を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
低炭素化技術の導入対象施設を選定・事業実施		
学校系：実証実験（計測・分析）	断熱基準の確立	断熱基準に基づく設計・工事
事務所系：実証実験（設計・工事・計測・分析）	断熱基準の確立	断熱基準に基づく設計・工事
普及啓発		

担当：環境局環境企画課、都市整備局営繕課

環境教育・学習推進事業

- 市民一人ひとりが環境に関心を持ち、理解を深め、積極的に環境配慮行動が実践できるよう、環境に関する学びの機会の充実を図ります。
- 「せんだい環境学習館たまきさんサロン」では、多様なテーマのサロン講座のほか、動画などを活用した児童生徒の学習や環境団体の活動の場の提供など、拠点施設としての機能の充実を図ります。
- 杜の都の市民環境教育・学習推進会議「FEEL Sendai」では、児童生徒向けの環境学習プログラム「杜々かんきょうレスキュー隊」や環境配慮行動を社会に広げる企画を募集する「未来プロジェクト in 仙台」、若い世代の環境教育のリーダーを育成する「環境ユースカレッジ」を実施します。
- その他、学校や地域団体などを対象とした環境出前講座や、四ツ谷用水の存在を次代へ継承し、水環境を考える機会となる「歩く会」などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
「せんだい環境学習館たまきさんサロン」の運営		
「FEEL Sendai」事業の実施		
環境出前講座などの実施		

担当：環境局環境共生課

6 資源循環都市づくり推進

自然 心地よさ

実施の方向性	02
--------	----

概要	環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを実現するため、食品ロスを削減するなど、ごみ減量に取り組むとともに、プラスチックをはじめとしたごみのリサイクルを進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	ごみ総量	37.3万t（令和元年度）	35.0万t（令和7年度）
	ごみの最終処分量	5.2万t（令和元年度）	4.9万t（令和7年度）
	1人1日当たりの家庭ごみ排出量	463g（令和元年度）	430g（令和7年度）
	家庭ごみに占める資源物の割合	42.5%（令和元年度）	35.0%（令和7年度）

ごみ減量・リサイクル推進事業

- 環境を維持し、住みやすいまちを目指すため、市民一人ひとりがものを大切に使い、資源が無駄なく利活用されるような取り組みを進めます。
- ごみの発生抑制に重点的に取り組み、プラスチックごみや食品ロスなどを削減するほか、製品プラスチックの再資源化に向けた実証事業や剪定枝のリサイクルの実施など、資源循環に向けた取り組みを推進します。
- 3Rやまち美化活動の担い手づくりに向け、ごみ減量や分別の方法などについて、わかりやすく適切な情報発信を行うほか、環境教育の充実に努めます。また、環境美化やごみ出し支援などの地域課題の解決に取り組む団体に対し支援を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
プラスチックごみ・食品ロス等の削減		
製品プラスチックのリサイクルに向けた検討		
剪定枝のリサイクル事業等、資源循環に向けた取り組みの推進		
3Rやまち美化の担い手づくりに向けた適切な情報発信		

担当：環境局廃棄物企画課

## 7 都市交通戦略推進

概要	持続可能なまちづくりの基盤となる交通環境をつくるため、公共交通のさらなる利用促進や地域と連携した移動手段の確保を推進するとともに、都心交通環境の再構築や広域的な道路ネットワークづくりを進めます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	機能集約型都市構造の基軸となる骨格交通軸（地下鉄南北線・東西線）の利用者数	189,000人/日（令和2年度） ※令和2年4月～令和3年1月までの実績値	前年度実績より増加
	地域の移動手段の維持・確保に向けた住民・利用者、バス事業者、行政による意見交換会の実施地区数	2地区（令和2年度）	7地区（令和5年度）
	都市計画道路整備率	85.3%（令和元年度）	86.1%（令和5年度）

## 新たな都市交通政策推進事業

- 機能集約型の都市づくりのため、「せんだい都市交通プラン」に基づき、交通事業者や関係機関などと連携・協働して、公共交通を中心とした交通体系の充実などの交通施策を推進します。
- 鉄道にバスが結節する交通体系の構築を継続して進めるとともに、地域公共交通計画の策定などにより、都心直行型バスを主な移動手段とする地域において、バスの利便性向上や市民協働による地域交通の確保などに取り組みます。
- 都心のにぎわいや回遊性の向上のため、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、公共交通や自転車を利用した快適な移動環境の整備など、都心交通環境の再構築に取り組みます。
- 新技術を活用した施策や、MaaSなどの新たなサービスの導入にチャレンジするとともに、都市経済や広域的交流を支える主要な幹線道路の整備や、安全安心な交通環境の形成に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
せんだい都市交通プランに基づく施策の実施・検討		

担当：都市整備局交通政策課

## 公共交通利用促進事業

- 公共交通の利用を促進するため、「せんだい都市交通プラン」に基づき、市民の方々に普段の移動で公共交通などを利用することを通して、健康面や生活そのものをスマートなものにしてもらいたいというメッセージを込めた「せんだいスマート」の取り組みを推進します。
- 転入者などに対して、自発的な公共交通の利用を促すモビリティ・マネジメントの取り組みを行うとともに、路線バス沿線住民へのモビリティ・マネジメントの取り組みを行い、公共交通などの利用促進のPRイベントを開催します。
- 地下鉄・バス均一運賃などの利用しやすい運賃施策の実施・検討を通じて、地下鉄・バスの利用習慣の定着を図るとともに、さらなる利用促進を図ります。
- IC乗車券を活用することを推進しつつ、公共交通の利用や相互乗り換えなどが分かりやすいよう情報提供や案内誘導の改善を実施します。
- バス車両や駅について、バリアフリー化が図れるよう事業者と連携しながら、実現に向け取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
モビリティ・マネジメントの取り組みなどの実施		
利用しやすい運賃施策の実施・検討		
交通施設バリアフリー化の推進		

担当：都市整備局公共交通推進課

地域交通運行  
確保・運行支  
援事業  
※関連P42

- 市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。
- 住民・利用者、バス事業者、行政などが、路線バスの維持や地域交通の確保について話し合いを行い、路線バスと乗合タクシーなどの地域交通と適切に役割分担することにより、地域の移動手段の確保・維持に向けた対策を検討します。
- 公共交通のサービスレベルが低い地域などにおいて、地元の住民組織などが主体的に運営に携わる、持続可能な地域交通の導入を支援します。
- 宮城野区燕沢地区や太白区坪沼地区など、住民組織が主体となって運営している乗合タクシーの運行の維持を支援します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
住民・利用者、バス事業者、行政による意見交換会の実施		
地域交通の導入支援・運行維持対策支援の実施		

担当：都市整備局地域交通推進課

広域交通ネッ  
トワーク整備  
事業

- 交流や物流などの都市活動を支える道路ネットワークを構築するとともに、災害時における救命救急や物資輸送などのルートを確保するため、骨格的な幹線道路網を形成する都市計画道路の整備を進めます。
- 広域的な道路ネットワークの形成や、平常時と災害時を問わない円滑な輸送を確保するため、地域内の主要な幹線道路となる国道・県道の整備を進めます。
- 幹線道路における交通の円滑化・整流化を図るために、部分的な交差点改良など短期的かつ効果的な渋滞対策について検討し、実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
都市計画道路の整備		
国道・県道の整備		
渋滞対策の検討・実施		

担当：建設局道路計画課

### ③ 心の伴走プロジェクト

#### 目 標

#### 多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる

地域では多様な人々が暮らしています。それぞれの立場や状況、ライフスタイル、価値観などは様々であるため、地域全体として多様性を包み込み、共生していくことが必要とされています。人々が互いに多様性を尊重して支えあい、つながる仕組みをつくることで、あらゆる人が孤立せずに、安心して暮らすことができる地域をつくります。

#### 実施の 方向性

#### 01 多様性が尊重される環境をつくる

- ◆ 年齢、性別、国籍、障害の有無など、人の持つ多様性への理解が広がる機会をつくるとともに、相談や交流ができる場など当事者にとって心の拠り所がある環境をつくります。
- ◆ 当事者の声を踏まえたユニバーサルデザインの推進と、合理的配慮の推進を両輪として、暮らしやすさを実感できる生活環境をつくります。

#### 02 孤立しない、つながる仕組みをつくる

- ◆ 地域住民の顔が見える関係づくりを推進し、コミュニティの中で支えあうことができる緩やかなつながりをつくります。
- ◆ ひきこもりや貧困などの問題を抱え、支援を必要とする家庭が、専門的な知見を持つ関係機関等とつながる選択肢を多様化し、社会的自立を後押しする環境をつくります。

#### 03 心を支える環境をつくる

- ◆ いじめや児童虐待などから子どもたちの命と暮らしを守るため、未然防止や早期発見・早期対応の取り組みを社会全体で進めることで、子どもたちが安心して育つ環境をつくります。
- ◆ 専門家や関係機関などによるメンタルヘルスを支える取り組みや人権を守る取り組みを通じて、心を支える環境をつくります。

1 インクルージョン推進

概要	誰もが互いに尊重しあい、地域で共生することができる社会を実現するため、性別、国籍、障害の有無などに関わらず暮らしやすい環境をつくるとともに、一人ひとりの持つ多様性についての理解促進に取り組みます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	審議会等女性委員登用率	37.1%（令和元年度）	40.0%（令和5年度）
	女性リーダー育成事業修了者のイベント等への登壇数	18回（令和元年度）	合計52回（令和3～5年度）
	性的少数者等の居場所づくり事業の参加者数	—	180人（令和5年度）
	障害理解サポーター養成研修の受講件数	31件（令和元年度）	40件（令和5年度）
	ココロン・スクールの実施回数	3回（令和元年度）	6回（令和5年度）
	仙台多文化共生センターにおける生活等に関する相談件数	2,041件（令和元年度）	2,100件（令和5年度）

男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業

- 市民が、その個性と人権を尊重し合うとともに、性別に関わりなく多様な生き方を自ら選択し、その能力を十分に発揮できる男女平等のまちを目指して、男女共同参画を推進する取り組みを進めます。
- 社会のあらゆる分野への女性の参画を促進し、多様な視点の導入を推進します。
- 男女共同参画推進センターを拠点に、男女共同参画に関する市民活動の支援・学習機会の提供を推進します。
- 様々な問題を抱えた女性の自立を促すため、課題の把握に努め、相談や各種支援事業を実施します。
- （公財）せんだい男女共同参画財団に対する支援を通じ、男女共同参画の推進に向けた事業を実施します。
- 防災における男女共同参画の視点の重要性を発信するとともに、地域における女性の担い手づくりを支援します。
- 男性の男女共同参画意識を醸成するとともに、男性の家事・育児などへの参画を支援します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
男女共同参画せんだいプランに基づく事業の実施		

担当：市民局男女共同参画課

多様な性の理解促進・性的少数者支援事業

- 多様な性のあり方を理由とした社会的偏見や差別を解消し、多様性を認め合い、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて、多様な性への理解促進と性的少数者への支援の拡充に取り組みます。
- 啓発リーフレットや情報誌の配布、市民向けセミナーの開催などを通じ、多様な性のあり方について理解促進を図ります。
- 多様な性のあり方についての情報収集や悩みの相談、性的少数者同士や支援者との交流など、参加者がそれぞれの目的で集まれる居場所づくり事業を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
多様な性のあり方についての理解促進事業の実施		
性的少数者の方への支援事業の実施		

担当：市民局男女共同参画課

## 障害理解促進事業

- 障害を理由とする差別を解消し、障害のある人もない人も共に暮らしやすい共生社会の実現を図るため、障害理解を深めるための事業を推進します。
- 障害理解サポーター事業、ワークショップ「ココロン・カフェ」の実施、学生向けワークショップ「ココロン・スクール」の実施、ヘルプマークの作成・配布などを通じて、市民と事業者の障害者差別解消・障害理解の促進を図ります。また、SNSなどによるウェブ広告やリーフレット、庁舎吊看板などによる市民周知に取り組みます。
- 相談員の配置や、差別相談調整委員会、差別解消・虐待防止連絡協議会の開催などを通じて、障害者差別に関する相談に対して対応を図ります。
- 職員研修の実施、イベント・会議への手話通訳者などの配置、タブレットを活用した手話通訳などのコミュニケーション支援を通して、行政サービスにおける不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
障害理解サポーター事業を通じた障害理解の促進		
市民・事業者への障害理解の促進		
障害者差別解消に向けた相談支援の実施		

担当：健康福祉局障害企画課

## 多文化共生推進事業

- 国籍や民族などが異なる人々が、互いの文化的差異を認め合いながら、平常時・災害時に問わず、地域社会の構成員として共に安心して生活していくための取り組みを推進します。
- 仙台多文化共生センターを運営し、外国人住民の暮らしに役立つ情報を多言語で提供するとともに、外国人住民の生活相談や、多文化共生の地域づくりに関する相談に応じます。
- (公財) 仙台観光国際協会を中心に、市民団体などとの協働により、日本語学習支援、生活習慣や防災・教育に関する情報の提供などによる生活支援、市民の国際交流・多文化共生の活動支援による地域づくり支援などを行います。
- 外国人住民への窓口サービスの向上のため、行政情報などの多言語化を推進するとともに、職員向け「やさしい日本語」の研修などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台多文化共生センターの運営		
日本語学習支援・生活支援・地域づくり支援などの実施		
外国人住民への窓口サービス向上の推進		

担当：文化観光局交流企画課

2 地域支えあいの基盤づくり

概要	高齢者や障害者など、誰もが安全で安心して地域で生活を送ることができる基盤をつくるため、相談しやすい体制や住まいを整備するとともに、地域における支えあいの環境づくりを推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	コミュニティソーシャルワーカーによる事例検討会の開催回数	－	1回（各年度）
	再犯防止ネットワーク会議の開催回数	－	1回（各年度）
	障害者相談支援体制における地域生活支援拠点の設置数	－	1箇所（令和5年度）
	市内障害者グループホームの利用者数	1,012名（令和元年度）	1,262名（令和5年度）
	児童発達支援センターの地域相談支援件数	1,158件（令和元年度）	2,000件（令和5年度）
	発達障害者支援センターと発達障害者地域支援マネジャーの関係機関や地域住民への助言件数	2,633件（令和元年度）	2,900件（令和5年度）
	発達障害児者支援に関する家族教室・家族サロンの開催回数	－	30回（令和5年度）
	発達障害者支援地域協議会・庁内連絡会の実施回数	4回（令和元年度）	4回（令和5年度）
	高齢者の生活支援等サービスに係る体制整備を推進するための協議体開催回数	－	5回（各年度）
	認知症サポーター養成講座の延べ受講者数	91,740人（令和元年度末）	111,000人（令和5年度末）
	認知症の人の見守りネットワーク事業の延べ協力者数	855人（令和元年度末）	1,400人（令和5年度末）

地域福祉推進事業

- 「せんだい支えあいのまち推進プラン」に基づき、地域の多様な主体と連携し、包括的な支援体制の整備に向けた取り組みを進め、誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をつくります。
- コミュニティソーシャルワーカー配置事業や小地域福祉ネットワーク活動、ボランティアセンターの運営などを通じ、住民同士による支えあい活動を推進します。
- 地域福祉活動の担い手育成を進めるとともに、民生委員児童委員や福祉委員など地域の支援者が安心して活動できるよう、支援関係機関とのネットワーク構築や負担軽減策を検討するなど、支援の充実を図ります。
- 認知症や知的障害、精神障害などにより、意思表示や利益・不利益の判断が難しくなっても、その人の意思に沿って、その人らしい生活を安心して続けられるよう、日常生活自立支援事業や、成年後見制度の相談・支援など権利擁護の仕組みづくりを進めます。
- 再犯防止に向け、刑務所出所者などの地域での立ち直りを支えるため、必要な支援につなげられるよう、関係機関の連携を促進します。また、こうした支援活動や依存症などへの理解を進め、支援への協力を広げます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
コミュニティソーシャルワーカーによる支援ネットワークの強化		
成年後見制度利用促進に係る中核機関・協議会設置の検討		
再犯防止ネットワーク会議の開催		

担当：健康福祉局社会課

## 障害者相談支援体制推進事業

- 障害児者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、相談支援体制の質的・量的拡充を図るとともに、地域全体で支える体制の確立を目指します。
- 障害者相談支援事業所と連携を図るとともに、市・区障害者自立支援協議会において地域課題を把握し、解決に向けた取り組みを一般化することで、他地域への展開を図ります。
- 障害福祉サービス利用援助等の相談支援業務を市内16か所の相談支援事業所に委託し、障害児者とその家族の地域生活を支援します。
- 障害児者やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、緊急時の相談支援や受け入れなどのコーディネートを行う地域生活支援拠点事業を実施します。
- 障害者相談支援事業所の従事者が、よりの確な支援を展開するためのサポートを行い、地域の相談支援体制の充実を図るため、基幹相談支援センター事業を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域生活支援拠点等の確保、運用状況の検証・検討		
基幹相談支援センター委託に向けた準備		

担当：健康福祉局障害者支援課・障害者総合支援センター、各区障害高齢課

## 障害者グループホーム整備促進事業

- 障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住まいとなるグループホームの整備を促進します。
- 定員4名以上のグループホームを開設する事業者に対して、消防設備の設置費用や建築基準法の用途変更に伴う改修費用の補助を行います。
- 強度行動障害支援者養成研修受講費を補助し、グループホームでの行動障害者の支援体制整備を促進します。
- グループホーム事業者などによる仙台市グループホーム連絡会と連携し、整備促進や支援の質の向上を目的とした研修会を開催するほか、新規開設を目指す事業者への開設相談を実施します。
- 医療的ケア対応型グループホームを運営する事業者に対して補助を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
消防設備などの補助、グループホーム連絡会の運営費補助		
医療的ケア対応型グループホームの運営費補助		

担当：健康福祉局障害者支援課

## 障害者福祉センター整備事業

- 障害者の地域における暮らしやすさ向上のため、地域生活を支援する拠点機能をはじめ時代のニーズに合わせた機能を有した（仮称）青葉障害者福祉センターを市民センターとの複合施設として、青葉区旭ヶ丘地区に整備します。
- 既に4区に設置している障害者福祉センターについて、年数の経過に伴う障害福祉サービス事業所の増加や障害者の対象範囲の拡大などにより、求められる支援ニーズが変化していることを踏まえ、（仮称）青葉障害者福祉センターの整備に伴い、市全体の障害者福祉センターが今後担うべき機能などの検討を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
（仮称）青葉障害者福祉センターの設計・工事		

担当：健康福祉局障害者支援課

## 就学前療育支援体制整備事業

- 発達に不安のある児童とその家族が安心して地域で生活できるよう、療育などの支援体制を整備します。
- 児童発達支援センターに地域相談員を配置し、地域における療育相談や保育所・幼稚園などの子育て支援機関職員への施設訪問支援や研修などを実施します。
- 児童発達支援センターにおいて、心理的抵抗感から適切な療育支援につなげられていない保護者に対するペアレント・プログラムや、保育所・幼稚園などとの併行通園について、収支やコスト分析、関係法人などと調整が必要な事項などの課題を整理しつつ段階的に実施し、本格実施を目指します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域相談員による地域支援業務の実施		
就学前療育支援推進モデル事業の実施・本格実施の検討		

担当：健康福祉局障害者支援課

**発達障害児者支援体制整備事業**

- 発達障害児者とその家族が安心して地域で生活できるよう、乳幼児期から成人期までの切れ目のない一貫した支援体制を整備します。
- 増加する発達障害児者支援のニーズに対応するため、関係機関とのコーディネート機能・人材育成機能・支援機関などの支援機能を強化します。また、個別相談支援体制の充実を図るとともに、施設や地域支援を推進する体制を強化します。
- 障害児などの保護者に対し、障害への理解を深める機会を提供するとともに、発達相談・子育て相談窓口や支援事業に関する情報提供を行います。
- 保健・医療・福祉・教育など関係機関の連携の緊密化・ネットワークの強化を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
発達障害者地域支援マネジャーによる施設や地域支援の実施		

担当：健康福祉局北部発達相談支援センター

**高齢者生活支援事業**

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。
- 地域における様々な主体と生活支援コーディネーターによる連携のもと、関係機関のネットワーク構築や地域資源の開発を行うなど、さらなる支え合いの体制づくりを進める生活支援体制整備事業を実施します。
- 在宅高齢者の生活を支えるサービスとして緊急通報システム、介護用品支給事業、高齢者食の自立支援サービス事業などを実施します。
- 生活支援サービスを提供する住民主体の団体などに対する支援を行う訪問型地域支え合い活動促進事業を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活支援体制整備事業・公的サービス事業の実施		
訪問型地域支え合い活動促進事業の実施		

担当：健康福祉局高齢企画課、各区障害高齢課

**認知症地域支援推進事業**

- 認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症に対する地域の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員としてともに支えあう体制づくりを推進します。
- 認知症サポーターを養成するとともに、認知症パートナー講座を実施し、認知症の人の思いや希望に耳を傾け、認知症の人の気持ちに寄り添える人材を育成します。
- 認知症ケアパスを周知するとともに、認知症の人の見守りネットワークの普及啓発などを行います。
- 認知症関連の会議への参加や専門職対象の研修講師など、認知症の人や家族が施策に関わる機会の創出を図ります。
- 認知症カフェや認知症疾患医療センターなどに認知症当事者を派遣し、当事者同士の出会いを通しピアサポートの機会を創出します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症地域支援推進事業の実施		

担当：健康福祉局地域包括ケア推進課

## ③ 社会的自立支援

概要	誰もが孤立せずに、必要な支援機関などにつながる仕組みをつくるため、生活困窮者やひきこもり者、ひとり親家庭や青少年など、支援を必要とする方に対してアウトリーチ型の相談支援や社会参加支援等を実施することで、社会的な自立を後押しする環境をつくります。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	わんすてっぷの新規相談受付件数	2,043 件（令和元年度）	3,177 件（令和 5 年度）
	家計相談プラザの新規相談件数	－	100 件（令和 5 年度）
	ひきこもり者地域相談会の開催回数	8 回（令和元年度）	12 回（令和 5 年度）
	ひとり親家庭相談支援センターにおけるひとり親家庭などの相談件数	平均 659 件／年 （平成 29～令和元年度）	680 件（令和 5 年度）
	青少年自立促進事業におけるふれあい広場の延べ通所者数	2,838 人（令和元年度）	3,046 人（令和 5 年度）

## 生活困窮者自立支援事業

- 生活困窮者の自立を促進するための環境づくりを推進します。
- 仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」の運営を通して、生活困窮者の自立に向けた相談支援や就労支援を実施するとともに、生活困窮者の早期把握と支援のためのネットワークづくりを進めます。
- 仙台市家計相談プラザの運営を通して、家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者や生活保護受給者に対し、収入・支出・その他家計の状況の適切な把握や、家計の改善の意欲を高めることを支援するとともに、自ら家計管理ができる力を育てます。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
仙台市生活自立・仕事相談センターの運営		
仙台市家計相談プラザの運営		

担当：健康福祉局保護自立支援課

## ひきこもり者地域支援事業

- ひきこもり者の自立を促進するとともに、その家族を支えるため、適切な支援を実施します。
- ひきこもり地域支援センターにおいて、当事者やその家族に対し、電話やアウトリーチなどによる相談支援を提供します。
- ひきこもり状態にある青少年などに対し、就労体験などのプログラムを提供することで、社会参加の促進を図ります。
- 市民センターなど生活に身近な場所で相談会を開催し、地域で埋もれているひきこもり者やその家族の継続支援につなげます。
- 中高年のひきこもり者に対し、個々人の状態に合わせた対人交流の機会を提供することにより、社会参加の促進を図ります。
- 特に困難なひきこもり支援の事例について、関係する機関により協議・検討を行い、チームアプローチでの介入と進捗管理を行います。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ひきこもり者・その家族に対する相談支援などの提供		
社会資源の開発・改善		

担当：健康福祉局障害者支援課

## ひとり親家庭等支援推進事業

- ひとり親家庭などの生活の安定と向上を図り、その自立を促進するため、「仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン」に基づき、総合的・計画的な支援を展開します。
- 多様で複層的な課題を抱える家庭に対して、総合的な支援をする仕組みづくりとして、各区保健福祉センターなどにおいて相談窓口の充実を図ります。
- 様々な理由で相談窓口、各種支援制度につながる事が難しい家庭を対象に、アウトリーチ型の相談体制を検討するなど、相談しやすい体制づくりを進めます。

- 親子のライフステージに応じた経済的自立を支えるため、就労支援施策の充実や養育費の確保の推進などを図ります。
- 貧困の連鎖を防ぐため、子どもの育ちを支える学びやつながりの場づくりを通して、ひとり親の子育て負担の軽減などを図ります。
- 専門的なケアを必要とする親や子どもを早期に発見し適切な支援策へつなぎます。
- 新型コロナウイルス感染症を含めた、現下のひとり親家庭等への状況をアンケート調査し、「仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン」等における施策への反映を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
アンケート実施	施策への反映	
仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン等に基づく施策の実施・検討		

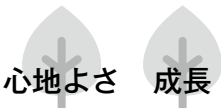
担当：子供未来局子供家庭支援課

青少年自立促進事業

- 不登校児童生徒やひきこもる若者の増加などの現状を踏まえ、青少年の社会的自立を支える環境づくりを推進します。
- ヤングテレホンや面接相談、子どもメール相談などを通じて、学校、職場、対人関係の悩みなど、社会的自立を支えるための相談に応じます。
- 学校へ行けない、安定した居場所がほしいなどの悩みを抱える青少年が通所できる居場所を提供し、実情に合わせて就学・就労支援も行う「ふれあい広場」を運営します。また、より多くの困難を抱える青少年を支援し社会的自立を促進するため、新たに市内3ヶ所に「ふれあい広場」のサテライトを設置し、青少年の居場所の拡充を検討します。
- ヤングテレホンカードやリーフレット、広報紙を配布するとともに、思春期セミナーを実施するなど、市民向けの啓発活動を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
ふれあい広場サテライトの運営・検討		
ふれあい広場相談員による指導・支援		

担当：子供未来局子供相談支援センター



4 子どもの安全・安心確保

実施の方向性	03
--------	----

概要	子どもたちが健やかに暮らすことができる環境をつくるため、各般のいじめ防止等対策を推進するとともに、児童虐待を予防し、支援する体制の整備を行うほか、里親委託推進や社会的養護が必要な子どもの権利擁護、生活に困窮する世帯の子どもたちの学習・生活支援を行います。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	いじめ対策担当教諭の配置校数 (児童支援教諭・いじめ対策専任教諭)	小：101/114校※ 中・特：66/66校 (令和2年度) ※小規模校を除く	小学校・中学校・ 中等教育学校・特別支援学校に 必要な担当教諭を全て配置 (令和3年度)
	児童虐待防止推進員が配置されている保育施設などの割合	73.5% (令和元年度)	80.0% (令和5年度)
	里親委託率	35.3% (令和元年度)	36.7% (令和5年度)
	学習・生活サポート事業参加者のうち中学3年生の高等学校等進学率	95.9% (令和元年度)	100% (令和5年度)
	児童相談所の児童福祉司及び児童心理司配置数	児童福祉司:32人(令和2年度当初) 児童心理司:15人(令和2年度当初)	児童福祉司:39人(令和4年度当初) 児童心理司:19人(令和6年度当初)
	児童相談所の一時保護所定員数	20人 (令和2年度)	30人 (令和5年度)

## いじめ防止等 対策推進事業

- 学校におけるいじめ防止等対策の中核を担ういじめ対策専任教諭・児童支援教諭の体制強化やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールロイヤーなどの専門職による相談支援体制の充実、教職員研修の充実により、学校におけるいじめへの対応力強化を図ります。
- いじめに関する各相談窓口において、児童生徒や保護者の悩みに寄り添いながら、解決に向けた支援の充実を図ります。
- 児童生徒がいじめの問題について考え、主体的に取り組む活動を通じて、「いじめをしない・させない・許さない」意識の向上を図ります。
- 広く市民に対して広報啓発を行い、社会全体で子どもをいじめから守る意識の醸成を図ります。
- いじめの防止等に関係する機関・団体との連携を強化するとともに、庁内部局との連携を図ります。
- 仙台市いじめ防止等対策検証会議による関連施策の検証を行い、いじめの防止等に係る施策を効果的に推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
いじめ防止等対策の総合的な推進		
仙台市いじめ防止等対策検証会議による施策の検証		

担当：子供未来局いじめ対策推進室、教育局教職員課・教育相談課

## 児童虐待防止 推進事業

- 児童が安心して安全に生活することができるよう、児童虐待の予防、早期発見、早期対応を推進します。
- 子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センターとの連携による取り組みを強化します。また、児童相談所と連携・協働を図るとともに、乳幼児健康診査などの未受診者について、かかりつけ医や保育所など関係機関と連携し、養育環境や発育状況などを確認します。
- 要保護児童対策地域協議会などを通じ、関係機関との緊密な連携を図るとともに、市立病院を拠点とした医療機関同士のネットワークの構築と強化を図ります。
- 主任児童委員など地域で子育てを支える人材や、保育所など児童福祉施設職員に対する研修の充実を図ります。
- 児童虐待防止に対応する職員向けの研修の充実を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センターと連携した取り組みの強化		
関係機関との緊密な連携の確保		
研修の充実		

担当：子供未来局子供家庭支援課・子供保健福祉課

## 社会的養育推 進事業

- 児童福祉法で定められている、より家庭的な雰囲気の中で育てることが望ましいとする家庭養育優先原則などの実現に向け、「仙台市社会的養育推進計画」に基づき、各種施策の展開を図ります。
- 様々な理由により、家庭で暮らすことのできない代替養育が必要な子どもの養育先として、里親委託を進めます。
- 児童養護施設や一時保護所に入所している児童の権利擁護の観点から、当事者である児童からの意見聴取や意見をくみとる方策、児童の権利を代弁する方策について、検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
里親委託の推進		

担当：子供未来局子供家庭支援課

子どもの居場所づくり推進事業

- 貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを進めます。
- 生活困窮世帯の中学生に対し、学力向上のための学習支援や心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援などを実施する「学習・生活サポート事業」を実施します。
- 生活困窮世帯の高校生などの中途退学を防止するとともに、中途退学に至った後のステップにつなげるため、進級支援や面談などによるサポートを実施する「中途退学未然防止等事業」を実施します。
- (社福) 仙台市社会福祉協議会と連携し、子ども食堂への経費助成を行うほか、運営団体相互のネットワーク化などに取り組む「子どもの居場所づくり支援事業」を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
学習・生活サポート事業、中途退学未然防止等事業、子どもの居場所づくり支援事業の実施		
令和5年度以降の事業のあり方検討		

担当：子供未来局子供家庭支援課

児童相談所機能強化事業

- 児童虐待予防のための早期対応から、発生時の迅速な対応、虐待を受けた児童の自立支援など切れ目のない支援体制を構築するとともに、必要に応じた施設環境整備を行います。
- 国の強化プランに沿った組織体制の強化を図るため、児童福祉司や児童心理司の増員と併せて専門性の確保・向上に努めます。また、運営体制の強化と施設の長寿命化などの観点から、本館・一時保護所の大規模改修を行います。
- 一時保護所については、一時保護児童数の増加に応じて定員の増員を図るとともに、一時保護ガイドラインに基づき、個別性を重視した環境改善も含めた受入体制の強化を行い、既存の改修と併せて増築を行います。
- 保護者の新型コロナウイルス感染により、養育者が不在となり一時保護が必要となった児童を受け入れる環境整備を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童虐待防止対策体制総合強化プランに基づく体制強化		
大規模改修：設計	大規模改修：工事	
保護所増築：設計	保護所増築：工事	

担当：子供未来局保護支援課



5 心を支える取り組み推進

実施の方向性	03
--------	----

概要	誰もが健やかな心で暮らすことができる環境をつくるため、自殺予防に関する相談支援体制などを整備するとともに、子どもたちに対して命を大切にする教育を推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）	17.6（平成27年）	13.7以下（令和5年）
	「仙台版命と絆プログラム」を活用した授業の実践回数	—	各学級1回（各年度）

自殺対策事業

- 誰も自死に追い込まれることのない仙台の実現を目指し、「仙台市自殺対策計画」に基づき、自死に追い込む様々な要因の解消に向けた取り組みを推進します。
- 目標達成に向け、PDCAサイクルにより毎年度計画に基づく取り組みの評価・検証を行い、必要な改善を図るとともに、事業の実施状況や課題を定期的に把握します。また、自殺対策連絡協議会において関係機関などの取り組みと内容を共有し、連携強化を図ります。

- 仙台市自殺対策推進センターにおいて、重点対象のひとつである自殺未遂者等ハイリスク者支援を行い、段階的に機能を整備し、自殺対策に関わる人材育成や普及啓発を行います。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う失業や休業などによる生活苦などからの自死を未然に防止するため、相談体制の強化として、対面相談とSNS相談を拡充します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台市自殺対策計画に基づく評価・検証・取り組みの推進		

担当：健康福祉局障害者支援課

## 命を大切にす る教育推進事 業

- 命の大切さや尊さを理解するとともに、ソーシャルスキルトレーニングやストレスマネジメントを取り入れながら、温かい人間関係を築く力を育む「命を大切にする教育」について各学校で円滑に展開されるように支援します。
- 全市立学校において「仙台版命と絆プログラム」を活用しながら授業実践を行い、発達の段階に応じて、児童生徒の「心の危機」に関する理解の促進や、悩みを抱え込まず、相談し助けを求めることの大切さについての理解の向上を図ります。
- 実践協力校であった将監東中学校、西山中学校などと連携しながら、児童生徒の実態に即したプログラムとなるよう改善を図ります。
- 各学校での円滑なプログラムの実施につなげるため、具体的な授業の進め方や留意すべき事項、道徳の授業や学級活動などとの関連について理解を深める「命を大切にする教育研修」を実施し、教員のスキルアップを図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
「仙台版命と絆プログラム」を活用した授業の実践		
命を大切にする教育研修の実施		

担当：教育局教育指導課

## ④ 地域協働プロジェクト

### 目 標

### 多様性を力に変える地域をつくる

地域によって、その成り立ち、魅力、課題などは異なっており、より良い地域づくりを進めるためには、それぞれの状況に応じた協働のあり方を考え、実践していく必要があります。住民と多様な主体が関わりながら、それぞれの知見や強みを活かし、生活に不可欠な移動手段の確保をはじめとした暮らしの改善や地域課題の解決、魅力づくりに向け、多くのチャレンジが生まれる環境をつくります。

### 実施の 方向性

### 01 多様な協働が生まれる基盤をつくる

- ◆ 公共空間の活用や地域課題の可視化・共有・対話を進めることなどを通じて、興味や関心のある誰もが地域づくりに関わり、活動しやすい環境をつくります。
- ◆ 市民協働や公民連携を通じて、テクノロジーを活用しながら、コミュニケーションの促進や、地域を取り巻く様々な分野の課題解決に効果的・加速的に取り組める環境をつくります。

### 02 多様な主体の力を地域に活かす

- ◆ 住民や地縁団体を中心に、NPO・市民活動団体、教育機関、企業など多様な主体のアイデアやノウハウ、ネットワークを活かし、地域の移動手段などの地域課題の解決や、子育て・教育環境などの暮らしの改善を進めます。
- ◆ 未来を担う学生や若者が、仙台や自分の住む地域などへの関心を高め、地域の担い手として力を発揮することができるよう、世代や立場を超えて地域づくりについて考え、実践する機会をつくります。

### 03 地域の交流を活発化させる

- ◆ 豊かな自然資源や地域特有の生活文化などを活かして、地域間や多様な主体の交流が活発化する環境づくりを進めます。
- ◆ 住民のみならず誰もが気軽に訪れて、イベントの開催や地域の困りごとの解決に取り組むことができる自由でオープンな交流の場づくりを進めます。

## ① 協働が生まれる基盤整備

概要	地域団体やNPO、事業者など多様な主体による協働が生まれやすい環境をつくるため、課題の発掘・分析から担い手育成・強化、具体の協働事業実施に至るまでの各プロセスに応じた支援を包括的に行う「地域づくりパートナープロジェクト」を展開するとともに、企業提案による公民連携の促進、エリアマネジメント団体の取り組みの支援などを行います。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	地域づくりパートナープロジェクト推進助成件数	—	6 件（各年度）
	仙台市市民活動サポートセンターの利用団体数	720 団体（令和元年度）	基準値以上
	地域の移動手段の維持・確保に向けた住民・利用者、バス事業者、行政による意見交換会の実施地区数	2 地区（令和 2 年度）	7 地区（令和 5 年度）
	せんだい都市再生まちづくり団体の認定数	—	合計 3 件（令和 3 ～ 5 年度）
	遊休不動産のリノベーション事業の件数	平均 1 件/年 （平成 30 年度～令和 2 年度）	合計 3 件（令和 3 ～ 5 年度）

- クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進事業**
- 公民連携の窓口である「クロス・センダイ・ラボ」において、民間企業などからの提案や実証実験の企画などを一元的に受け付けます。
  - 同窓口では、民間企業などが持つ視点やノウハウ、アイデアなどを活用しながら、複雑化・多様化する行政や地域課題の解決に向けて対話を重ねながら調整を行い、連携を推進する「パートナーシップ推進事業」を実施します。
  - また、同窓口では、課題解決のツールとして可能性を秘める AI、IoT、自動走行、ドローンなど近未来技術の実証実験を促進するため、市内での実証実験について、各種相談の受付や関係機関などと調整などを行い、円滑な実施を支援する「近未来技術実証ワンストップセンター事業」を実施します。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
クロス・センダイ・ラボの推進		

担当：まちづくり政策局プロジェクト推進課

- 地域づくりパートナーサポート事業**
- 協働によるまちづくりを一層推進していくため、まちづくり活動に関する専門的人材であるまちづくりコーディネーターを地域へ派遣します。また、区役所・総合支所が地域に柔軟に入り、それぞれの地域の実情に合わせて、必要とされる支援を行います。
  - 地域課題の現状分析・調査や、複数団体の連携・協働により行われる取り組みへの助成を行うとともに、NPO・企業などによる地域課題解決・魅力向上に資する提案に市が協働で取り組む市民協働事業提案制度を実施します。また、市民活動サポートセンターにて市民活動・協働に関する情報提供や相談対応、講座開催などに取り組むとともに、専門的ノウハウやスキルを持つ市民等をプロボノとして派遣し、地域団体やNPOを支援する環境を整えます。
  - 地域コミュニティの中核を担う町内会支援のため、専門家などによる相談会やフォローアップを実施します。また、町内会長や役員などを対象に、担い手の発掘・育成と円滑な組織運営を支援するための講座を開催するとともに、活動の担い手として期待される定年退職者をはじめ、不動産関連団体との連携による市内転入者等への働きかけを強化します。
  - 各市民センターにおいて、地域団体間のネットワーク形成や強化につながる事業を行うとともに、地域課題の解決と地域の活性化を推進するため、地域が主体的に取り組む事業や、区の魅力を高め、特色ある区づくりを行うために区民協働により取り組む事業を行います。
  - 協働ナビサイト、手引き・事例集などを活用し、協働の理解促進を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
プロジェクトの展開、地域団体などの強化支援		
地域情報の発信強化・協働の理解促進		

担当：市民局地域政策課・市民協働推進課

- 市民センター整備事業**
- 地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備の推進を図るとともに、施設の長寿命化に向け大規模修繕などを計画的に実施します。
  - 旭ヶ丘市民センターについては、（仮称）青葉障害者福祉センターとの複合施設として整備の検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
将監：複合化改築工事		
水の森・東中田：大規模修繕工事		
沖野・南中山：大規模修繕工事		
	高森：大規模修繕設計・工事	
	貝ヶ森・松陵：大規模修繕設計・工事	
		高砂・黒松・長命ヶ丘：大規模修繕設計
	旭ヶ丘別棟：新築設計・工事	

担当：市民局地域政策課

- コミュニティ・センター整備事業**
- 地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備の推進を図るとともに、施設の長寿命化に向け大規模修繕などを計画的に実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
川平・川前・蒲町・虹の丘：大規模修繕工事		
原町・袋原・住吉台・鶴が丘：大規模修繕設計・工事		
	岡田・沖野・大野田別館・人來田・南光台東：大規模修繕設計・工事	
		遠見塚・芦の口：大規模修繕設計
		小松島：改築設計

担当：市民局地域政策課、各区まちづくり推進課

- 地域交通運行確保・運行支援事業**
- 【再掲】**
- ※関連P28**
- 市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。
  - 住民・利用者、バス事業者、行政などが、路線バスの維持や地域交通の確保について話し合いを行い、路線バスと乗合タクシーなどの地域交通と適切に役割分担することにより、地域の移動手段の確保・維持に向けた対策を検討します。
  - 公共交通のサービスレベルが低い地域などにおいて、地元の住民組織などが主体的に運営に携わる、持続可能な地域交通の導入を支援します。
  - 宮城野区燕沢地区や太白区坪沼地区など、住民組織が主体となって運営している乗合タクシーの運行の維持を支援します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
住民・利用者、バス事業者、行政による意見交換会の実施		
地域交通の導入支援・運行維持対策支援の実施		

担当：都市整備局地域交通推進課

**まち再生・まち育て活動支援事業**  
※関連P83

- 都市の持続的な発展を目指し、地域のにぎわいを創出するため、地元の住民や事業者などと連携し、地域の実情や特性を生かした魅力的なまちづくりに取り組みます。
- 地元住民や事業者などが中心となったエリアマネジメントの取り組みを継続的に実施できるよう、都市再生推進法人を目指すまちづくり団体の組織構築や体制強化を支援します。また、様々な制度の活用も視野に入れながら、公共空間などにおけるにぎわいを創出するイベント開催や、質の高い空間をつくるための維持管理の活動を支援します。
- 既成市街地において、地域の課題を解決しようとするエリアマネジメント団体主体の取り組みを支援するため、低未利用地の改善方策を検討するなど、新しい社会ニーズに合わせた効率的な土地利用のあり方や、民間主体による管理運営手法などについて検討を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域のエリアマネジメント活動支援		
低未利用地の改善方策の検討		

担当：都市整備局市街地整備課・地下鉄沿線まちづくり課・都心まちづくり課

**ストック活用型都市再生推進事業**  
※関連P83

- 市街地において、にぎわい創出や回遊性の向上を図るとともに、懐の深い都市空間を形成するため、既存ストックの利活用を推進します。
- 都心のスモールエリアや地下鉄沿線のエリアなどで、低未利用地の不動産オーナーなどの協力を得ながら、遊休不動産のリノベーション事業を推進することで、民間による新たなローカルコンテンツの創出を支援します。
- 上記エリアやその周辺エリアにおいて、事業者による公共空間でのにぎわいづくりに資する利活用事業が日常的に実施できるよう支援します。
- 遊休不動産のリノベーションや公共空間利活用イベントの開催について情報発信するとともに、職員向けの研修などを開催し、公民連携についての意識醸成を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
遊休不動産のリノベーション事業の支援		
公共空間の利活用の支援		
情報発信・研修などの実施		

担当：都市整備局市街地整備課・地下鉄沿線まちづくり課・都心まちづくり課

2 地域づくりパートナーシップ推進

概要	地域によって異なる課題にきめ細かく対応するため、地域団体やNPO、事業者など多様な主体が持つ力を、地域の課題解決やにぎわいづくりなどに活かす仕組みづくりを推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	既存・新築マンション等訪問延べ件数	28箇所（令和元年度）	60箇所（令和5年度）
	「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づく事業の延べ実施件数	－	15件（令和4年度）
	東部沿岸地域の協議体への参加団体数	10団体（令和2年度）	15団体（令和5年度）
	「小さくても未来へつながる連携」に関する新規連携延べ件数	－	5件（令和5年度）
	泉中央地区での地域活性化事業の開催件数（いずみハロウィンや七北田公園を活用したイベント事業）	2件（令和2年度）	5件（令和5年度）

- マンション等コミュニティ強化事業**
- 区中心部において町内会等の地域コミュニティ形成が課題となっているマンションなどに向けて、地域の町内会長等の関係者と連携のうえ、町内会形成の働きかけを行います。
  - マンションの建設の段階から町内会設立の流れを生み出すため、マンション建設事業者等を訪問し、入居者への町内会設立・加入の事前の働きかけを促します。
  - コミュニティ強化に向け、市政情報の発信や町内会活動の支援を行うため、地域の施設に職員が定期的に出向き、地域との連携を深める機会を創出します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
町内会形成の働きかけ、町内会活動支援		

担当：青葉区まちづくり推進課

- 先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業**  
※関連P74
- 少子高齢化や人口減少が加速的に進み、休耕地の増加、学校の統廃合に伴う跡地利用、鳥獣害の増加など、様々な地域課題が山積している宮城地区西部において、ICTなどの先進的な技術によって地域課題の解決を図ります。
  - 地域の方々と話し合いを重ねて策定した「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づき、電子回覧システムの導入による郊外的生活環境の向上、有害鳥獣対策や、スマート農業の導入など、地域課題解決のための7つのアイデアを基本として事業を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域課題検討会議の開催 意見交換・事業の実施についての合意形成		
「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に 掲げる事業の推進		
	今後の展開の検討・実施	

担当：青葉区宮城総合支所地域活性化推進室

- 海浜エリア活性化事業**  
【再掲】  
※関連P16
- 東部沿岸地域の持続的な回遊性を構築するために、各種データの収集・分析を行うほか、自然・農業・観光等に関する専門家からの意見聴取を行うとともに、様々な交通手段による回遊性向上のための検証を行います。
  - 東部沿岸地域のにぎわいづくりを目指す仙台東部エリア交流施設連絡協議会における検討や地域住民・地域活動団体・防災集団移転跡地利活用事業者等との意見交換を進めます。
  - 地域団体が自主的・自発的に企画実施する、農業振興や地域PRなど東部沿岸地域の活性化に資する取り組みに対する支援を行います。

- 貞山運河跡への桜植樹等、新たな名所づくりを進めるほか、多くの方が来訪しやすい環境の整備、深沼海水浴場のあり方などについての検討を進めます。また、「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」の活用・発信を支援するとともに、これらの震災メモリアルスポットなど海辺の魅力を発信します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種リサーチの実施		交通資源実証実験
地域住民・地域活動団体・防災集団移転跡地利活用事業者などとの連携		
桜植樹、来訪環境の整備、「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」の活用・発信支援		
ホームページ等による海辺の魅力の発信		

担当：文化観光局観光課、宮城野区まちづくり推進課、若林区まちづくり推進課

### 「小さくても未来へつながる連携」促進事業

- 太白区において、複雑化・高度化している地域課題を解決するため、課題の発掘や解決の支援を行い、異業種・多分野との連携により解決を目指します。地域課題の解決にあたって、企業、大学、商店街、地域包括支援センターなどの参画を通して、より実践的・創造的な価値を創出していきます。
- 課題解決までのプロセスを可視化・共有化するため、連携事例を紹介するリーフレットを作成し、広報することで、企業、大学、商店街、地域包括支援センターなど異業種・多分野での連携を促進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
課題発掘、解決支援		
リーフレットの制作・広報		

担当：太白区まちづくり推進課

### 泉中央地区活性化事業

- 仙台市の広域拠点に位置付けられ、区役所の建て替えも予定されている泉中央地区において、さらなるにぎわいづくりを推進するため、泉中央地区の活性化に資する取り組みを進めます。
- 商業施設設置者などで構成する実行委員会が主体となって、泉中央駅前広場を活用して「いずみハロウィン」を開催します。ハロウィンの雰囲気演出するイルミネーションなどの装飾を行うとともに、来場者参加型のイベントの実施を検討します。
- 周辺事業者などによる団体が主体となって実施する、七北田公園を活用した泉中央地区のにぎわいづくりのためのイベントの開催に対して、公園緑地協会とも連携しながら必要な支援を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
泉中央地区での地域活性化事業実施		

担当：泉区まちづくり推進課

## 3 ユースチャレンジ推進

概要	若者の主体的なチャレンジを応援し、まちづくりや地域課題の解決に生かすため、地域の将来を担う若者の人材育成や若者の活動に対する助成などに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	仙台まちづくり若者ラボの参加者数	30人（令和2年度）	40人（令和5年度）
	青葉区における学生団体と地域活動の延べマッチング数	2件（令和元年度）	5件（令和5年度）
	みやぎの・まちづくり若手人材育成セミナー受講生が取り組む地域活動の件数	－	2件（令和5年度）
	大学と若林区の延べ連携事業件数	－	4件（令和5年度）
	若林区における学生と地域が協働で取り組む地域活動の件数	－	2件（令和5年度）
	太白区における地域と大学とのマッチングによる支援団体数	1団体（令和2年度）	基準値を維持
	太白区における東北工業大学との共同講座数	1件（令和2年度）	基準値を維持
	いずみ絆プロジェクト支援事業の助成件数	9件（令和2年度）	10件（令和5年度）
	大学連携地域づくりによる団体間の交流促進事業の延べ開催回数	3回（令和元年度）	5回（令和5年度）

## 若者が活躍するまちづくり事業

- 将来にわたって若者に選ばれ、若者が活躍することが持続していくまちを実現するため、若者の発想や活動をまちづくりに生かす取り組みを進めます。
- 若者団体から身近なまちづくりに取り組む事業提案を募集し、市との協働で取り組む「若者版・市民協働事業提案制度」を実施し、若者のアイデアを市の施策に取り入れる機会を創出します。
- 若者が参加する実践型プログラムである「仙台まちづくり若者ラボ」を実施し、若者のアイデアを地域課題の解決や地域活性化に生かすとともに、主体的に動く若者や将来のまちづくりの担い手の発掘・育成を目指します。
- 若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と多様な主体との連携によるSDGs達成への取り組みを促すなど、若者の社会参加の促進を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
若者版・市民協働事業提案制度の実施		
仙台まちづくり若者ラボの実施		
若者の社会参加の促進		

担当：市民局市民協働推進課

## 学生の参加による地域づくり推進事業

- 大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげます。
- 当事業への登録団体を確保するため、大学や専門学校への働きかけを継続するとともに、様々な機会を捉えて若者や関係団体との接点を多く持つことにより、地域のニーズに応じたマッチングを行えるようネットワークを拡げます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生団体・地域団体双方へのPR、希望団体間のマッチングの実施		
事業のあり方の継続検討		

担当：青葉区まちづくり推進課

みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業

- 宮城野区において、地域を担う次世代の育成を図るため、若い世代を対象として、実際にまちづくり活動を行っている団体などによるセミナーやワークショップを開催します。
- 上記のまちづくりセミナーやワークショップの開催により、互いの交流の機会を創出し、地域の若手同士のネットワークづくりを促進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
セミナー・ワークショップの開催、地域活動の実践		

担当：宮城野区まちづくり推進課

わかばやし地学連携推進事業

- 令和5年4月に開設される東北学院大学五橋キャンパスと、土樋キャンパスに集う約11,000人の大学生を核として、地域や企業との多様な連携協力、共生に取り組むとともに、地域の課題解決や経済の活性化を推進します。
- 荒町地区や連坊地区などの住民や関係者に対して、情報の提供や、懸念・期待などの意見の聴取を図ります。また、新たなまちづくりについて話し合うための意見交換会や、地学連携に関する専門家を招いた勉強会の開催、SNSや地域だよりなどを通じた情報の発信に取り組みます。
- 他都市における大学・学生と、行政や地域との連携事例について視察調査を行い、大学・区・地域の連携のあり方の検討を進めます。
- 大学という学び舎を活用した生涯学習の提供など、大学・学生と地域の共生を進める地域貢献・課題解決の活動の検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
先進地視察		
大学・地域・区との意見交換会		連携・協働構築の推進
大学・区との連携事業の実施		

担当：若林区まちづくり推進課

たいはく若者まちづくりフォーラム事業

- 太白区において、次世代のまちづくりの担い手となる人材の育成を図り、地域のまちづくり活動を推進するため、太白区まちづくり推進協議会との共催事業として、若者のまちづくりに対する意識の醸成やまちづくりについて学ぶ機会の創出に取り組みます。
- まちづくりに取り組む地域と大学研究室とのマッチングや活動支援を行います。
- 東北工業大学と共同で、大学の1、2年生を対象に、市職員や地域のまちづくり活動実践者を講師に迎え、まちづくりをテーマとした単位取得が可能な講座を開講します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域と大学とのマッチングによる支援団体数		
東北工業大学との共同講座		

担当：太白区まちづくり推進課

大学連携地域づくり事業

- 泉区において地域課題の解決や活力ある地域づくりを進めるため、泉区内及び近隣の計6大学、泉区まちづくり推進協議会、泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、大学が地域と連携して取り組む地域づくり活動を支援します。
- 「いずみ絆プロジェクト支援事業実施要領」に基づき、学生による地域課題の解決への取り組みや地域づくり活動を支援します。また、活動の実績について発表する「泉6大学まちづくりフェスティバル」を開催するとともに、各学生団体による活動や発表の様子など、大学地域連携の取り組みについてメディアなどを活用し情報発信を行います。
- 地域づくり活動を行う学生団体同士の交流事業を実施することにより、団体間のネットワークを広げ、互いの活動を高めあう関係づくりを促進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
いずみ絆プロジェクト支援事業の実施		
団体間の交流促進事業の実施		

担当：泉区まちづくり推進課



4 西部地区活性化

実施の方向性	03
--------	----

概要	人口減少・少子高齢化などの課題を抱える仙台市西部地区の活性化を図るため、豊かな地域資源を生かし、交流を活発化させる取り組みを行う地域団体を支援するなど、地域主体のまちづくりを進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	作並・新川地区活性化連絡協議会の実施事業数	—	10件（各年度）
	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会の桜の植樹数	6,000本（令和2年度）	10,000本（令和5年度）
	生出地区活性化事業の各支援団体における実施事業件数	6件（令和元年度）	基準値を維持
	秋保地区活性化事業の各支援団体における実施事業件数	4件（令和元年度）	基準値を維持
	泉西部地区まちづくり懇談会の開催件数及びワーキンググループの設置件数	懇談会：1件（令和2年度） ワーキンググループ：1件（令和2年度）	基準値を維持
	泉西部地区情報発信サイトの閲覧回数	—	5,000アクセス/月（令和5年度）

- 宮城地区西部活性化事業**
- 宮城地区西部において、地域固有の豊かな自然や観光名所などを活かした事業を展開することで、住民の地域への愛着を高めるとともに、地域内外の交流を活発化させる取り組みを推進します。
  - 地域住民や企業などが設立した作並・新川地区活性化連絡協議会と連携し、地域活性化の取り組みを推進します。
  - 青野木・大倉地区において、仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会に参加し、当該地域を桜の名所とすることで地域活性化を図る事業を協働して実施します。
  - 作並地区において、作並温泉郷千年桜プロジェクト委員会に参加し、国道の拡幅により伐採された桜並木を復活させるなどの取り組みにより地域活性化を図る事業を協働で実施します。
  - 大倉ダム周辺地域において、大倉ダムの魅力発信実行委員会に参加し、大倉ダムの魅力を向上させることで、周辺地域の活性化を図る事業を協働して実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
作並・新川地区活性化連絡協議会と連携した活性化事業の展開		
仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会の活動支援		
作並温泉郷千年桜プロジェクト委員会の活動支援		
大倉ダムの魅力発信実行委員会の活動支援		

担当：青葉区宮城総合支所地域活性化推進室

- 生出地区活性化事業**
- 生出地区において、地域資源を活用した事業を実施することにより、交流人口・関係人口を増やし、主体的に課題解決に当たる活動を支援します。
  - 生出地区において、「生出地区まちづくり基本構想」に基づき、農業を基軸とした多様な交流の場の整備・活用や、大学と連携して実施している古民家再生事業やマップ制作事業など、

生出地区まちづくり委員会が取り組む活動の支援に取り組めます。

- 坪沼地区において、栽培指導型農園の運営や、企業などと連携した農業体験イベントの開催を通して主体的に課題解決に取り組んでいる団体を支援します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
生出地区まちづくり委員会・やるっチャツボヌマなどの活動支援		

担当：太白区まちづくり推進課

### 秋保地区活性化事業

- 秋保地区において、地域で活動する団体などの多様な主体と連携し、豊かな自然や歴史などの地域の魅力を活かした交流活動や情報発信を支援します。
- 農産物の特産品化を推進し、生産意欲の向上や遊休農地の利活用につなげるとともに、地域ならではの産直活動を支援するなど、観光振興による地域経済の活性化を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
野尻いぐする会・さかいの地区創生会などの活動支援		

担当：太白区秋保総合支所総務課

### 泉区西部活性化事業

- 泉西部地区において、地域主体のまちづくりの推進を支援します。
- 地域課題の共有やまちづくりについて地域主体で考えるため、泉西部地区まちづくり懇談会を実施するとともに、課題ごとにワーキンググループを設置し、具体的な事業の企画や実施を支援します。
- 泉西部地区の認知度向上や交流人口の拡大を図るため、「泉西部地区情報発信強化事業」としてウェブサイトにより地域の魅力の情報発信を強化していきます。また、泉西部地区まちづくり懇談会のワーキンググループにおいて検討された内容を踏まえながら発信を進めることで、地域一体となった事業展開を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
泉西部地区まちづくり懇談会の実施、ワーキンググループの開催		
泉西部地区情報発信強化事業の実施		

担当：泉区まちづくり推進課

## ⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

### 目 標

### 子どもたちの未来が広がる環境をつくる

持続可能な未来をつくるためには、安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが健やかに成長できる環境が不可欠です。子どもたちの個性を尊重し、地域で見守りながら、子どもたちがチャレンジできる機会を広げることで、人生を切り開く力を伸ばしていきます。そして、大人も子どもとの関わりを通じて学び、社会がより良い方向に進むための好循環を生み出します。

### 実施の 方向性

### 01 意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる

- ◆ 子どもたちの持つ可能性を引き出すため、自己肯定感や自己効力感を育み、探究意欲やコミュニケーション能力を伸ばす環境をつくるとともに、学校・地域・家庭による協働を一層深めることで、子どもたちの豊かな学びの場を確保し、地域や社会への興味関心を広げる機会をつくります。
- ◆ 情報化社会・グローバル化に対応した成長の機会をつくるとともに、目的に応じてオンラインや対面での活動を最適に組み合わせ、学びの機会の確保と質の向上を図り、子どもたちが社会変化に適応できる環境をつくります。

### 02 個性に合わせた成長の機会をつくる

- ◆ 子どもたちが年齢、性別、国籍、障害の有無などの多様性への理解を深めるとともに、異なる立場にある人との対話の機会をつくるなど、互いを思いやる気持ちを育むことができる学びの場をつくります。
- ◆ 不登校の児童生徒や発達に不安を抱えている子ども、特色のある才能を持つ子どもなど、誰もが安心して育つ、個性に合わせた選択肢のある学びの場をつくります。

### 03 子育てを楽しめる環境をつくる

- ◆ 妊娠・子育てについて、必要な情報にアクセスしやすい環境や、オンライン・対面など様々な手段で相談できる環境をつくるとともに、企業やNPO、地域などが協力して子育て家庭を応援していく機運を高めます。
- ◆ 子育て世代の家庭における学びの充実とともに、子連れで安心して外に出かけて楽しめる環境づくりや、子どもたちが自然との触れあいはじめ、様々な遊びを体験できる機会の充実を図ります。

## 1 挑戦する力を育てる学び推進

概要	子どもたちが夢や希望を抱き、自らの可能性に挑戦する力を育むために、知・徳・体をバランスよく育むとともに、社会的・職業的自立に必要な態度・能力を育む教育やICT教育を推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	各学年におけるICTを活用した学習活動の目標回数	—	小学校1～2年生：1～3回/日 小学校3～4年生：2回/日 小学校5～6年生：3回/日 中学生：3回/日 (令和5年度)
	ICT教育推進に関するICT研修の延べ参加人数	—	750人(令和5年度)
	プログラミング教材導入校数	119校(令和2年度)	184校(令和5年度)
	生活・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合	小6：82.8%、中3：70.9% (令和元年度)	小6：85.0%、中3：75.0% (令和5年度)
	生活・学習状況調査における「将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている」と答えた児童生徒の割合	小6：76.5%、中3：71.6% (令和元年度)	小6：78.0%、中3：73.0% (令和5年度)
	標準学力検査において、基礎的知識の定着目標を達成している児童生徒の割合が70%を超える教科の数	10教科(令和元年度)	14教科(令和5年度)
	生活・学習状況調査における「勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合	小6：88.5%、中3：84.4% (令和元年度)	小6：91.0%、中3：87.0% (令和5年度)

## ICT教育推進事業

- 情報活用能力や自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで児童生徒の豊かな創造性を育むため、ICT教育を推進します。
- 児童生徒が学習活動において、仙台市版情報活用能力育成学習目標リストにおける4領域である、活動スキル・探究スキル・プログラミング・情報モラルを高めるため、系統的・教科横断的な授業を展開し、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。
- 教員のICTを活用した指導力の向上を図るため、ICT研修の充実や授業づくりの支援、カリキュラムの実践例の周知などを実施します。
- 1人1台配置したタブレット端末や校務支援システムなどを安定的に活用できるよう、定期的な機器やシステムの更新、障害時対応などの運用・保守を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
ICTを活用した授業の展開		
教員へのICT研修の実施		

担当：教育局教育指導課

## 新学習指導要領を踏まえた教育の充実事業

- 新学習指導要領の全面実施を踏まえ、新学習指導要領の理念を実現しつつ、これからの時代に求められる児童生徒の資質・能力の向上を図るため、外国語教育やプログラミング教育の支援を推進します。
- 仙台市独自採用の外国語指導助手であるALTを全小学校に派遣し、ティーム・ティーチング等の外国語教育について校内研修を実施します。また、小学校外国語教育推進校を各区1校指定し、その知見を各区学校へ提示します。
- 小学校・中学校においてプログラミング教材を導入し活用を図るとともに、プログラミング教育と各教科などを関連させた、教科等横断的なカリキュラムの試行と実践を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
全小学校へのALT派遣、小学校外国語教育推進校への指定		
プログラミング教材の導入と活用、カリキュラムの試行と実践		

担当：教育局教育指導課

仙台自分づくり教育推進事業

- 自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むため、仙台自分づくり教育を推進し、児童生徒のたくましく生きる力を育成します。
- 市内の全中学校にて、3日間以上の職場体験活動を実施します。
- 働くことの意義などを伝えるため、自分づくり教育キャリアアドバイザーの派遣を通じて、企業などの講師による職業講話を実施します。
- 変化の激しい社会を、たくましく生きるための素地となる知恵や態度を養うため、「たくましく生きる力育成プログラム」を開発・展開します。
- 児童生徒に望ましい勤労観や職業観、自分の将来の生き方について考える意欲や態度を育成するため、(公社)ジュニア・アチーブメント日本が提供するプログラムである「スチューデントシティ・ファイナンスパーク」を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
全中学校での3日間以上の職場体験活動の実施、職業講話の実施		
仙台子ども体験プラザでの「スチューデントシティ・ファイナンスパーク」の実施		
「たく生き」プラン集の改訂	改訂版「たく生き」プラン集での実践	

担当：教育局学びの連携推進室

確かな学力育成事業

- 児童生徒の確かな学力の確実な定着を図るため、「仙台市確かな学力育成プラン2018」に基づき、指導手法・指導体制の充実のための施策と、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣定着のための施策を体系的に実施します。
- 確かな学力の育成・定着を図ることを目的に、学力の現状と課題を把握・分析し改善を図るため、小学3年生から中学3年生を対象とした標準学力検査と、小学2年生から中学3年生を対象とした生活・学習状況調査を実施します。
- 教員の指導力向上を支援することを通して、児童生徒の学力の定着を図ることをねらいとし、教科指導エキスパート派遣事業や学力サポートコーディネーター派遣事業を実施するなど、教育指導手法の充実を図ります。
- きめ細かな指導体制の確立をめざし、小1生活・学習サポーター事業、小学校高学年教科担任制事業、中1数学少人数学習推進事業や放課後等学習支援事業を実施するなど、教育指導体制の充実を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台市標準学力検査及び生活・学習状況調査の実施と分析		
教育指導手法の充実		
教育指導体制の充実		
新たな学力育成プランの検討	新プランを基に事業実施	

担当：教育局学びの連携推進室

## ② 個性に応じた一人ひとりの学び推進

概要	子どもたちの個性に応じた様々な学びにきめ細かく対応し、長所を最大限引き出すため、少人数学級の推進や不登校への対応、特別支援教育など多様性に応じた教育を推進するとともに、学校における働き方改革など学びを支える教員がより一人ひとりに向き合える環境づくりに取り組みます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	小学校における35人以下学級実施学年	1・2学年（令和2年度）	3学年以上でも順次実施
	不登校対策に関する「学校訪問相談員」の配置人数	5名（令和2年度）	8名（令和5年度）
	心のバリアフリー推進事業の延べ実施校数	40校（令和2年度）	70校（令和5年度）

## 35人以下学級推進事業

- 教員が児童一人ひとりとより丁寧に向き合い、少人数によるきめ細かな指導を行っていく体制を構築するため、小学校での35人以下学級を拡充します。
- 35人以下学級となっている小学校1、2年生に引き続き、令和3年度以降、小学校3年生から順次対象学年を引き上げます。
- 教職員の採用や教室の確保に係る施設改修、学校備品の整備を計画的に進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校3年生から順次拡充		

担当：教育局教職員課

## 学校における働き方改革推進事業

- 教職員の多忙化を解消するため、学校における働き方改革を推進します。
- 小学校における35人以下学級の拡充や高学年における教科担任制の導入、いじめ対策担当教諭の配置などにより指導体制の充実を図ります。
- 学校における部活動指導・学習支援などを担う教員以外の人員体制の充実を図ります。
- 災害共済給付金の口座振込による直接支払いや、学校徴収金の口座引落の検討など業務の役割分担の適正化に向けた取り組みを進めます。
- 学校のICT環境の整備を進め、ICTを活用した業務の充実と効率化を進めます。
- 電話自動音声案内やタイムレコーダーの活用、運動部活動の方針を踏まえた持続的な部活動の推進などにより、教職員の勤務時間やワーク・ライフ・バランスに関する意識の向上改革を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
35人以下学級、いじめ対策、教職員以外の体制など人員体制の充実		
教科担任制の導入		
業務分担の適正化		
ICT活用による校務効率化の推進		
ワーク・ライフ・バランスの推進		

担当：教育局教職員課

## 不登校対策推進事業

- 適応指導センター「児遊の杜」や適応指導教室「杜のひろば」において、個別・小集団・訪問・相談業務による不登校児童生徒や保護者への支援、教職員などに対する研修を行います。また、入級可能な児童生徒を広く受け入れ、それぞれに応じた様々な働き掛けを通して、社会的自立を支援します。
- 在籍学級外の学校での居場所となる「ステーション」の取り組みを推進するとともに、学校訪問相談員を派遣し、校内における支援体制の充実を図ります。
- 不登校の未然防止や早期対応に資するため、多様な教育の機会確保やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門職による効果的な支援の充実を図ります。
- 家庭にひきこもりがち不登校児童生徒に対し、ICTを活用した小学校から中学校までのド

リアル教材等による学習支援や生活面のサポートを含めた定期的な連絡など、家庭と連携しながら、社会的自立に向けた支援体制の充実を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
「児遊の杜」「杜のひろば」における適応指導の充実等		
在籍学級外教室「ステーション」の取り組み推進		
専門職による支援・ICTを活用した学習支援等		

担当：教育局教育相談課・適応指導センター

- 特別支援教育推進事業**
- 障害のある児童生徒の学びと育ちを保障するため、「仙台市特別支援教育推進プラン2018」に基づき、一人ひとりを大切に教育のさらなる充実と、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築を図ります。
  - 障害者スポーツや文化・芸術活動を通じた交流、障害のある当事者を招請しての学習や体験プログラムを実施する「心のバリアフリー推進事業」を実施します。
  - 特別支援教育において、補助員、支援員、看護師などをそれぞれの目的に応じて配置します。
  - 実践的研究を行う学校を特別支援教育実践研究協力校として認定し、校内支援体制、授業や指導などの充実を図ります。
  - 読み書きに困難のある児童生徒に対する効果的な指導法と支援システムを活用した、指導の充実を図ります。
  - 病院に入院中の児童生徒に対し、同時双方向型授業配信システムを活用した遠隔教育を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
心のバリアフリー推進事業の実施		
特別支援教育における人的支援事業の実施		
特別支援教育実践研究協力校の認定		
読み書きに困難のある児童への支援事業の実施		
病気療養児に対する遠隔教育事業の実施		

担当：教育局特別支援教育課

3 学校・地域・家庭の協働による学びや成長の環境づくり推進

心地よさ 成長

実施の方向性	01
--------	----

概要	学校・地域・家庭による子どもたちの豊かな学びや成長の環境づくりを進めるため、コミュニティ・スクールの推進、学校支援地域本部の運営や地域学校協働活動の体制づくりなどに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	児童クラブの待機児童数	17人（令和2年5月1日時点）	0人（令和5年5月1日時点）
	コミュニティ・スクールを導入した学校・園の数	—	189校（令和5年度）
	コミュニティ・スクールを導入した学校・園において、年3回以上学校運営協議会を開催した学校数	—	189校（令和5年度）
	学校支援ボランティアの延べ人数	118,669人（令和元年度）	120,000人（令和5年度）
	統括的な地域学校協働活動推進員の配置人数	2人（令和2年度当初）	5人（令和5年度）
	地域学校協働活動に係る研修人数	62人（令和2年度）	150人（令和5年度）

## 放課後児童クラブ推進事業

- 「仙台市すこやか子育てプラン」に基づき、小学校就学児童が放課後などを安全・安心に過ごすことができる居場所の確保・充実を図る取り組みを進めます。
- 有識者などにより構成する仙台市放課後子ども総合プラン運営委員会を開催し、仙台市の実情に応じた効果的な児童クラブと放課後子ども教室の実施などについて検討を行います。
- 児童クラブの受け皿拡大に向けて、小学校の余裕教室の活用や民間物件の賃借など、多様な手法を組み合わせることにより、児童クラブサテライト室の整備を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
放課後子ども総合プラン運営委員会の開催		
児童クラブサテライト室の整備		

担当：子供未来局児童クラブ事業推進課

## コミュニティ・スクール推進事業

- 学校と家庭、地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、子どもたちを取り囲むように豊かな学びの環境を構築するため、学校支援地域本部と連携しながら、コミュニティ・スクールの導入を推進し、令和5年4月にはすべての市立学校・園での導入を目指します。
- コミュニティ・スクールの理解促進と周知を図るため、市立学校・園に対する研修会を開催するとともに、学校・保護者・地域の要請に基づき説明会を開催します。また、学校に対する説明や、広く市民に周知や広報を行うため、リーフレットなどを作成します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
コミュニティ・スクールを順次導入		次年度開催フォーラムの準備
実施状況の把握と情報提供		

担当：教育局学びの連携推進室

## 学校支援地域本部事業

- 学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育てる体制を構築することを通して、学校の教育活動の充実、地域住民の自己実現や多世代の交流による地域の活性化、家庭・地域の教育力の向上を目指します。
- 地域の実情に応じて、中学校区または単一学校区に学校支援地域本部を設置し、ボランティアによる支援活動を効率的、組織的に行える体制づくりを行います。
- 地域コーディネーターを各本部に置き、ボランティア確保と連絡調整を通じて地域の協力体制の推進を図ります。また、地域コーディネーターをまとめ、本部事業の企画運営事務や市教育委員会と連絡調整を行うスーパーバイザーを配置し、支援活動を円滑に進めるシステムづくりや情報共有、広報活動などを行います。
- 地域学校協働活動のひとつとして、学校に対する支援から連携・協働へと活動の充実を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
学校支援地域本部の活動充実、スーパーバイザーなどの後進育成		
コミュニティ・スクールとの連携・協働		
他の地域学校協働活動団体との連携		

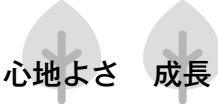
担当：教育局学びの連携推進室

## 地域学校協働活動推進事業

- 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学びを通じた地域づくりを目指すため、地域学校協働活動を推進します。
- 統括的な地域学校協働活動推進員を5名程度委嘱し、仙台市における地域学校協働活動の方向性や、学校と地域向けの研修を検討し実施するとともに、学校教育や社会教育における各研修などにおいて周知を行います。
- コミュニティ・スクールの実施校区から仙台版地域学校協働活動パイロット地区を選定し、地域学校協働活動推進員がコミュニティ・スクール運営協議会に参加する仕組みづくりを行います。また、パイロット地区の実例を踏まえ、学校向けの推進マニュアルなどの作成を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修などにおける周知活動	
パイロット事業の実施	パイロット事業の事例・ノウハウの周知	
統括的な地域学校協働活動推進員の委嘱		

担当：教育局生涯学習課



4 切れ目のない子育て支援

実施の方向性	03
--------	----

概要	子育てが安心して子どもたちを育てることができ、子どもたちも健やかに成長できる環境をつくるため、妊娠期から出産・子育て期にわたるアウトリーチも含めた相談の充実や各種健診の実施、保育環境の整備や多様な保育サービス提供など、切れ目のない子育て支援に取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	「のびすく」5館の利用者アンケートにおける満足度	92.8%（令和元年度）	90.0%（令和5年度）
	子育て支援ネットワーク交流会参加者アンケートにおける満足度	94.3%（令和元年度）	90.0%（令和5年度）
	SNSを活用した子ども・子育て相談におけるアカウントの登録者数	—	2,000名（令和5年度）
	妊婦健康診査の受診件数	95,368件（令和元年度）	90,000件（令和5年度）
	育児ヘルプ家庭訪問事業の延べ利用回数	2,118回（令和元年度）	2,100回（令和5年度）
	幼児健康診査の受診率	1歳6ヵ月：98.3% 2歳6ヵ月：96.0% 3歳：95.7% （平成30年度）	基準値を維持
	児童館整備に関する年度別事業進捗率	—	100%（令和5年度）
	児童館の乳幼児親子利用者数	523,696人（平成30年度）	520,000人（令和5年度）
	保育士を十分に確保できた施設の割合	77%（令和2年度当初）	80%（令和5年度当初）
	保育施設などの利用定員数 ※企業主導型保育事業を含む	21,823人（令和2年度当初）	23,324人（令和5年度当初）

- のびすく運営事業**
- 子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」を5区で運営します。
  - 「のびすく」において、乳幼児親子の交流の場の提供や一時預かり、子育てに伴う相談や子育てに関する情報の収集・提供などを行うことにより、子育てに対する不安や負担の軽減を図ります。
  - 「のびすく」を中心として、子育て支援団体などの相互の情報交換や交流を促進し、実践報告会を開催するなど、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
「のびすく」の運営・管理		
全市的な子育て支援ネットワークの構築		

担当：子供未来局総務課

子ども・子育てに関するオンライン等相談事業

- 子ども・子育てについて悩みを持つ方が気軽に相談できる環境をつくるため、オンラインなどを活用した多様な相談体制や情報提供体制の充実を図ります。
- 子育て・家庭・親子関係などの悩みを持つ方が、ひとりで悩まずに気軽に相談できるよう、SNSを活用した相談窓口を開設します。
- 若年層が相談しやすいように、SNSを活用し、妊娠期の方やその疑いがある方など、悩みを抱える方々への相談対応や保健指導を行います。
- 外出せずに相談できるように、電話やオンラインなどでの相談体制の構築を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
SNSを活用した子ども・子育て相談の実施		
妊娠等に関する相談事業の実施		
オンラインによる相談体制・情報提供の拡充		

担当：子供未来局子供家庭支援課・子供保健福祉課

妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業

- 妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。
- 特定不妊治療助成や不妊・不育専門相談センターによる相談を通じて、妊娠を望む方を支援するとともに、妊婦健診、特定妊婦と疑われる方に対する産科受診などの支援、妊娠などに関する相談事業などを通じて、妊婦のサポートを行います。
- アウトリーチによる乳児家庭全戸訪問や育児ヘルプ家庭訪問、せんだい助産師サロンなど、産婦に対する相談支援などを行います。
- 産婦健診や産後ケア事業により、出産直後の母子に対しての心身のケアや育児サポートを行います。
- 乳児健診・幼児健診・5歳児発達相談事業などの健診・相談事業を実施し、0歳から就学に至るまでの親子を切れ目なく支援します。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した相談支援体制を強化するため、オンラインを活用した相談や交流の機会の拡充に努めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種事業の実施		
妊娠等に関する相談事業の拡充		
5歳児発達相談事業の実施		
産後ケア事業の実施		
オンラインによる相談体制・情報提供の拡充		

担当：子供未来局子供保健福祉課、各区家庭健康課

児童館整備・運営事業

- 小学校区単位を基本として、地域における児童と子育て中の親の活動拠点となる児童館を整備するとともに、児童館の長寿命化に向けて、大規模修繕などを計画的に実施します。
- 児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭に対する支援の充実につながる児童館運営を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
将監地域複合施設：建設工事		
東六番丁：実施設計	東六番丁：改築工事	
片平：実施設計	片平：改築工事	
東中田・水の森・七北田・根白石：大規模修繕工事		
沖野：大規模修繕工事		
南光台東・住吉台：大規模修繕実施設計	南光台東・住吉台：大規模修繕工事	
	貝ヶ森・虹の丘・松陵：大規模修繕実施設計	貝ヶ森・虹の丘・松陵：大規模修繕工事
		高砂・遠見塚：大規模修繕実施設計

担当：子供未来局児童クラブ事業推進課

- 保育士等人材確保推進事業**
- 子どもを安心して育てることができる環境を整えるため、保育士不足を解消する取り組みを進めます。
  - 合同就職説明会や保育士リターンセミナーを開催することで、保育士の確保につなげます。
  - 保育士等就労スタートアップ事業補助金や保育士宿舍借り上げ支援事業補助金等を交付することで、保育士等の処遇の向上を図り、保育士等を確保しやすい体制整備を支援します。
  - 保育士の業務負担軽減を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理などの業務のICT化を行うために必要な費用の一部を補助します。
  - 認定こども園などに勤務する保育士資格を有していない者のうち、幼稚園教諭免許を有する者に対して、保育士資格の取得支援を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種保育士等人材確保事業の実施		

担当：子供未来局運営支援課・環境整備課・認定給付課

- 保育施設・幼稚園における保育の提供体制充実事業**
- 増加が見込まれる保育需要と、多様化する保護者のニーズに対応するため、保育施設・幼稚園において保育の提供体制の充実を図ります。
  - 子育て家庭が増加し、保育需要の増加が見込まれる地区を中心に、保育所や小規模保育事業などの保育基盤整備を計画的に進めます。
  - 企業主導型保育事業について、市民への周知などを通じて利用促進を図ります。
  - 認定こども園へ移行を予定している幼稚園に対し、相談支援を行うとともに施設改修などに要する経費の一部を助成します。
  - 幼稚園の教育時間終了後も園児を預かる「預かり保育」を実施する幼稚園に対し、運営費の一部を助成します。
  - 老朽化した私立保育所などの改修や建て替えに対して支援を行います。
  - 入所児童数が定員に満たない施設において、空き枠を需要の高い年齢区分へ振り替えて受け入れを行うなど、空き枠の効果的な活用を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
保育基盤の整備		老朽化した施設への支援
空き枠の効果的な活用、企業主導型保育事業の周知・広報		
認定こども園の整備・移行支援、幼稚園預かり保育事業への助成		

担当：子供未来局環境整備課

## 5 子育て応援社会推進

概要	子育て家庭が安心して子どもたちを育てることができ、子どもたちも健やかに成長できる環境をつくるため、子どもの遊びの環境の充実や情報発信などに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	子育て情報に関するアプリの利用登録件数	—	2,000件（令和5年度）
	子育て情報サイト・アプリで発信する、子育て応援の取り組みを行う民間施設などの数	—	800件（令和5年度）

## 子どもの遊びの環境充実事業

- 子育てを応援する社会をつくるため、子どもの遊びの環境の充実を図る取り組みを進めます。
- 子どもの遊びの環境の充実に向けて、民間活力などの活用を視野に入れながら、ハードとソフトの両面から検討を進めます。
- 令和2年度に実施した遊びの環境に関する調査・研究の結果を踏まえ、実証実験を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
実証実験などによる検証を通じた検討の実施		

担当：子供未来局総務課

## 子育てに関する情報発信充実事業

- 子育てを応援する社会をつくるため、本市における子育てに関する情報を必要とする人に効果的に発信します。
- 子育て情報に関するポータルサイトとスマートフォン向けアプリケーションにおいて、行政サービスのみならず、民間施設などにおける子育て応援の取り組みを発信するなど、コンテンツの充実を図ります。
- 子育て家庭のニーズを踏まえ、子育て情報サイトやアプリの機能を段階的に拡充します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
子育て情報サイトなどの運用		
コンテンツの充実・機能の拡充		

担当：子供未来局総務課

## 子ども・子育てを応援する各種プロジェクト展開事業

- 子育てを応援する社会をつくるため、地域社会全体で子ども・子育てを応援していく機運の醸成を図るとともに、各種プロジェクトを企画・実施します。
- 多様な主体間の連携のスキームや各種プロジェクトのあり方について検討を進め、多様な主体との連携を通じて、子ども・子育てを応援する具体的な取り組みを展開します。
- 民間施設における子育て応援の取り組みなどを子育て情報サイトやアプリなどを通じて発信します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
多様な主体間の連携スキームの検討	各種プロジェクトの実施	
	民間施設などの情報発信	

担当：子供未来局総務課

## ⑥ ライフデザインプロジェクト

### 目 標

### 自分らしい生き方が実現できる環境をつくる

人生100年と言われる時代、学ぶことや働くことに年齢の制限はありません。自分らしく、充実した暮らしを実現するためにも、その前提となる健康づくりへの意識を高めるとともに、文化芸術や歴史などに親しめる多彩な学びの機会があふれる環境やライフスタイルに合わせた活躍の場をつくり出します。そして、様々な個性が輝き、創造性あふれる豊かな社会をつくり出します。

### 実施の 方向性

### 01 まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる

- ◆ 多彩な学びや体験の機会を創出するとともに、文化芸術や歴史などに親しみ、創造性が育まれる環境をつくり出します。
- ◆ 学びや体験をまちづくりの実践の場につなげる仕組みをつくり出るとともに、音楽や芸術などの創作活動がまちの新たな魅力となる環境づくりを進めます。

### 02 誰もが活躍できる環境をつくる

- ◆ 一人ひとりが希望するキャリアやライフスタイルの実現に向けて、多様な働き方ができる環境をつくり出します。
- ◆ 様々な社会参加の機会をつくり、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、主体的に活躍できる環境をつくり出します。

### 03 ライフステージに合わせた健康を支える

- ◆ スポーツ・運動機会の確保、食生活の改善などを通じて、ライフステージに合わせた健康づくりを進めます。
- ◆ テクノロジーの活用など、医療機関へのアクセスが困難な人も安心して医療を受けることができる環境づくりや、効果的な介護予防に向けた取り組みを進めます。

## 1 多彩な学びと実践の環境づくり推進

概要	学びや体験の場を創出し、実践につながる環境をつくるため、音楽・舞台芸術・アート等の文化芸術に触れる機会をつくるとともに、仙台城跡の整備や電子図書館サービスの導入などに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	仙台市主催事業などでの調査による仙台市の文化芸術環境に対する満足度	—	60.0%（令和5年度）
	仙台市・仙台市市民文化事業団主催事業（経常事業）における協働相手方数	434件（令和元年度）	450件（令和5年度）
	ミュージアム連携に関するウェブサイト閲覧数	80,000件（令和元年度）	基準値以上
	仙台城本丸跡の来場者数	58万人（平成30年度）	60万人（令和5年度）
	電子書籍のコンテンツ導入数	—	4,000タイトル（令和5年度）

## 文化芸術によるまちの魅力づくり事業

- 文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるとともに、楽都・劇都としての都市の魅力を高め、交流の拡大につなげます。
- 青年文化センターを拠点とした文化芸術の創造発信、せんだい演劇工房10-BOXにおける舞台芸術・古典芸能の振興と施設の老朽化に伴う一部建て替え、仙台文学館を中心とした文学の普及啓発を行います。
- 仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルの開催、仙台ジュニアオーケストラの運営、仙台フィルハーモニー管弦楽団の運営支援などを通じ、楽都仙台としての音楽文化を振興します。
- 市民の文化芸術活動への支援・助成を行うとともに、地域の文化芸術の担い手との協働により、まちのにぎわい創出に資する事業や身近な場所への訪問型事業を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
文化芸術施設における文化芸術振興の取り組みの推進		
「楽都仙台」としての音楽文化の振興の推進		
	第8回仙台国際音楽コンクールの開催	
市民の文化芸術活動の支援		

担当：文化観光局文化振興課

音楽ホール整備事業  
※関連P83

- 音楽の都・楽都としての魅力をさらに高め、文化芸術振興の中核拠点となる音楽ホールの整備に向けて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を見極めつつ、幅広い市民、団体等の意見を伺いながら検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
整備に向けた検討		

担当：文化観光局文化振興課

## ミュージアム連携事業

- 多面的な学びの機会をつくるため、市内のミュージアム17館がネットワークを形成する仙台・宮城ミュージアムアライアンスにおいて、連携事業などに取り組むとともに、各館が持つ知識や手法を集積し、単独館では実施困難な事業を展開します。
- ミュージアム活用リーフレットや掲示物などの制作による広報に取り組むとともに、各館が保有する情報と地域内の知的資源をつなぎ、蓄積・発信する取り組みを進めます。
- ミュージアム連携のプラットフォームを生かし、フレキシブルな形でのイベント開催や、観光分野など他分野と協働した活性化の取り組み、市民・クリエイターによるミュージアムの利活用促進事業などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規事業の展開		
情報の発信、連携プログラムによるミュージアム連携の活性化		

担当：教育局生涯学習課

- せんだい・アート・ノード・プロジェクト  
【再掲】  
※関連P17
- 文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるため、せんだいメディアテークを核に、アートプロジェクトを展開します。
  - 子どもや若者、子育て世代が参加するアートを媒介とした交流事業を推進するとともに、その中核的事業として、子どもが自ら構想し、世代を超えて協働で作品を制作するアート・プロジェクトを実施します。
  - 被災地域である貞山運河沿いで作品制作を通した南北の往来を促進するとともに、里海の魅力を引き出し、新たな価値を創造するアートプロジェクトを展開します。
  - 新型コロナウイルスに対応し、ウェブとリアルを組み合わせた事業を展開します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
アート振興事業の実施		
今後の展開の検討・実施		

担当：教育局生涯学習課

- 仙台城跡整備推進事業  
【再掲】  
※関連P12
- 歴史と趣を感じる城郭らしい景観と、来訪者が学びを楽しむことのできる環境を実現するため、仙台城跡の史跡整備を計画的に進めます。
  - 仙台城築城期の大手道とされる巽門登城路や、大手門周辺における測量調査・発掘調査などを計画的に実施し、整備に向けた史跡の実態解明を行います。
  - 植生調査を実施し、これに基づき「植生修景計画」を策定のうえ、本丸跡をはじめとする城郭全体にかかる景観の整備を行い、歴史的な背景を踏まえた眺望（政宗ビュー）を実現します。
  - 発掘調査成果に基づく巽門登城路の再現や土塁の顕在化、法面保護など、史跡の保存と活用のための整備を行います。
  - 大手門復元については、令和3年度から令和12年度の事業計画期間において、絵図、文献、古写真などの調査や、周辺部を含む地形測量や発掘調査などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
大手門復元関連基礎調査を含む各種調査の実施		
植生調査、本丸縁辺地・東丸土塁の景観整備		
東丸土塁の史跡整備		

担当：教育局文化財課

- 電子図書館サービス導入事業
- 住んでいる地域や社会の状況に関わらず、市民が等しく図書館サービスの提供を受けることのできる読書環境の整備を図るため、小説や実用書、児童書などについて、インターネットを活用した貸出などに取り組みます。
  - 電子書籍の貸出サービスについて、利用者アンケートの結果や、利用者の年齢、貸出数、貸出資料の内訳などの利用状況をもとに、利用者ニーズを検証します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
電子図書館サービス事業実施		

担当：教育局市民図書館

## ② 多様な主体の活躍推進

概要	一人ひとりが多様な生き方を選択し、能力を十分に発揮できる環境をつくるため、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加など活躍の機会をつくります。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	企業等を対象とした女性活躍推進に関するセミナー・出前講座等実施数	30回（令和元年度）	合計90回（令和3～5年度）
	障害者福祉施設の利用者における一般就労への移行者数	280人（令和元年度）	361人（令和5年度）
	障害者就労定着支援事業の利用者数	141人（令和元年度）	253人（令和5年度）
	老人福祉センターの趣味の教室の平均利用人数	14.8人/回（令和元年度）	15.0人/回（令和5年度）
	子ども参画型社会創造支援事業の参加者数	1,000人（令和元年度）	1,000人（令和5年度）
	学びのまち・仙台 市民カレッジ事業の参加者数	700人（令和元年度）	700人（令和5年度）

## 働く女性の活躍推進事業

- 女性が個性と能力を十分に発揮できる環境をつくるとともに、女性の積極的な登用やワーク・ライフ・バランスの実現などに向けた取り組みを推進します。
- 働く女性を対象としたセミナーや交流会の開催、女性管理職候補育成プログラム・役員候補育成プログラムの実施などにより、働く女性のキャリアアップとネットワークづくりを支援します。
- 企業の経営者層と管理職を対象としたセミナーなどの開催や、先進企業の事例紹介などを通じて、地元企業などにおける女性の活躍や女性の管理職登用を促進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
女性活躍推進計画に基づく事業の実施		

担当：市民局男女共同参画課

## 障害者就労支援体制整備事業

- 障害者が生きがいや働きがいのある生活を送ることができるよう、障害者就労支援体制の充実を図ります。
- 障害者就労支援センターの運営により、障害者の就労や企業の雇用促進に向けた個別相談、広報・啓発活動に取り組みます。また、障害者を雇用する経験がない企業に対して、障害者の就労を促進するジョブコーチが訪問することなどを通じて、業務の切り出しや職場環境調整、就労定着などの支援に取り組みます。加えて、就労移行支援事業所などの支援機関に対する訪問などを通じて、アセスメントの実施や訓練プログラムの提案、企業とのつながりを深める取り組みを進めます。
- 企業に対して障害者雇用に関するセミナーを開催するなど、障害者就労プロモート事業を実施します。
- ふれあい製品の販売促進や販路拡大、受託作業の受注拡大に向けたマッチング支援など、福祉的就労の充実を図る福祉的就労ステップアップ事業を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
障害者就労支援センター事業の実施		
障害者就労プロモート事業の実施		
福祉的就労ステップアップ事業の実施		

担当：健康福祉局障害企画課

高齢者社会参加・生きがいづくり促進事業

- 高齢者が知識や経験、能力を生かすとともに、知識や経験などの有無に関わらず元気に活躍し続けられるよう、高齢者の生きがいづくりや社会参加の取り組みを進めます。
- 豊齢学園における生涯学習と社会貢献活動を担う人材育成や老人福祉センターにおける講座の実施など、学習の機会を提供します。
- 高齢者生きがい健康祭の開催や全国健康福祉祭への選手派遣など、文化・スポーツ活動への支援を行います。
- シルバー人材センターによる臨時的・短期的な就業機会の提供や、就労を希望する高齢者への求人情報の提供等のマッチングを支援する体制を構築するなど、就労支援に向けた取り組みや老人クラブ活動などの高齢者が自ら地域や社会とつながり、「支え手」ともなる社会参加活動への支援を進めます。
- 社会参加活動を促進するための外出支援の取り組みを進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
学習機会の提供		
文化・スポーツ活動への支援		
社会参加活動の推進		

担当：健康福祉局高齢企画課

市民センターによる地域づくり支援事業

- 市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、多様な学習の機会を創出するとともに、市民の主体的な学びを支援し、学びを通じた人づくりに取り組みます。
- 子どもが地域社会の構成員としての意識を育み、子どもならではの役割と可能性を発揮できるよう、「子ども参画型社会創造支援事業」を実施します。
- 若者が身近な地域をより良くすることへの関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶことができるよう、「若者社会参画型学習推進事業」を実施します。
- 住民が地域課題を発見し、その解決への取り組みを学び、実践する「住民参画・問題解決型学習推進事業」を実施します。
- 地域づくりを牽引する人材を育成するため、地域資源や現代的課題などをテーマとした講座を開催する「学びのまち・仙台 市民カレッジ事業」を実施します。
- 市民が効果的に活用できるよう、学習情報や地域情報を提供します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
子ども参画型社会創造支援事業の実施		
若者社会参画型学習推進事業の実施		
住民参画・問題解決型学習推進事業の実施		
学びのまち・仙台 市民カレッジ事業の実施		

担当：教育局生涯学習支援センター

## ③ ヘルスケア向上推進

概要	それぞれのライフステージに合わせた健康を支える環境をつくるため、介護予防活動や健康づくりの啓発・支援に取り組むとともに、ICTを活用した介護・医療・福祉分野の産業振興を推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	介護予防関連事業の参加者数	26,090人（令和元年度）	28,000人（令和5年度）
	介護予防に資する通いの場への参加率	8.4%（令和元年度）	10.0%（令和5年度）
	メタボリックシンドローム該当者の割合	21.6%（令和元年度）	19.0%（令和5年度）
	まちなか歩数表示助成団体数	8団体（令和2年度）	20団体（令和5年度）
	眠れない人の割合	17.5%（令和元年度）	基準値以下
	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合	15.1%（令和元年度）	基準値以下
	CareTech製品開発支援件数	－	2件（各年度）
	HealthTech製品開発支援件数	－	2件（各年度）
	六郷地区における3歳7か月児健康診査における肥満の児の割合	6.7%（令和元年度）	4.0%（令和5年度）
	六郷地区におけるメタボリックシンドローム該当者の割合	27.5%（令和元年度）	26.9%（令和5年度）

一般介護予防  
推進事業

- 高齢になっても住み慣れた地域で心身ともに健康で生きがいを感じながら生活できるよう、介護予防・健康づくりに積極的に取り組むことのできる環境づくりを進めます。
- 要介護や要支援状態となる可能性が高い高齢者を早期に把握するため、介護予防の視点から生活機能の状況確認を行う豊齢力チェックリストを送付し、生活機能の低下予防・改善につなげます。
- 介護予防や健康づくりの大切さについて普及啓発を行います。
- 高齢者が住み慣れた地域で介護予防に取り組めるよう、地域住民の参加により自主的に介護予防に取り組む運動グループの立ち上げや、活動継続のための支援を行います。
- 地域における介護予防の取り組みを強化するため、リハビリテーション専門職を地域のサロンなどに派遣し、専門的な視点から健康づくりを応援します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防把握事業の実施		
介護予防普及啓発事業の実施		
地域介護予防活動支援事業の実施		
地域リハビリテーション活動支援事業の実施		

担当：健康福祉局地域包括ケア推進課、各区障害高齢課

市民健康づくり  
推進事業

- 市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、「いきいき市民健康プラン」に基づき、市民や関係機関・団体、事業所などと連携して健康づくりを推進します。
- せんだい健康づくり推進会議において、健康指標向上のための具体策を検討します。
- 日常生活活動量の増加、定着に向け、関係団体と連携した市民への啓発イベントを実施します。
- ウォーキングイベントを開催する団体に対して助成を行います。
- まちなか歩数表示の設置団体に対して助成を行います。
- 協定企業と連携し、市民健診受診の啓発を行います。
- 糖尿病性腎症重症化予防事業、CKD対策病診連携事業を実施します。
- がんに罹患した方の社会参加を促すため、医療用ウィッグの助成を行います。
- 受動喫煙防止対策について市民、事業所、飲食店を対象に啓発します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
せんだい健康づくり推進会議開催		
日常生活活動量維持・向上のための事業の展開		
健診受診の啓発		
医療用ウィッグの助成		
受動喫煙防止対策の啓発		

担当：健康福祉局健康政策課、各区家庭健康課

- 被災者の健康支援事業**
- 閉じこもりやそれによる身体活動量の低下、心の健康状態の悪化などの健康問題や高齢化に起因する問題を解決するため、東日本大震災の被災者の健康づくりを支援します。
  - 健康上の支援が必要な被災者を把握し、訪問等の支援が受けられるように、健康調査を行います。
  - 復興公営住宅等に入居する被災者の中で、心身の健康上の支援が必要な方に、区保健福祉センターの保健師や看護師等が訪問による支援を行います。
  - 商業施設など地域の身近な場所で健康相談会を開催し、健康支援を行います。
  - 支援関係者との連携によるサロン活動継続の支援を行うとともに、地域主催のサロン活動の支援を行うなど、健康を切り口としたコミュニティ形成支援に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康調査の実施		
訪問による健康支援		
健康相談事業の実施		
健康を切り口としたコミュニティ形成支援		

担当：健康福祉局健康政策課、各区家庭健康課

- ウェルビーイング産業振興事業**
- 健康福祉など生活をより良くする産業であるウェルビーイング産業を振興し、地元中小企業に多くの事業機会を創出します。
  - 介護分野においては、仙台フィンランド健康福祉センタープロジェクトの知見・ネットワークを生かし、ニーズリサーチ、開発委託、実証実験、ICT導入定着支援のサイクルを回すことで、介護現場のニーズに基づく製品開発を支援し、Care Tech産業の振興に取り組みます。
  - 医療分野においては、東北大学病院などとの連携により、医療現場のニーズに基づく製品開発を支援することでHealth Tech産業の振興に取り組むとともに、専門性と国際性を持つ人材育成に取り組みます。
  - ウェルビーイング分野においては、高齢者向け福祉機器のみならず食品やデザインの領域も含めて、EU市場に対する地域企業の輸出入支援に取り組むとともに、高齢化が急速に進むアセアン市場への輸出支援に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
CareTech産業振興の推進		
HealthTech産業振興の推進と人材育成		
EU・アセアンとの輸出入の支援		

担当：経済局産業振興課

- 六郷地区の健康づくり推進事業**
- 六郷地区において、あらゆる年代を対象に、地域協働のもと健康づくりを推進します。
  - 地域の施設の協力を得ながら、地域の健康課題を知り、解決方法を住民と共に考えるためのワークショップなどを実施します。
  - 保育所や幼稚園、児童館と連携して、子どもや保護者に対する健康的な生活を促す啓発を行うとともに、小学校や中学校と連携して、授業などにより生活習慣病予防の啓発を行います。
  - 既存のイベントを活用し、血糖値測定会など体験型の啓発を行います。

- 高齢者の介護予防の啓発と孫や子世代への波及効果を目的として、事業所や地域の団体、サロンなどにおける生活習慣病や食生活に関する講話、生活改善講話を実施します。また、地域で活動する団体などと連携し、地場産品を使った減塩料理の調理実習などを実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地区組織や関係機関と連携した啓発・講話の実施		
イベントを活用した体験型の啓発、調理実習の開催		
ワークショップ などの実施	ワークショップ などの実施	ワークショップ などの実施

担当：若林区家庭健康課

## ⑦ TOHOKU 未来プロジェクト

### 目 標

### 世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出す

人口減少などの課題を抱える東北の現状を、新たなイノベーションを生むチャンスと捉えて、未来を描く必要があります。リスクの分散や働き方の多様化による地方への意識が高まる中、企業や人を惹きつけ、社会的・経済的なインパクトをもたらす、地域特性を活かしたイノベーションの創出を目指します。そして、グローバルな視点とローカルな視点を併せ持って戦略的にビジネスや誘客を進め、東北の魅力を国内外に広める役割を果たします。

### 実施の 方向性

### 01 仙台・東北を舞台にイノベーションを生み出す

- ◆ 東北をはじめ国内外の都市との戦略的提携などを通じて、魅力的な事業の創出やグローバルなビジネスを推進し、地域経済をけん引する企業を輩出します。
- ◆ ソーシャル・イノベーションを生み出す起業家、事業の急成長を目指すスタートアップ企業や地元中小企業など、あらゆる事業者が挑戦しやすい環境・風土をつくり、社会的・経済的なインパクトをもたらすイノベーションを生み出します。

### 02 仙台・東北の産業の成長を支える

- ◆ 次世代放射光施設の稼働を契機とした研究開発拠点や関連産業の集積により、時代を先導する新しい技術が生まれる環境をつくりまします。
- ◆ 仙台・東北の農林水産業の活性化や地場の食に関するビジネスに取り組むことで、地消地産の社会づくりを進めるなど、経済活動の地域内の循環を推進します。

### 03 仙台・東北に世界中から人を呼び込む

- ◆ 仙台・東北の豊かな自然・歴史・文化、祭り、スポーツイベントなどの活用や、来訪者のニーズに合わせた多彩な体験プログラムの創出により、域内観光の活性化、国内外からの誘客及び広域周遊観光を推進します。
- ◆ 情報技術の進展、多様化する旅行者ニーズに沿った戦略的なプロモーションや、来訪者が安心・快適に旅行できる環境づくりを進めます。
- ◆ 企業や人の流れを引き寄せ、仙台・東北の活力につなげることができるよう、魅力的なオフィス環境やMICEなどの受け入れ環境を整備するとともに、効果的に情報発信を行います。

## ① ローカルイノベーション推進

概要	仙台・東北からイノベーションを生み出すため、近未来技術の活用や上場を目指す中小企業の支援、オープンイノベーションによる新規事業の創出支援や次世代放射光施設の活用によるリサーチコンプレックスの形成促進などに取り組みます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	近未来技術に関する実証実験の延べ件数	23件（令和元年度）	55件（令和5年度）
	仙台「四方よし」企業大賞制度における大賞・優秀賞・宣言企業の合計数	17社（令和元年度）	37社（令和5年度）
	仙台未来創造企業創出プログラムによる延べ認定企業数	10社（令和2年度）	15社（令和5年度）
	成長産業振興事業を通じた新たな製品・サービスの開発件数	32件（令和元年度）	合計54件（令和3～5年度）
	次世代放射光施設有力分野における先行取組事例創出件数	12件（令和元～2年度）	合計38件（令和3～5年度）
	誘致による進出企業数	平均27件/年 （平成27～令和元年度）	合計100件（令和3～5年度）

## 国家戦略特区推進事業

- 仙台特区として規制改革メニューのさらなる活用やメニュー関連施策の推進により、国家戦略特区としての規制改革の動きをさらに加速させていきます。
- 近未来技術実証事業において、津波避難広報やインフラ点検など防災・減災分野へのドローン活用の実用化や、新技術の社会実装に向けて、民間企業などとの連携のもと、社会課題解決や産業振興などにつながる近未来技術の実証に取り組めます。
- 本市におけるオンライン診療の定着に向けた可能性を探るため、令和2年度実証実験からさらに一歩進め、テーマやターゲットを絞った実証実験を実施します。
- 最先端技術を活用した未来都市構想であるスーパーシティや、スマートシティの推進に向けた取り組みについて、産官学金との連携のもと検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種実証実験等の実施		

担当：まちづくり政策局プロジェクト推進課

## 経済産業政策推進事業

- 地域の持続的発展のため、地域経済の成長に資する各種取り組みを実施します。
- 中小企業の経営者や学識経験者、経済団体などで構成される仙台市中小企業活性化会議において、中小企業の活性化に資する施策の検討を行います。
- 社会的課題解決や魅力的な職場環境づくりに取り組む市内中小企業を表彰・紹介し、その取り組みを後押しするとともに、優れた事例を幅広く発信することにより地域経済の活性化と若者の地元定着等を促進する「仙台『四方よし』企業大賞制度」を実施します。
- 地域経済のけん引役となる上場企業を輩出することにより雇用拡大・地域経済の好循環を創出するため、上場を目指す中小企業に対して、地域一体となった集中的な支援を行う「仙台未来創造企業創出プログラム」を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台市中小企業活性化会議による施策の検討の実施		
仙台「四方よし」企業大賞制度の実施		
仙台未来創造企業創出プログラムの実施		

担当：経済局経済企画課

成長産業振興事業

【再掲】

※関連P20

- 地域ICT関連企業によるAI等の次世代テクノロジーを活用した新事業の創出促進に取り組みます。
- 産学官金連携により、防災関連産業のオープンイノベーションに取り組み、新たな製品・サービスの開発を支援するとともに、BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指します。
- 東北大学IIS研究センターと連携し、地域企業の先端ICT技術活用による製品開発を支援します。
- 業界団体と連携し、ICT産業の人材研修プログラムや最新技術に対応した高度ICT人材の確保・育成に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
次世代X-TECHビジネス創出促進事業の実施		
BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業の実施		
東北大学IIS研究センター運営支援の実施		
ICT人材確保・育成支援事業の実施		

担当：経済局産業振興課

次世代放射光施設関連産業振興事業

- 仙台・東北の産業のイノベーションや付加価値を創出し、地域経済への波及効果を最大限に生み出すため、次世代放射光施設を中核としたリサーチコンプレックスの形成を促進します。
- ふるさと融資制度を活用した無利子貸付により、施設整備を支援します。
- 仙台市が保有する施設利用権の活用など、研究開発拠点などの立地・集積に有効なインセンティブを策定し、仙台市の良質な研究開発環境などとともにPRします。
- 仙台・東北地場企業などの施設利活用促進のため、東北各県公設試験研究機関との連携体制を構築するとともに、既存施設によるトライアルユースを実施します。
- 次世代放射光施設の利活用に向けた普及啓発のため、施設の利用方法や測定事例に関する説明会などを開催します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
先行取り組み事例創出事業の実施（トライアルユース）、普及啓発の実施		
仙台市保有施設利用権活用スキームの検討		仙台市保有施設 利用権活用の普及啓発
企業立地支援策の策定		
	企業誘致プロモーションの推進	

担当：経済局産業振興課・企業立地課

企業立地促進事業

※関連P80

- 地域経済への波及効果が高い企業の本社機能や研究開発拠点、ICT関連企業等を対象に企業誘致プロモーションを実施します。
- 関係機関と連携し、誘致対象分野の情報収集を行うとともに、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを行います。
- 誘致企業を対象とした展示会への出展、仙台市のホームページなどを通じた立地環境の情報発信を行います。
- 事業所の設置に伴って生じた、新たな投資に係る固定資産税等相当額の助成や、新規雇用の内容に応じた加算助成を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業誘致プロモーションの推進		
企業立地促進助成の実施		

担当：経済局企業立地課

成長

進め！

実施の方向性

01

## ② 起業支援

概要	東北を舞台にソーシャル・イノベーションを生み出すため、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や社会起業家の育成に取り組むとともに、起業の裾野のさらなる拡大と事業継続率向上に向けた支援を実施します。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	アシ☆スタの支援により開業した事業所の開業3年後の事業継続率	87.6%（令和元年度）	70.0%（令和5年度）

- 起業支援事業** - 事業を通じてよりよい社会の実現を目指す多彩な起業家が自律的、連続的に生み出されるエコシステムを構築するため、各種起業支援に取り組みます。
- ※関連P80**
- 経済的・社会的インパクトを生み出し、東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出に向けて、ビジネスプランのブラッシュアップや資金調達、協業の創出などにより、急成長を目指すスタートアップ企業を支援します。特に、新型コロナウイルスの影響による社会の変化を見据えたイノベーションの創出や、顕在化した社会的課題の解決などを目指す起業家を優先的に支援します。
  - 社会起業家の重要性が増すなか、実践的知識の習得、企業・投資家・支援者とのネットワーク形成などにより社会起業家を育成します。
  - 起業支援センター「アシ☆スタ」において、窓口相談やセミナー実施など、起業の構想段階から開業後のフォローアップに至るまで様々な支援を行い、起業の裾野のさらなる拡大を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出		
社会起業家の育成		
起業の裾野のさらなる拡大		

担当：経済局産業振興課

成長

進め！

実施の方向性

02

## ③ 地域経済循環促進

概要	地域経済の循環と産業の持続的な成長を支えるため、中小企業による新規事業の創出や人材育成などを支援するとともに、経営基盤の強化や多様な人材の確保などの各種支援を実施します。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	地域商社機能を通じた商品・サービスの売上高	—	合計85,000千円 （令和2～5年度）
	企業間連携による中小企業の課題解決事業により支援した事業の売上高とマッチングにより発生した取引額の合計	—	合計80,000千円 （令和3～5年度）
	女性の有業率（15歳以上人口のうち就業している者の割合）	51.8%（平成29年度）	55.0%（令和5年度）
	大学生などの地元定着率	42.2%（令和元年度）	50.0%（令和5年度）
	中小企業経営基盤強化事業による相談件数	600件（令和2年度）	700件（令和5年度）
	中小企業経営基盤強化事業によるバイヤーとのマッチング件数	200件（令和2年度）	250件（令和5年度）

**地元企業成長  
促進事業**

- 地域経済を牽引する企業の輩出に向けて、販路開拓や外貨獲得の支援を行います。
- 仙台市の小売事業者などと連携し、ローカルブランディングを行う地域商社機能を構築することで、地域の中小企業が生産する商品をECサイトなどを通じて、域内外に販売・発信します。
- 中小企業の抱える課題を見える化するとともに、課題解決のために大企業及び域内企業とのマッチングを実施し専門家が伴走支援することにより、中小企業の収益増加を目指します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域商社事業の実施		
企業間連携事業の実施		
自走化に向けた検討・実施		

担当：経済局地域産業支援課

**人材確保定  
着・雇用対策  
事業**

- 中小企業などを対象に人材確保の支援や各種就業支援を実施します。
- 地元企業の魅力などの発信や、学生と企業の交流促進、奨学金返還支援などを実施することで、若者の地元定着の促進を図ります。
- 地元企業の情報や地域の魅力などを首都圏に発信し、仙台・東北へのUIJターン就職を促進します。
- 地元企業が抱える採用から人材定着の課題について、事業者に対してセミナーやコンサルティングなどを実施し、雇用支援を行います。
- 就職活動に関する相談対応や、地元企業とのマッチングを丁寧に行うことにより、雇用のミスマッチを防ぎ、職場定着を図ります。
- 多様な人材が活躍できる職場環境の整備や多様な働き方を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	若者の地元定着の促進	
	高度人材などのUIJターンの促進	
	事業者向けの雇用支援・雇用対策	
	多様な人材が活躍できる環境の構築	

担当：経済局地域産業支援課

**中小企業経営  
基盤強化事業**

- 地域経済の持続的発展を図るため、中小企業の課題解決や経営革新への支援を行うとともに、組織制度に関する課題に対して支援を実施します。
- 中小企業が抱える人材育成や事業継承などの経営課題の解決、経営力・競争力の強化、生産性の向上などに向けた取り組みを支援するため、窓口相談の支援などを行うとともに、経営者の育成に資するセミナーなどを実施します。
- 地域産品を取り扱う企業に対し、首都圏などの最適な販路先バイヤーとのビジネスマッチングを支援します。
- 地元中小企業のBCPや事業継続力強化計画の策定支援を、経済団体や大学などと連携して行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事業承継支援事業（啓発セミナー・企業価値診断）	
	BCP・事業継続力強化計画の策定支援	

担当：経済局地域産業支援課

## 4 農業振興

概要	農業を活性化し、経済の地域内循環に向けた地産地消を進めるため、6次産業化や農商工の連携を推進するとともに、多様な担い手への支援や農地の集積・集約、農地の大区画化を主体とした基盤整備を推進します。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	農食ビジネス支援事業による新商品開発件数	—	3件（各年度）
	農地集積・集約化による農地利用集積率	43%（令和元年度）	68%（令和5年度）
	大倉日向地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	100%（令和5年度）
	倉内・大針地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	50%（令和5年度）
	秋保野尻地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	5%（令和5年度）

## 農食ビジネス支援事業

- 農業振興と地域経済の活性化を図るため、農業の収益性向上につながる取り組みを推進します。
- 6次産業化や農商工連携などの新たな取り組みについて、専門家の知見を活用し、事業計画の企画立案から商品開発、加工・製造・販売までの一貫した伴走型支援を行います。
- 生産から流通・販売までを見据えた新たなビジネスモデルの構築・実証に取り組むとともに、仙台産農産物の地産地消に関する様々な主体の取り組みを一体的に情報発信します。
- 収益性の高い農業推進と市民の農業理解の拠点として、せんだい農業園芸センターを活用します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
6次産業化や農商工連携などの新たな取り組みに対する支援		
SNSなどを活用した情報発信と地産地消の機会創出		
せんだい農業園芸センターの活用		

担当：経済局農政企画課

## 農業経営体育成支援事業

- 農業の多様な担い手の確保や、経営の効率化・安定化を支援する取り組みを行います。
- 農業経営に意欲的に取り組む農業者などを認定農業者や新規就農者として認定し、各種支援を行うことで、仙台市の農業の中核となる担い手を育成・確保します。
- 地域農業のあり方などについて地域で話し合いのうえ、「仙台市地域農業基盤強化プラン」にまとめ、農地の集積・集約を進めます。
- 農地中間管理機構が農地を借り受け、地域の担い手に対し農地を貸付することで農地を有効に利用し、担い手の農作業の効率化を支援する「農地集積・集約化対策事業」を実施します。
- 転作用機械などの導入支援を通じて、集団転作を推進します。
- 経営改善などに必要な資金融資の利子補給を行います。
- ドローン操縦者の育成を支援するなど、スマート農業を促進し、持続的な農業経営の支援を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組み		
仙台市地域農業基盤強化プランの更新支援		
農地の集積・集約の推進		
転作の推進		
農林漁業振興資金等利子補給助成の実施		

担当：経済局農業振興課

**農業生産基盤整備事業** - 農業従事者の高齢化などにより、農業の衰退が懸念される西部地区について、ほ場整備事業を実施し、農地の大区画化をはじめとする耕作条件の改善によって、担い手への農地集積・集約化を促進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
大倉日向地区：大区画化工事	大倉日向地区：付帯工事・換地処分などの実施	
倉内・大針地区：設計などの実施	倉内・大針地区：大区画化工事	
秋保野尻地区：事業採択に向けた計画・調整		秋保野尻地区：大区画化工事

担当：経済局農林土木課

**先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業**  
**【再掲】**  
**※関連P44**

- 少子高齢化や人口減少が加速度的に進み、休耕地の増加、学校の統廃合に伴う跡地利用、鳥獣害の増加など、様々な地域課題が山積している宮城地区西部において、ICTなどの先進的な技術によって地域課題の解決を図ります。

- 地域の方々と話し合いを重ねて策定した「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づき、電子回覧システムの導入による郊外の生活環境の向上、有害鳥獣対策や、スマート農業の導入など、地域課題解決のための7つのアイデアを基本として事業を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域課題検討会議の開催 意見交換・事業の実施についての合意形成		
「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に 掲げる事業の推進		
	今後の展開の検討・実施	

担当：青葉区宮城総合支所地域活性化推進室

自然

進め！

実施の方向性

03

## 5 仙台・東北交流人口拡大

<b>概要</b>	仙台・東北の魅力国内外に広め、世界中から人を惹きつけるため、地域の魅力の発信や受入環境の整備を行うとともに、東北の各自治体と連携した誘客・周遊促進に取り組みます。		
<b>数値目標</b>	<b>項 目</b>	<b>基準値</b>	<b>目標値</b>
	東北観光推進事業による東北の延べ連携自治体数	75自治体（令和元年度）	110自治体（令和5年度）
	仙台市内の宿泊者数	624万人（令和元年）	624万人（令和5年）
	仙台市内の外国人宿泊者数	33.5万人（令和元年）	25.0万人（令和5年）
	仙台市内におけるコンベンション開催件数	671件（令和元年）	合計1,340件（令和3～5年）

**東北観光推進事業**

- 東北全体の持続的な発展に寄与するため、東北各自治体との連携を強化し、地域の多様な魅力を国内外に発信するとともに、交流人口の拡大を図ります。
- 東北の魅力発信拠点を活用し、食をはじめとした東北の多様な地域資源の認知向上に取り組みます。
- 「東北の観光案内所のネットワーク化事業」を通じて、受入環境整備と周遊促進に取り組みます。
- 東北絆まつりを開催するほか、東北六市の連携による域内観光の需要喚起や、国内外からの誘客プロモーションを実施します。
- 自宅に居ながら地域の多様な魅力を体験できるオンラインツアー等の推進により、東北への来訪意欲の喚起や地域活性化を目指します。
- 東北各県・各都市と東北観光推進機構などとの広域連携事業や、伊達な広域観光推進協議会、

仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会の取り組みを通じて、広域観光の推進を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
東北の魅力発信拠点を活用した情報発信		
東北絆まつりの開催・六市連携による国内外へのプロモーション		
デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光の推進による関係人口の拡大		
東北各県・各都市と東北観光推進機構などとの連携による東北への誘客と周遊促進		

担当：文化観光局東北連携推進室

#### 観光客誘致宣伝事業

- 観光やビジネスなど様々な目的で仙台市を訪れる方々に対して、効果的に仙台の魅力を発信することができるよう、多様な顧客ニーズに応じたプロモーションを推進します。
- コロナ禍を契機に重要性が増している域内観光なども踏まえた国内プロモーションの推進のため、伊達文化交流事業、伊達武将隊を活用した観光客誘致事業、仙台を代表するまつりや観光アンバサダーなどを活用した仙台市の認知度向上と誘客促進などを実施します。
- 仙台市の観光情報サイトへのアクセス状況やSNSの分析などから、個人旅行者やビジネス客、家族旅行や単身旅行のようなターゲットを明確化し、SNSの活用やウェブサイトによる効果的な情報発信を行うほか、その効果を検証するなどデジタルマーケティングを実践することにより、仙台市への誘客促進を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
国内プロモーションの推進		
デジタルマーケティングによる効果的な誘致宣伝の実施		

担当：文化観光局観光課

#### インバウンド推進事業

- 海外から仙台・東北へのさらなる誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。
- 台湾やタイなど、仙台空港直行便が就航する地域や就航可能性が高い地域をターゲットに、各地域の嗜好・特性などを踏まえたプロモーションや、旅行会社への働きかけを行うとともに、増加する個人旅行者に対応するため、ウェブサイトやSNSによる情報発信を行います。
- 新型コロナウイルス感染症が収束する時期を見据えて、新しい旅のスタイルや訪日旅行の多角化などに対応した受入環境の充実を図るとともに、外国人の視点を取り入れた新たな観光資源の発掘・磨き上げを行います。
- 仙台空港運営事業者や関係団体と連携した効果的なプロモーションを実施し、新規路線の誘致や既存路線の維持拡大を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
戦略的プロモーションの実施		
受入環境の充実		
観光コンテンツの発掘・磨き上げ		

担当：文化観光局誘客戦略推進課

#### MICE推進事業

- 長期的な交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、MICEを推進します。
- 医学・理工系学会や国際会議などのコンベンションや、企業内会議・研修会などに加え、新しいMICE開催形式のひとつとなることが想定されるオンラインとのハイブリット形式の会議にも対応しながら、誘致セールスを推進します。
- (公財) 仙台観光国際協会・仙台国際センター指定管理者・東北大学などの関係機関と緊密に連携した誘致活動を行うとともに、開催支援の強化や受入環境の充実を図ります。
- 会議参加者の市内中心部や観光施設などへの回遊を促進するような仕組みやコンテンツづくりを行うなど、地域への経済効果の創出や会議参加者の満足度向上を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	誘致セールスの推進	
	受入環境の整備	
	MICE参加者の回遊促進	

担当：文化観光局誘客戦略推進課



## 6 仙台観光コンテンツ創出

実施の方向性 03

概要	世界中から人を惹きつける環境をつくるため、まつりの開催や観光する人が体験できるプログラムの創出、国際スポーツイベントの招致・開催など観光コンテンツの充実に取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	仙台市内の宿泊者数	624万人（令和元年）	624万人（令和5年）
	全国・国際規模のスポーツ大会の開催数	－	8回（各年度）
	青葉山公園（公園センター地区）整備進捗率	－	100%（令和5年度）

**まつり等開催支援事業**

- 交流人口のさらなる拡大を図るとともに、地域経済の活性化を図るため、仙台七夕まつり、仙台・青葉まつり、SENDAI光のページェント、七夕花火祭、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつりの開催を支援し、観光客の誘致を図ります。
- 仙台市の重要な観光・集客資源として継続的に開催されるよう、開催経費の補助等に加え、広報や関係機関との調整にかかる支援等を行うほか、各イベントの会議などを通じ、企画・運営に参画します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大型観光イベントの支援	

担当：文化観光局観光課

**仙台観光魅力創出事業**

- 観光やビジネス等で仙台市を訪れる来訪者の滞在時間延長や消費につなげるため、新たなコンテンツの発掘・創出と発信を進めます。
- 仙台ならではのコンテンツや新たなコンテンツを発掘・創出するとともに、既存の資源の磨き上げを行い、来訪者が楽しめる多彩な体験プログラムを創出します。
- 既存の観光関連事業者の新たな取り組みや交流人口ビジネスへの新規参入事業者などを支援し、担い手の育成と交流人口ビジネスの活性化を図ります。
- 観光関連団体などと連携しながら交流人口の拡大につながる各種施策の推進を図ります。
- 事業の推進にあたっては、コロナ禍を契機とした新たなニーズやトレンドを踏まえて、新しい旅のスタイルや誘客の多角化につながるコンテンツの創出を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
	交流人口拡大に資するコンテンツの創出	
	交流人口ビジネスの担い手の育成	

担当：文化観光局観光課

**国際スポーツイベント等の開催・招致事業**

- 優れた競技スポーツの観戦機会を提供することで、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。
- 新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、仙台を代表するスポーツイベントである仙台国際ハーフマラソンを開催します。
- 全日本大学女子駅伝や全日本実業団女子対抗駅伝などを開催するとともに、サッカー、バレー、卓球、ソフトボールなどの国際大会・全国規模大会を開催します。
- スポーツコミッション助成制度を活用し、経済波及効果の高い大会を誘致します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台国際ハーフマラソンの開催		
国際・全国規模大会の誘致・開催		
スポーツコミッションせんだいによる誘致活動		

担当：文化観光局スポーツ振興課

## 青葉山公園整備事業

### 【再掲】

### ※関連P11

- 「青葉山公園整備基本計画」に基づき、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる公園の整備を進めます。
- 追廻地区については、(仮称)公園センターを起点に、広瀬川や仙台城本丸跡の眺望など、広がりや奥行きを持った空間を展開し、活動の場としても機能する空間をつくります。
- 国史跡指定地区については、仙台城本丸跡の遺構などを保全するとともに、水堀の再生、土塁の顕在化などにより歴史的な景観を充実させ、展望や散策により来訪者に歴史と文化を堪能してもらう空間をつくります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
公園センター新築工事		
追廻地区広場整備工事(公園センター地区)		
	公園センターの運営	

担当：建設局公園課



## 7 西部地区魅力向上推進

実施の方向性

03

概要	秋保・作並定義・泉西部地区の交流人口を拡大するため、自然を活用した体験プログラムを充実するとともに、地域資源を活かした観光コンテンツの充実や観光施設の魅力向上などに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	秋保・作並温泉の宿泊者数	106万人(令和元年)	106万人(令和5年)
	秋保大滝植物園の入園者数	11,450人(令和元年度)	基準値を維持
	秋保ビジターセンターの利用者数	22,145人(令和元年度)	基準値を維持
	仙台秋保そばフェスの来場者数	2,300人(令和元年度)	基準値を維持
	秋保地域における空き家などのストック件数	—	3件(令和5年度)

## 西部地区観光振興事業

- 秋保・作並定義・泉西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。
- トレイルランや自転車などのアウトドアスポーツのように、各地区の豊かな自然を活用した体験型プログラムの発掘・創出を推進します。
- 各地区の魅力について、ウェブサイトなど様々なメディアを活用した情報発信に取り組むほか、来訪者の属性の分析などデジタルマーケティングを実践することで、コロナ禍を契機に重要性が増している域内需要の増加も視野に誘客促進を図ります。
- 各地区の観光資源創出と、交流人口拡大に資する事業を実施する地域団体などに対し助成金を交付します。
- 観光施設の維持管理・修繕などを行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域資源を活用した体験型観光の推進		
ウェブサイト等様々な媒体による効果的な情報発信		
西部地区活性化事業助成金事業の実施		

担当：文化観光局観光課

- 秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業**
- 秋保大滝・二口周辺を中心としたエリアにおいて、新たな観光周遊の構築を進め、エリアブランド力を強化することで観光振興と地域活性化を図ります。
  - 秋保大滝周辺では、秋保大滝植物園の魅力アップに取り組むとともに、「大滝れすとはうす」などの滞留型観光の拠点づくりに取り組みます。また、大滝公衆トイレや滝見台周辺・滝つぼへの自然歩道などの維持管理あり方の見直しに取り組みます。
  - 二口周辺では、秋保ビジターセンターの大規模改修を見据えた機能強化を行います。また、自然資源を活用した体験観光などの利便性向上を図るとともに、磐司展望台、姉滝橋、中小屋橋、二口山塊登山道などの維持管理方法などの検討に取り組みます。
  - そのほか、秋保の観光施設の魅力アップや機能強化の検討を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
秋保ビジターセンター・秋保大滝植物園の機能強化、魅力アップの方向性の検討	秋保ビジターセンター改修設計	秋保ビジターセンター改修工事

担当：文化観光局観光課、建設局公園課、太白区秋保総合支所総務課

- 秋保地区交流人口拡大事業**
- 秋保地区の地域資源を生かし、交流人口などの拡大を図ります。
  - 地域活動を担う人材育成や、地域の魅力を発信する取り組みなどによる持続的発展を支援することで、中山間地の魅力増進と交流人口拡大につなげる「秋保ミュージアム環境整備支援事業」に取り組みます。
  - 特産品である「そば」を活用した体験メニューを創出し、仙台秋保そばフェスによる地域ブランドの情報発信に取り組むとともに、通年供給体制が確立されている秋保在来そば粉などの消費拡大を図る「そばの郷秋保振興事業」に取り組みます。
  - 住民などと連携し、地域おこし協力隊を活用しながら、空き家の情報収集・提供など、利活用促進に向けた取り組みにより、域外からの人の流れを創出します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
そばの郷秋保振興事業の実施		
空き家の利活用モデル事業の検討	空き家の利活用モデル事業実施	
空き家など情報収集・意向調査		移住セミナー開催 移住フォーラム開催

担当：太白区秋保総合支所総務課

## ⑧ 都心創生プロジェクト

### 目 標

### 人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる

仙台の都心は、多くの人々が集まる交流の要所であり、絶えず人を惹きつける、魅力あふれる場所であることが求められます。そのため、都心の開発を推進し、ビジネスや交流の基盤を整備することで、意欲のある方々が集い、新しいチャレンジが生まれる環境を整えます。さらに、多様な主体の連携を通じて、様々なコンテンツをつくることで、回遊性が高く、働く場、楽しむ場として魅力的な都心をつくります。

### 実施の 方向性

### 01 投資を呼び込むまちをつくる

- ◆ 老朽建築物の建て替えや高水準な機能を備えるオフィスビルの整備を推進し、本社機能、研究開発拠点やICT関連企業等が集積することで、国際競争力のあるビジネス環境をつくります。
- ◆ 都市公園や道路などの公共空間、民間の遊休不動産などの既存ストックの新たな利活用を通じたまちのリノベーションを推進することで、エリア価値の向上を図ります。

### 02 イノベーションが生まれる都心をつくる

- ◆ 企業、起業家、教育機関などが集まり、新たな事業の創造を応援する文化・コミュニティをつくることで、スタートアップ・エコシステムを育てます。
- ◆ 産学官金それぞれの持つ技術やノウハウを活かしながら、地域産業の強みや課題を新たな価値の創造につなげるイノベーションを創出します。

### 03 まちの回遊性を向上する

- ◆ 市役所本庁舎の建て替え・勾当台公園の再整備・音楽ホールの整備検討など、多くの人が集い、交流が生まれる魅力的な市街地の環境をつくとともに、地域ごとの特性を活かした魅力的なコンテンツをつくります。
- ◆ 居心地が良く、歩いて巡りたくなる空間づくりやテクノロジーの活用による回遊環境の向上を図るほか、中心部商店街の活性化などにより、都心全体に賑わいが広がる環境をつくります。

## 1 都心のビジネス環境向上

概要	投資を呼び込み、新しいチャレンジが生まれる都心部をつくるため、市街地再開発事業の推進や老朽建築物の建て替えの促進、起業家の取り組みの支援など、都心部の活力とにぎわいを生む取り組みを進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	アシ☆スタの支援により開業した事業所の開業3年後の事業継続率	87.6%（令和元年度）	70.0%（令和5年度）
	誘致による進出企業数	平均27件/年 （平成27～令和元年度）	合計100件（令和3～5年度）

- 起業支援事業** - 事業を通じてよりよい社会の実現を目指す多彩な起業家が自律的、連続的に生み出されるエコシステムを構築するため、各種起業支援に取り組みます。
- 【再掲】**
- ※関連P71** - 経済的・社会的インパクトを生み出し、東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出に向けて、ビジネスプランのブラッシュアップや資金調達、協業の創出などにより、急成長を目指すスタートアップ企業を支援します。特に、新型コロナウイルスの影響による社会の変化を見据えたイノベーションの創出や、顕在化した社会的課題の解決などを目指す起業家を優先的に支援します。
- 社会起業家の重要性が増すなか、実践的知識の習得、企業・投資家・支援者とのネットワーク形成などにより社会起業家を育成します。
- 起業支援センター「アシ☆スタ」において、窓口相談やセミナー実施など、起業の構想段階から開業後のフォローアップに至るまで様々な支援を行い、起業の裾野のさらなる拡大を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出		
社会起業家の育成		
起業の裾野のさらなる拡大		

担当：経済局産業振興課

- 企業立地促進事業** - 地域経済への波及効果が高い企業の本社機能や研究開発拠点、ICT関連企業等を対象に企業誘致プロモーションを実施します。
- 【再掲】**
- ※関連P70** - 関係機関と連携し、誘致対象分野の情報収集を行うとともに、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを行います。
- 誘致企業を対象とした展示会への出展、仙台市のホームページなどを通じた立地環境の情報発信を行います。
- 事業所の設置に伴って生じた、新たな投資に係る固定資産税等相当額の助成や、新規雇用の内容に応じた加算助成を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業誘致プロモーションの推進		
企業立地促進助成の実施		

担当：経済局企業立地課

- まちなか拠点整備事業** - 都心の求心力が低下している現状を踏まえ、魅力向上と活力の創出、回遊性の向上を図ることで、都心部主要エリアにおける拠点の形成に取り組みます。
- せんだい都心再構築プロジェクトで示した都心機能強化の重点ゾーンについて、都市機能の更新と高度利用を図るため、複数の権利者による一体開発を目指す地区における市街地再開発事業の事業化を後押しし、新たなにぎわいや活力を創出するエリアの実現に向けて支援を行います。また、都市再生特別地区制度などの容積率緩和手法を活用しながら、都心部に相応しい都市貢献を伴う開発事業となるよう誘導します。

- 青葉通の一部広場化について、沿道の民間開発とも相互に連動しながら検討を進めるとともに、地元のまちづくり団体や交通関係者と共に官民検討協議会を設立し、市民や関係機関との合意など広場化の実現に向けた取り組みを進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
市街地再開発事業等民間開発の推進		
官民検討協議会の設立・社会実験の実施・整備計画策定など青葉通の一部広場化検討		

担当：都市整備局都心まちづくり課

## まちなか建替促進事業

- 都心部において、都心の機能強化と市街地環境の改善を図る取り組みを進めます。
- 老朽建築物の建て替え事業について、建て替え後の用途やにぎわい創出への寄与などについての要件を満たす場合、助成金を交付します。
- 床面積や仕様、設備などに関する要件を満たす高機能オフィスを整備する場合に、都市再生特別地区や総合設計制度により容積率を緩和します。
- 優良建築物等整備事業の活用などを通じて、にぎわいや回遊性の向上に資する共同化事業を推進します。
- 新型コロナウイルスの影響などにより、建て替え計画の検討が困難となっている中小規模の事業者に対して、計画検討などの新たな支援について検討を進めます。
- 事業化を後押しする分かりやすい資料の作成や、広報や周知活動による効果的なPR活動の実施により、事業を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台市都心部建替促進助成金制度を活用した建て替えの推進		
容積率緩和による高機能オフィスの誘導		
優良建築物等整備事業制度を活用した事業の推進		

担当：都市整備局都心まちづくり課

自然

進め！

## 2 巡りたくなる都心の魅力づくり

実施の方向性

01・03

概要	都心のにぎわい創出と回遊性の向上を目指すため、市役所本庁舎の建て替えや公園の再整備、中心部商店街等への来街促進や既存ストックの利活用の推進などを通じて、居心地がよく巡りたくなるようなまちなか空間の形成を推進します。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	定禅寺通における歩行者・自転車運転者通行量	12:00～13:00 725人 17:00～18:00 852人 (令和元年度)	基準値以上
	中心部商店街の歩行者通行量	313,728人(令和2年度)	344,000人(令和5年度)
	公共空間での社会実験の実施日数	—	合計30日(令和3～5年度)
	せんだい都市再生まちづくり団体の認定数	—	合計3件(令和3～5年度)
	遊休不動産のリノベーション事業の件数	平均1件/年 (平成30年度～令和2年度)	合計3件(令和3～5年度)
	勾当台公園再整備基本計画策定進捗率	—	100%(令和4年度)
	西公園再整備進捗率	—	85%(令和5年度)

定禅寺通活性化推進事業  
【再掲】  
※関連P12

- にぎわいや人の流れの仙台駅周辺への集中及び定禅寺通を含むエリアの歩行者通行量の減少を踏まえ、本エリアの魅力を創出し、まちなか全体の回遊性を高めるため、市役所本庁舎建て替えなど重要なプロジェクトと一体性を確保しながら、官民連携による定禅寺通エリアの活性化に取り組みます。
- 仙台市と定禅寺通活性化検討会（地元関係者を中心に構成）が共催する本格的な社会実験において、市は将来的な道路空間再構成を見据えた車線規制、交通量調査やシミュレーション、利活用効果に係る調査などを実施し、定禅寺通活性化検討会は歩行者空間などの利活用や情報発信・集客コンテンツを企画・実施します。定禅寺通活性化検討会として、その成果や検証結果・課題も反映させた「まちづくり基本構想」を取りまとめます。
- 定禅寺通活性化検討会による「まちづくり基本構想」を踏まえ仙台市の方針をとりまとめ、事業化を目指します。定禅寺通活性化検討会は、「まちづくり基本構想」をもとに主体的な空間利活用事業などを開始するとともに、エリアマネジメント体制の構築・発展に向けた議論も継続します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
社会実験実施	仙台市の方針策定	具体的な事業実施
まちづくり基本構想策定	エリアマネジメント体制議論	
	地域による主体的な利活用事業などの実施	

担当：まちづくり政策局定禅寺通活性化室

市役所本庁舎建替事業  
※関連P86

- 「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に定める4つの基本整備方針である、まちづくり・賑わい・協働、災害対応・危機管理、利便性、持続可能性・環境配慮などに基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進します。
- 本庁舎建替基本設計と並行して、新本庁舎の低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体の利活用を視野に入れた検討や、新本庁舎において職員の知的生産性を向上させるために望ましい執務空間のあり方の検討を行い、その結果を本体設計に反映させます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本設計	実施設計	施工者選定
低層部等事業可能性調査	低層部事業の検討	
	執務環境計画等業務委託の実施	

担当：財政局本庁舎建替準備室

中心部商店街活性化促進事業

- 中心部商店街への来街を促進するイベントを行うほか、定禅寺通や青葉通、肴町公園などの公共空間を活用したまちづくりの取り組みと連携しながら、新たな魅力の創出や回遊性の向上を図ります。
- 商店街内の知られざる歴史などを巡り、商店街の回遊性を促進する事業を実施します。
- 商店街で親子向けイベントやマルシェ等の集客イベントの開催など、中心部商店街のにぎわいを創出する事業を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
キッチンカーマルシェの実証実験	キッチンカーマルシェの運営自走化	
	にぎわい創出・回遊性の向上、来街促進の取り組みの推進	

担当：経済局地域産業支援課

音楽ホール整備事業

【再掲】

※関連P61

- 音楽の都・楽都としての魅力をさらに高め、文化芸術振興の中核拠点となる音楽ホールの整備に向けて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を見極めつつ、幅広い市民、団体等の意見を伺いながら検討を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
整備に向けた検討		

担当：文化観光局文化振興課

まちなかウォークابل推進事業

- 都心において、多様な人々の出会いや交流が生まれる人中心の都市空間へと転換をしていくため、居心地が良く巡り歩きたくなるようなウォークابلなまちなか空間の形成を推進します。
- 道路や公園において、まちなかウォークابلに資する改修や再構成を実施するとともに、人々の滞在環境を向上させる空間づくりに関するデザイン検討や社会実験などを実施します。
- まちなかウォークابل区域内の民間事業者による、公共空間と一体的に人々の滞在快適性を向上させる空間整備やイベントなどの事業の実施を支援します。また、まちづくり活動に取り組む民間事業者などによる、道路や公園の占用特例制度の活用を推進します。
- ウォークابلなまちなかの空間形成に関して、効果測定を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
都心のまちなかウォークابل推進事業の実施		
民間事業者によるまちなかウォークابلに資する事業の実施支援		
ウォークابلなまちなか空間形成に関する効果測定の実施		

担当：都市整備局都心まちづくり課

まち再生・まち育て活動支援事業

【再掲】

※関連P43

- 都市の持続的な発展を目指し、地域のにぎわいを創出するため、地元の住民や事業者などと連携し、地域の実情や特性を生かした魅力的なまちづくりに取り組みます。
- 地元住民や事業者などが中心となったエリアマネジメントの取り組みを継続的に実施できるよう、都市再生推進法人を目指すまちづくり団体の組織構築や体制強化を支援します。また、様々な制度の活用も視野に入れながら、公共空間などにおけるにぎわいを創出するイベント開催や、質の高い空間をつくるための維持管理の活動を支援します。
- 既成市街地において、地域の課題を解決しようとするエリアマネジメント団体主体の取り組みを支援するため、低未利用地の改善方策を検討するなど、新しい社会ニーズに合わせた効率的な土地利用のあり方や、民間主体による管理運営手法などについて検討を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域のエリアマネジメント活動支援		
低未利用地の改善方策の検討		

担当：都市整備局都心まちづくり課

ストック活用型都市再生推進事業

【再掲】

※関連P43

- 市街地において、にぎわい創出や回遊性の向上を図るとともに、懐の深い都市空間を形成するため、既存ストックの利活用を推進します。
- 都心のスモールエリアや地下鉄沿線のエリアなどで、低未利用地の不動産オーナーなどの協力を得ながら、遊休不動産のリノベーション事業を推進することで、民間による新たなローカルコンテンツの創出を支援します。
- 上記エリアやその周辺エリアにおいて、事業者による公共空間でのにぎわいづくりに資する利活用事業が日常的に実施できるよう支援します。
- 遊休不動産のリノベーションや公共空間利活用イベントの開催について情報発信するとともに、職員向けの研修などを開催し、公民連携についての意識醸成を図ります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
遊休不動産のリノベーション事業の支援		
公共空間の利活用の支援		
情報発信・研修などの実施		

担当：都市整備局都心まちづくり課

- 勾当台公園再整備事業**  
**【再掲】**  
**※関連P13**
- 「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」のほか、市役所本庁舎の建て替え、定禅寺通活性化など、周辺で進む関連プロジェクトの内容を踏まえ、市内中心部の日常的なにぎわい・交流を創出する勾当台公園の再整備を進めます。
  - 有識者による検討懇話会を立ち上げ、勾当台公園の目指す方向性やあり方、施設整備の具体的な構想について検討を進め、「再整備基本構想」を策定します。
  - 「再整備基本構想」に基づき、「再整備基本計画」を策定するとともに、再整備基本設計・実施設計を実施し、再整備工事に着手します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本構想の策定	基本計画の策定	基本設計
		実施設計

担当：建設局公園課

- 西公園再整備事業**  
**【再掲】**  
**※関連P13**
- 地下鉄東西線大町西公園駅の整備など、周辺の環境が大きく変化した西公園について、みどりの持つ多様な機能を最大限活用するとともに、定禅寺通の活性化や都心のまちづくりも見据えた再整備を推進します。
  - 南側区域のプール跡地では、園路・多目的広場整備などを行うとともに、北側区域の図書館跡地付近では、園路などの再整備を行います。
  - 子どもが遊ぶ機会づくりや子育てイベントの開催など、整備した公園の活用を通じて、誰もが地域づくりに関わることのできるような、多様な協働の生まれる機会をつくります。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
南側区域プール跡地における基盤整備・園路整備		広場などの整備
トイレ設計	トイレ整備	

担当：建設局公園課

## ⑨ 市政運営



### 1 持続可能な都市基盤づくり推進

概要	機能集約型の都市づくりと公共交通を中心とした交通体系の構築、自然と調和した持続可能な都市づくりを一体的に進めるため、都市計画マスタープランの地域別構想や立地適正化計画の策定、地下鉄沿線のまちづくりなどに取り組みます。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	地下鉄沿線区域人口の割合	40.4%（令和2年度）	前年度実績より増加
	地下鉄沿線区域の夜間人口	43.1万人（令和2年度）	前年度実績より増加

#### 機能集約型都市づくり推進事業

- 「杜の都」の豊かな自然と、市民の暮らしを支える都市機能が調和した都市をつくるため、「都市計画マスタープラン全体構想」に基づき、鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりに継続的に取り組むなど、仙台市が目指す都市づくりの適切な推進を図ります。
- 都心、泉中央、長町の3地区について、地域ごとのあるべき市街地像の実現に向けた施策を詳細に定める「地域別構想」の策定に取り組みます。また、目指す都市像の実現のため、「立地適正化計画」の策定に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりの推進		
地域別構想の策定		
立地適正化計画の策定		

担当：都市整備局都市計画課

#### 地下鉄沿線まちづくり推進事業

- 人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。
- 地下鉄沿線まちづくりの方向性や地域ごとの目標、その実現に向けた施策などを示す「（仮称）地下鉄沿線まちづくり推進プラン」を策定します。
- 地下鉄沿線区域における組合土地区画整理事業、優良建築物等整備事業などの助言・監督・技術的援助を行います。
- 地下鉄沿線区域において、居住者や事業者などが主体となったまちづくりへの働きかけや支援を行います。
- 駅周辺における低未利用地の土地利用転換に向けて、土地所有者などへの働きかけや適切な施設立地などの誘導、支援を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
推進プランの検討・策定	推進プランに示す施策の検討・実施	
組合土地区画整理事業や優良建築物等整備事業の助言・監督・技術的援助の実施		
低未利用地の土地利用転換に向けた働きかけ、地域主体のまちづくり支援など		

担当：都市整備局地下鉄沿線まちづくり課

## 2 公共施設経営推進

概要	持続可能な都市経営の基盤を構築し、公共施設を将来にわたって持続的に提供できるよう、公共施設総合マネジメントを推進するとともに、下水道や浄水場など公共インフラの再構築を図ります。		
数値目標	項 目	基準値	目標値
	下水道施設再構築計画策定進捗率	－	100%（令和5年度）
	浄水場統合整備計画策定進捗率	－	100%（令和4年度）

- 公共施設総合マネジメント推進事業**
- 市民に対して安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供するため、施設の長寿命化や活用の徹底、質・量の適正化などに取り組みます。
  - 学校や市民センター、コミュニティ・センターなど市民に身近な施設の改修を計画的に推進します。
  - 博物館や体育館、区役所庁舎などの大規模施設について、施設ごとに策定した改修基本計画をもとに、財政負担や工事の進め方などを把握したうえで、年次調整を図りながら改修を進めます。
  - 道路などインフラ施設は、それぞれの分野ごとに策定した整備計画に基づき長寿命化対策を行います。
  - 各施設の稼働状況などの情報を集約・整理した「公共施設の『見える化』」の資料を作成し、現有施設活用の徹底を図るとともに、同資料を活用しながら、将来の施設のあり方の検討や複合化など施設の質・量の適正化、民間活力の導入を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
公共施設総合マネジメントプランに基づく事業の実施		

担当：財政局財政企画課、都市整備局公共施設マネジメント推進課

- 泉区役所建替事業**
- 老朽化した泉区役所庁舎の建て替えを契機として、地域の活性化や課題の解決を図ります。
  - 泉区役所庁舎の建て替えを、民間活力の導入により行います。また、建て替えにあたっては、庁舎以外の敷地の利活用についても民間活力の導入を図ります。
  - 検討にあたっては、有識者などで構成する事業者選定委員会と、泉区の町内会やまちづくり団体、事業者団体の代表者などで構成する懇話会の2つの会議をはじめ、市民や周辺事業者などとも意見交換しながら進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業者選定、整備（区役所庁舎の建て替え・敷地の利活用）		

担当：財政局財政企画課、泉区総務課

- 市役所本庁舎建替事業**  
【再掲】  
※関連P82
- 「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に定める4つの基本整備方針である、まちづくり・賑わい・協働、災害対応・危機管理、利便性、持続可能性・環境配慮などに基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進します。
  - 本庁舎建替基本設計と並行して、新本庁舎の低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体の利活用を視野に入れた検討や、新本庁舎において職員の知的生産性を向上させるために望ましい執務空間のあり方の検討を行い、その結果を本体設計に反映させます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本設計	実施設計	施工者選定
低層部等事業可能性調査	低層部事業の検討	
執務環境計画等業務委託の実施		

担当：財政局本庁舎建替準備室

## 下水道施設再構築事業

- 市中心部の既存施設などにおける老朽化、耐震化、浸水対策などの複合的な課題解決を図るため、各施設の特性や立地環境、社会的ニーズ等を総合的に判断したうえで、機能高度化など、新たな視点を加え、下水道施設の再構築に取り組みます。
- 下水道管きょについては、合流幹線再構築計画を策定します。
- 郡山ポンプ場については、再構築計画の策定と設計に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
合流幹線再構築：計画策定		
郡山ポンプ場の再構築：計画策定		ポンプ場の再構築：設計

担当：建設局下水道計画課

## 浄水場統合推進事業

- 稼働開始から約60年を迎え、老朽化が進行した国見浄水場の更新時期に合わせて、国見浄水場と同様に大倉ダムを水源とし、耐震性に課題のある中原浄水場との統合更新を進めます。
- 上記に伴い、関連する既存水道施設の改修などについても盛り込んだ整備計画を策定するとともに、基本設計に着手します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
整備計画の策定		基本設計に着手

担当：水道局計画課



## ③ 公共インフラ災害対策

概要	地震や豪雨など、近年激甚化する災害時のリスクを低減するため、無電柱化や橋梁・上下水道施設などの耐震化、河川改修や雨水排水施設の整備など、公共インフラの災害対策を計画的に進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	無電柱化推進計画に基づく事業着手延長	0.8km（令和元年度）	4.9km（令和5年度）
	橋梁の耐震補強工事の完了数	2橋（令和元年度）	9橋（令和5年度）
	道路法面の落石対策工事の完了数	35箇所（令和元年度）	63箇所（令和5年度）
	河川整備率（堀切川）	39.9%（令和元年度）	64.9%（令和5年度）
	下水道浸水対策工事の着手率	0%（令和元年度）	100%（令和5年度）
	雨水排水施設の整備率	35.7%（令和元年度）	37.1%（令和5年度）
	下水道耐震化率（管路）	41.0%（令和元年度）	46.9%（令和5年度）
	水道施設の耐震化箇所数	－	5箇所（令和5年度）
	重要給水施設への管路の耐震化箇所数	－	1箇所（令和5年度）
	災害時給水栓の設置数	－	24箇所（令和5年度）

## 無電柱化推進事業

- 防災性の向上や安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上や観光振興などを図るため、関係事業者と目的を共有しながら道路の無電柱化を推進します。
- 「仙台市無電柱化推進計画」に掲げた整備計画路線について、電線共同溝整備などによる無電柱化を推進します。
- 道路法第37条に基づく電柱の占用制限について、対象となる緊急輸送道路を拡大するとともに、電柱新設の禁止・抑制措置を着実に運用します。また、その他の道路における占用制限についても検討を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
無電柱化整備の推進		
道路法に基づく占用制限の実施		

担当：建設局道路計画課

道路防災対策事業

- 大規模地震時や豪雨時などにも道路としての機能が維持できるように、道路の防災対策を進めます。
- 災害発生時の避難や救助などに欠かせない道路ネットワークを確保するため、平成8年以前の設計基準で架けられた緊急輸送道路の橋梁について、平成8年改定の設計基準を満たす耐震補強工事を実施します。
- 市民の生活に不可欠な道路の安全な通行を確保するため、緊急度を勘案しながら、緊急輸送道路や土砂災害警戒区域内の法面などの落石対策工事を行います。また、道路の陥没対策として路面下空洞対策工事を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
橋梁耐震補強工事の実施		
落石対策工事の実施		
路面下空洞対策工事の実施		

担当：建設局道路保全課

河川改修事業

- 近年頻発する大雨により、河川流域において浸水被害が発生している現状を踏まえて、浸水被害の解消を目指して河川改修を行います。
- 一級河川後田川、二級河川高野川、準用河川谷地堀、準用河川堀切川において、河川拡幅、線形改良、河床掘り下げなどにより治水安全度の向上を図るとともに、多自然川づくりを取り入れ、河川環境の保全・向上を図り、市民に親しまれる河川整備を実施します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
一級河川後田川：設計、用地買収の実施		
二級河川高野川：設計、用地買収、河川横断施設移設工事の実施		
準用河川谷地堀：河川横断施設移設工事の実施		
準用河川堀切川：河川改修（河川拡幅、線形改良、河床掘り下げ）工事の実施		

担当：建設局河川課

下水道浸水対策事業

- 「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、令和元年東日本台風など広範囲で浸水被害が発生した現状を踏まえ、市街地における浸水リスクの低減を図ります。
- 仙台駅西口地区では、雨水幹線などの整備を行います。
- 仙台駅東口地区では、計画策定・設計及び雨水幹線などの整備を行います。
- 福室排水区では、設計及び西原雨水ポンプ場・雨水管などの整備を行います。
- 原町東部排水区では、日の出町一丁目地区に係る設計及び雨水管の整備を行います。
- このほか、土地区画整理事業などの事業区域内において、雨水排水施設の整備を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
仙台駅西口地区：雨水幹線などの整備		
仙台駅東口地区：計画策定・設計		施設整備
福室排水区：設計	西原雨水ポンプ場・雨水管などの整備	
原町東部排水区：計画策定・設計		施設整備

担当：建設局下水道計画課

## 下水道地震対策事業

- 「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、震災時における都市機能の確保と公衆衛生の確保を図るため、地震時に構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設の耐震化を図ります。
- 第3南蒲生幹線の整備や、梅田川幹線、長町幹線など既設下水道管きよの耐震化を進めます。
- 苦竹ポンプ場、蒲生雨水ポンプ場、秋保温泉浄化センターなど下水道施設の耐震化を進めます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
第3南蒲生幹線の整備		
下水道管きよの耐震化の実施		
ポンプ場・浄化センターの耐震化の実施		

担当：建設局下水道計画課

## 水道施設災害対策事業

- 大規模地震など災害発生時における被害を抑え、安定的に水道水を供給するため、施設の耐震化や応急給水機能の拡充を進めます。
- 浄水場や配水所などの重要な水道施設について、「水道施設再構築構想」に基づき、非常時の水運用も考慮しながら、各施設の継続使用や廃止を区分し、将来にわたり必要な施設の耐震化や更新を進めます。
- 医療機関や公共施設など重要施設への配水経路の耐震化について、優先的に耐震化を行うべき対象の検討を行い、適宜耐震化を進めます。
- 災害時に円滑な応急給水が実施できるよう、災害時給水栓の設置を進めていきます。令和4年度末までにすべての市立小学校、中学校、高等学校への設置を目指すとともに、今後の設置拡大に向けた対象施設の検討を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設の耐震化を順次実施		
重要給水施設への耐震化 新たな対象施設への布設計画検討	重要給水施設への耐震化の実施	
災害時給水栓の設置を順次実施		
災害時給水栓の 新たな対象施設検討	災害時給水栓の 設置計画の検討	検討を踏まえて 災害時給水栓設置

担当：水道局計画課



## ④ ガス事業民営化推進

概要	電力・ガス自由化後の競争環境に対応し、さらなる市民サービスの向上などを図るため、弾力的な運営が可能な民間事業者に経営を委ね、ガス事業の民営化を推進します。
----	---

## ガス事業民営化推進事業

- 電力・ガス自由化後の競争環境に対応し、さらなる市民サービスの向上などを図るため、ガス事業の民営化を推進します。
- 「仙台市ガス事業民営化推進委員会」において、応募者から提案される事業計画などの審査を行い、その結果を踏まえ市として優先交渉権者を決定します。その後、事業継承者と基本協定、事業譲渡契約を締結し、令和4年度内に事業譲渡を行います。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
優先交渉権者決定・基本協定 締結・事業譲渡契約締結	事業譲渡	

担当：ガス局民営化推進室

## 5 人材育成機能・組織力強化

概要	社会環境の変化に伴い、複雑化・多様化するさまざまな課題に対応できる職員の育成を行うとともに、職員の能力の発揮につなげる職場の環境づくりに取り組みます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	職員アンケートにおける「自身のキャリアや強みを理解・意識している」「ある程度理解・意識している」と答えた職員の割合	84.1%（令和2年度）	基準値以上
	職員意識調査における「日頃からコンプライアンスを意識している」「そう思う」「まあそう思う」と答えた職員の割合	93.7%（令和2年度）	基準値以上

- 人材育成機能・組織力強化事業**
- 職員が必要な経験や能力などをイメージし、主体的に能力開発に取り組めるよう、組織的なOJTや研修体系などを整備します。また、職員が適性を生かし知識や技術を向上させることで組織の力を高めていくため、人事評価制度などを活用して人材育成を推進するとともに、職員一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくりに取り組みます。
  - 職員のコンプライアンス意識の向上に向けた研修などを実施するとともに、風通しの良い職場づくりに向けた各職場における取り組みを支援します。
  - 職員の市民活動や協働に関する理解を深めることで、多様な主体と連携や調整を行う能力の向上を図り、地域課題の解決に資する人材の育成に取り組みます。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
人材育成推進計画に基づく取り組みの実施		
職員のコンプライアンス意識向上に向けた取り組みの推進		
市民活動や協働の理解を深める研修の実施		

担当：総務局行政経営課・人事課・職員研修所、市民局市民協働推進課

## 6 デジタル化推進

概要	行政手続きの利便性や市民サービスの向上、市民の安全安心な暮らしや地域・経済活動の活性化を図るため、市政の幅広い範囲においてデジタル化を進めます。		
数値目標	項目	基準値	目標値
	RPA導入・利活用推進による累積削減時間	—	129,000時間（令和5年度）
	RPA導入・利活用推進による適用業務数	—	220業務（令和5年度）
	RPA導入・利活用推進による1業務あたり平均削減時間	—	300時間（令和5年度）
	年間1,000件以上申請がある手続き及び国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続のうち、インターネットで可能な手続きの割合	4%（令和元年度）	50%（令和5年度）
	Web会議で実施した会議・研修等の数	—	200（令和5年度）

- デジタル化推進事業**
- 市政の幅広い範囲においてデジタル化を速やかに進めるため、令和3年6月末を目途に「（仮称）仙台市DX推進計画」を策定します。

- DX推進計画策定に先駆け、デジタル化ファストチャレンジとして、不要な押印の廃止や添付書類の見直し、キャッシュレス決済の導入等による「窓口手続きのデジタル化」、モバイル端末を活用したオンラインでの子育て相談等の「デジタルでつながる市役所」の実現、及びWeb会議による会議の効率化やRPA・AIの活用による「市役所業務の効率化」に取り組めます。
- DX推進計画策定後は、計画に基づき、デジタル化ファストチャレンジの取り組みも含め、行政手続きや市民サービス、地域・経済活動、市役所の内部業務など、様々な分野においてデジタル化を推進します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画策定	デジタル化の推進と進行管理	

担当：まちづくり政策局デジタル戦略推進室



## 第3章 施策の一覧

基本計画で掲げる、それぞれの目指す都市の姿の実現に向けた施策と事業を掲載します。

### <構成>

- ・基本計画における「未来をつくる市政運営」の「施策の一覧」に基づき、実施する施策と事業を一覧表で示します。
- ・事業ごとに、事業名、事業内容の概要及び担当を記します。また、チャレンジプロジェクトに該当する事業の場合は、ページ数を記します。

## 1 みどり

## (1) みどりあふれる空間をつくる

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
全国都市緑化フェア推進事業	都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及などを図ることにより、みどり豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川をメイン会場に、国内最大級の花とみどりの祭典である全国都市緑化フェアを令和5年度に開催します。	建設局	P11
都心部みどりの回廊づくり事業	仙台駅を中心に半径2 Km程度の圏内について、重点的に緑化を推進する地区と位置づけ、拠点となる公園の整備や道路緑化、公共施設の緑化により都市環境の改善やにぎわいに寄与する緑を創出します。また、緑化ガイドラインや助成制度により、民有地における質の高い緑化を推進し、みどりのネットワークを形成します。	建設局	P13
青葉山公園整備事業	「青葉山公園整備基本計画」に基づき、国史跡指定地区では歴史的な景観を充実させるとともに、追廻地区では（仮称）公園センターと広場整備を進めるなど、青葉山と広瀬川に囲まれた区域において市民や仙台を訪れた人が楽しむことができる公園整備を進めます。	建設局	P11 P77
勾当台公園再整備事業	「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」のほか、市役所本庁舎の建て替えなど、周辺で進む関連プロジェクトの内容を踏まえ、勾当台公園全体のあり方についての調査・検討、基本構想・基本計画の策定、整備工事に順次着手し、市内中心部の日常的なにぎわい・交流を創出する勾当台公園の再整備を進めます。	建設局	P13 P84
西公園再整備事業	地下鉄東西線大町西公園駅の整備など、周辺の環境が大きく変化した西公園について、みどりの持つ多様な機能を最大限活用しながら、園路・多目的広場の整備など計画的な再整備を行います。	建設局	P13 P84
公園マネジメント事業	既存の都市公園について、社会情勢を踏まえつつ、利用実態や地域性、住民ニーズなどの観点から公園機能を見直し、計画的にリニューアルを行うとともに、多様なパートナーと連携しながら公園資源を有効に活用し、公園の魅力向上、都市の魅力向上に向けた取り組みを推進します。	建設局	P14
街路樹マネジメント事業	「杜の都」を象徴するみどりである街路樹が、都市景観形成や都市環境改善など、みどりの多機能性を十分発揮できるよう、街路樹の計画的な更新や維持管理を行い、都市の魅力ある資源として活用することで、都市ブランドの向上を図ります。	建設局	P15
市民協働によるみどりのまちづくり事業	緑の活動団体の認定や支援、東部地域のみどりの再生、地域コミュニティガーデンづくりや公園・河川の愛護活動への支援を通じて、市民協働によるみどりのまちづくりを推進します。また、子どもを含めた多様な年齢層のみどりに対する理解や関心を深め、次世代のみどりの担い手となるよう育成を図ります。	建設局	—

## (2) 歴史と趣を感じる景観をつくる

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
杜の都の風土を育む景観形成推進事業	仙台らしく魅力的で居心地の良い景観形成を推進するため、「杜の都の風土を育む景観条例」や「仙台市屋外広告物条例」などに基づき、有効なオープンスペース創出のためのガイドラインや屋外広告物のためのガイドラインの作成、景観資源のさらなる保全・活用など、都市空間の質の向上のための景観施策を推進します。	都市整備局	P14
歴史と文化の薫るみどり活用事業	地域を象徴する貴重な名木・古木や屋敷林などを未来に継承するため、保存樹木などとして保全を図るとともに、公園や彫刻などと一体的に仙台市の歴史あるみどりに対する市民の理解と愛着を深め、親しむ取り組みを進めます。また、令和版わがまち緑の名所100選を市民協働で作成し、「杜の都・仙台」のみどりの魅力を内外に発信します。	建設局	—

## (3) グリーンインフラの活用を広げる

ふるさとの杜再生プロジェクト	震災による津波により失われた東部地域のみどりを再生するため、公園整備に合わせて市民協働で植樹を実施するとともに、これまでに植樹を実施した海岸防災林については、育樹イベントや子ども向け参加プログラム、ほ場整備などを実施し、市民協働の取り組みを強化しながら育てていきます。また、農村風景を構成してきた居久根について、保全や再生支援に取り組みます。	建設局	P17
市街地のグリーンインフラ推進事業	気候変動への適応や安全で潤いのある都市生活などみどりの多機能性を生かしたまちづくりを進めるため、緑化ガイドラインの策定や助成制度により民間建築物や公共空間の質の高い緑化を図ります。また、地域コミュニティ活性化や健康増進に資する取り組みとして、コミュニティガーデンづくりを支援します。	建設局	—
みどりの普及啓発事業	緑の相談所の運営やみどりに関するイベント、各種コンクール・表彰の開催や広報などにより、自然への意識向上やグリーンインフラの取り組みの普及啓発を図るとともに、みどりの市民活動への参加や企業の社会貢献活動を促進します。併せて、「杜の都・仙台」のみどりを全国にPRし、都市ブランド向上を図ります。	建設局	—
都市公園整備事業	防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15

## (4) 水辺を楽しめる空間をつくる

海浜エリア活性化事業	東部沿岸地域において、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の豊かな自然など魅力ある資源を活用しながら、海辺のにぎわいづくりを進めます。また、集団移転跡地利活用事業者や地域住民・活動団体などと緊密に連携し、地域の特性を活かした魅力のネットワーク化など持続的な回遊性を高め海浜エリアの活性化を図る事業を推進します。	文化観光局 宮城野区 若林区	P16 P44
東部地域移転跡地利活用推進事業	東日本大震災により被災した東部沿岸地域の防災集団移転跡地のうち、七北田川以南の南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚の5地区について、民間の自由な発想や提案を最大限に生かした利活用を図り、地域の新たな魅力を創出していきます。	都市整備局	P16

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
海岸公園整備事業	海岸公園の来場者がより安全で快適に利用できるように、パークゴルフ場の増設を進めるとともに、駐車場やトイレの整備、植栽を進めるなど、自然環境に配慮しながら海岸公園の運営・管理を実施します。	建設局	P17
広瀬川創生・清流保全事業	「広瀬川創生プラン」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境の保全や安全安心な川づくり、そして新たな魅力の創出について、市民と協働で取り組みます。また、「広瀬川の清流を守る条例」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境や景観などを保全します。	建設局	P11

## 2 環境

### (1) 脱炭素を推進する

エネルギー自律型まちづくり推進事業	災害に強くエネルギー効率の高い分散型エネルギーシステムの構築や、再生可能エネルギーの普及、環境負荷の小さい次世代エネルギーの創出に向けた取り組みを進めます。	環境局	—
脱炭素都市づくり推進事業	温室効果ガス削減アクションプログラムなどによる脱炭素型のエネルギーシステムの構築や、環境にやさしい交通への転換を進めます。また、市民、事業者との協働によるせんだいE-Actionにおいて、省エネ・創エネ・蓄エネの3Eの普及啓発を図るとともに、気候変動リスクに備えるための情報提供を行います。	環境局	P25
公共施設低炭素化事業	「仙台市環境行動計画」と「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」に基づき、公共施設において、建築物の断熱化や高効率機器などの低炭素化技術を積極的に導入し、温室効果ガスの排出とエネルギーコストの削減につなげます。また、さらなる断熱化を推進するため実証実験を行い、設計における断熱基準を確立します。	環境局 都市整備局	P25
南蒲生浄化センター消化ガス発電事業	南蒲生浄化センターの汚泥処理施設再構築事業に併せ、「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる地球環境保全の方針に基づき、下水汚泥からバイオガスを回収するための消化施設、発電施設等を整備し、バイオガス発電による再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みを進めます。また、事業手法については、民間活力を積極的に活用することで事業効果を高めます。	建設局	—
仙台駅西口ガス灯改修事業	地下鉄南北線の開通に合わせて整備され、経年による灯具の不具合が発生している仙台駅西口のガス灯について、意匠LEDにリニューアル改修し、仙台駅西口周辺の景観に配慮しながら維持管理コストの削減を図ります。	青葉区	—

### (2) 資源循環を推進する

ごみ減量・リサイクル推進事業	プラスチックごみや食品ロスの削減のほか、ごみの発生抑制や資源循環に向けた取り組みを推進するとともに、ごみの分別方法などわかりやすい情報提供に努め、各主体が自ら行動する人づくりを進めます。	環境局	P26
産業廃棄物処理指導事業	産業廃棄物の適正処理の確保を図るため、排出事業者と処理業者への指導などに取り組むとともに、PCB廃棄物の期限内処理に向けた調査や保管事業者などへの指導を行います。また、産業廃棄物の再資源化を推進するため、工事現場への立入指導などに取り組めます。	環境局	—

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
廃棄物不法投棄防止対策事業	パトロールの実施により、不法投棄などの防止と早期発見に努めるとともに、監視カメラの設置や、市民と協働して実施するクリーン作戦などを通じて、不法投棄の抑止に取り組みます。また、不法投棄の当事者などに対して原状回復と適正処理の指導を行うとともに、悪質な事案については警察と連携して対応します。	環境局	－
ごみ処理施設整備事業	「仙台市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、既存ごみ処理施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図り、安定した処理体制の構築に向けた整備を進めるとともに、今後の施設のあり方について検討を進めます。	環境局	－

### (3) 快適な生活環境を守る

環境教育・学習推進事業	「せんだい環境学習館たまきさんサロン」を核に、推進役である杜の都の市民環境教育・学習推進会議「FEEL Sendai」など、教育機関や市民団体などの多様な主体と連携し、防災や歴史・文化のような他の分野と組み合わせた講座の開催などを通じて、環境に関する学びの機会の充実を図ります。	環境局	P26
大気・水質等環境保全推進事業	大気・水質・土壌などの汚染物質や騒音・振動などの現況を的確に把握し、市民生活に影響を与える様々な環境負荷の低減を図ることで、快適な生活環境を確保します。	環境局	－
合流式下水道改善事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる水環境保全の方針に基づき、汚濁負荷量や夾雑物を削減することで雨天時に合流式下水道から公共用水域に流出する未処理下水の改善を図り、健全な水環境の形成を図ります。	建設局	－

### (4) 自然との共生を推進する

生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図ります。また、食や音楽、アートなどと組み合わせるなど、五感で学びながら、生物多様性の保全に向けた行動につながる、気づきの機会を創出します。	環境局	－
緑地保全によるグリーンインフラ充実事業	持続可能で潤いある都市環境を支えるグリーンインフラである市街地を取り囲む貴重な緑地について、市民協働により保全を図るとともに、法令の制度を活用してより保全の担保性を高める取り組みを進めます。また、頻発する気象災害による被害を軽減するため、重点的な樹林地管理を行います。	建設局	－

## 3 防災・減災

### (1) 東日本大震災の経験と教訓を発信する

防災環境都市づくり推進事業	仙台防災枠組の採択都市として、「杜の都」の豊かな環境を活かしながら、日常生活に防災と環境配慮が織り込まれた防災環境都市づくりを進めます。また、それらの取り組みを国内外へ発信することで、選ばれる都市・誇れる都市を目指します。	まちづくり政策局	P19
---------------	---	----------	-----

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
震災復興メモリアル事業	東日本大震災の経験と教訓を継承するため、せんだい3.11メモリアル交流館・震災遺構仙台市立荒浜小学校・震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎の運営、中心部震災メモリアル拠点の整備推進、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」などにおける震災に関する記録の収集・保存・活用などに取り組みます。	まちづくり 政策局 教育局	P19

## (2) 防災力の高い地域をつくる

避難所等備蓄物資管理事業	災害時の自主防災活動に必要な各種防災資機材を整備するとともに、避難所などにおいて必要となる備蓄物資の適正な維持・管理を行います。	危機管理局	—
防災意識の周知啓発強化事業	防災冊子の配布やGISデータの公開、住民説明会の開催など各種媒体機会を活用するとともに、ハザードマップの公開などを通じて災害時に自らの命を守る行動がとれるようにするための防災情報の普及啓発を実施します。	危機管理局	P22
体験型防災学習機能の充実強化事業	市内の各地域において、様々な年代や立場の市民が災害の疑似体験を通じ、災害への備えの重要性を認識できる機会を作り、自助・共助による取り組みを推進します。	危機管理局	P23
地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	—
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。	危機管理局	—
福祉避難所の機能強化事業	災害発生時において、高齢者、障害者、妊産婦や新生児など指定避難所での生活が困難な要援護者がより安心して生活を送ることができるよう、福祉避難所の開設に向けた協定の締結を進めます。また、備蓄物資の配備や開設訓練の実施などを通じて、福祉避難所を円滑に運営するための環境整備を推進します。	健康福祉局	—
災害時要援護者情報登録事業	災害時に安否確認や避難誘導などの支援を必要とし、地域による支援を希望される方を支えるため、災害時要援護者情報登録制度の周知と登録勧奨を行うとともに、情報を地域団体などに共有し、地域における避難支援体制づくりを進めます。	健康福祉局	—
災害時障害者支援事業	災害時に備え、精神障害者と発達障害者については、せんだい安心ナビを活用して事前学習を進めるとともに、障害特性を踏まえた支援を行う災害こころネットを整備します。また、人工呼吸器装着児者については、発災時に停電などにより呼吸器が使用できなくなるなどのリスクに備え個別支援計画の作成を進めます。	健康福祉局	—
地域防災力向上事業	災害から命を守り、いざという時の適切な行動に備えるため、浸水想定区域等への自助・共助の仕組みづくりを支援するとともに、地域で安全迅速に避難し、住民の安否を確認できる共助の取り組みを推進します。	太白区	—

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
仙台版防災教育推進事業	児童生徒が災害に関する正しい知識や対応方法を身に付け、平常時から災害に備え、災害時に冷静に判断し、臨機応変に自らの安全を確保できる自助の力を育むとともに、平常時から進んで他の人や地域の力となれる共助の意識の育成を図るため、仙台版防災教育推進事業を実施します。	教育局	P20

### (3) 強靱な都市基盤をつくる

津波避難広報体制強化事業	東部集団移転跡地の利活用などにより、地域外からの来訪者の増加が見込まれる東部沿岸地域において安全と安心を確保するため、大津波警報などの発表と同時に離陸し、完全自動で避難広報や情報収集を行う津波避難広報ドローンを整備し、津波避難広報体制の強化を図ります。	危機管理局	P22
災害時情報伝達体制強化事業	災害時に、情報弱者に対して緊急情報を確実に伝達するとともに、情報伝達手段を多重化するため、緊急情報の発信や避難所・区役所への通信機能の整備など、情報伝達体制の検討と強化を進めます。	危機管理局	P22
原子力災害対策事業	原子力災害対策として、平常時から市内の空間放射線量をモニタリングポストで測定し公表するほか、防護対策や被ばく管理などの対策に必要な原子力防災資機材を整備します。	危機管理局	—
住宅等民間建築物耐震化促進事業	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅と分譲マンションなどを含む民間建築物の耐震化について周知啓発を行うほか、耐震診断を支援し、耐震改修工事に対する補助を行います。	都市整備局	—
宅地耐震化推進事業	大地震時における滑動崩落などによる宅地の被害を軽減するため、大規模盛土造成地における変動予測調査を行い住民への情報提供などを行います。また、調査の結果、滑動崩落のおそれがある大規模盛土造成地に対しては、必要に応じて対策工事の検討を行います。	都市整備局	—
無電柱化推進事業	防災性の向上や安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上や観光振興などを行うため、電線共同溝整備などによる道路の無電柱化を推進するとともに、道路法第37条に基づく占用制限などにより電柱の新設の抑制に努めます。	建設局	P87
道路防災対策事業	災害発生時の避難や救助などに欠かせない道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路に架かる橋梁の防災対策を進めます。また、市民の生活に不可欠な道路の安全な通行を確保するため、緊急度を勘案しながら、緊急輸送道路や土砂災害警戒区域内の法面などの防災対策を進めます。	建設局	P88
河川改修事業	一級河川後田川、二級河川高野川、準用河川谷地堀、準用河川堀切川において、浸水被害の解消を目的とした河川拡幅などと、多自然川づくりを取り入れた市民に親しまれる河川整備を実施します。	建設局	P88
下水道施設再構築事業	市中心部の流量過多により管路の耐震化事業を実施できない区間などに対し、バイパス機能と浸水対策機能を付加した新たな管路を構築するなどの合流幹線の再構築計画を策定します。また、郡山ポンプ場が抱える耐震化・老朽化・浸水対策・合流改善などの複合的課題を解決するため、機能高度化を図った再構築計画を策定します。	建設局	P87

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
下水道浸水対策事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88
下水道地震対策事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、震災時における都市機能の確保と公衆衛生の確保を図るため、地震時に構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設の耐震化を図ります。	建設局	P89
南蒲生浄化センター汚泥処理施設再構築事業	南蒲生浄化センターの老朽化した濃縮棟、脱水設備、2号焼却炉設備等の汚泥処理施設について、濃縮棟の建て替え、脱水設備の更新、2号焼却炉の代替炉として1号焼却炉の設備更新を実施して、安定的な汚水処理の持続を図ります。併せて、バイオガス発電による再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みを進めます。	建設局	—
消防水利整備事業	大規模地震などにより断水地域が発生した場合に備え、防火水槽を計画的に整備するとともに、老朽化した防火水槽の点検・補修を計画的に実施します。	消防局	—
水道施設災害対策事業	災害に強い水道施設とシステムづくりを推進するとともに、被災時にも給水が継続できる体制を強化するため、水道施設や管路の計画的な耐震化や、災害時給水栓による応急給水体制の強化に取り組みます。	水道局	P89
都市ガス防災対策強化事業	大規模災害時の被害を最小限にとどめ、迅速に復旧するため、経年本支管について、優先順位をつけてポリエチレン管などへの入れ替え工事を効果的に推進します。	ガス局	—

## Ⅱ

## 多様性が社会を動かす共生のまちへ

### 4 人権

#### (1) 多様性への理解を進める

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業	社会のあらゆる分野への女性の参画を促進するとともに、防災における男女共同参画の視点の重要性を発信し、地域における女性の担い手づくりを支援します。また、男性の男女共同参画意識を醸成するとともに、男性の家事・育児などへの参画を支援します。	市民局	P30
多様な性の理解促進・性的少数者支援事業	多様な性のあり方について理解促進を図るとともに、多様な性のあり方の情報に触れ、性的少数者や支援者など参加者同士が交流できる居場所づくり事業を実施します。	市民局	P30
ひとにやさしいまちづくり推進事業	建築物、道路、公園などのバリアフリー化を進めることで、障害者や高齢者を含む、すべての人にとって利用しやすいまちづくりを進めます。また、ハード面に加え、ソフト面でのバリアフリー化を進め、ひとにやさしいまちづくりを推進します。	健康福祉局	－
障害理解促進事業	障害を理由とする差別を解消し、障害のある人もない人も共に暮らしやすい共生社会の実現を図るため、相談支援・庁内体制整備・普及啓発などの差別解消条例にかかる各種事業を実施することにより、障害理解の促進を図ります。	健康福祉局	P31
多文化共生推進事業	国籍や民族などが異なる人々が、互いの文化的差異を認め合いながら、平常時・災害時に関わらず、地域社会の構成員として共に安心して生活していくことができるよう、多言語での情報発信などによる外国人住民のコミュニケーション支援・生活支援、地域の人々の国際理解・交流促進などについて、関係機関と連携を図りながら推進します。	文化観光局	P31
市有施設のトイレ洋式化推進事業	市有施設のトイレを誰でも利用しやすいものとするため、計画的にトイレの洋式化を進めます。	都市整備局	－

#### (2) 人権を守る

ドメスティック・バイオレンス等の防止・被害者支援事業	ドメスティック・バイオレンスと性暴力の根絶に向けて啓発を実施するとともに、被害者の相談対応や回復・自立に向けた支援を行い、適切な支援につなげられる環境づくりを進めます。	市民局	－
児童虐待防止推進事業	児童虐待の予防、早期発見、早期対応を推進するため、子ども家庭総合支援拠点を設置し、要支援児童・要保護児童・特定妊婦などへの支援を強化するとともに、関係機関との緊密な連携の確保や、児童館・保育所への児童虐待防止推進員の配置など、さらなる体制の充実を図ります。	子供未来局	P37
社会的養育推進事業	児童福祉法が定める家庭養育優先原則などの実現に向け、「仙台市社会的養育推進計画」に基づき、里親委託の推進や措置児童の権利擁護の取り組みなど、各種施策の展開を図ります。	子供未来局	P37

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
児童相談所機能強化事業	児童虐待予防のための早期対応から、発生時の迅速な対応、虐待を受けた児童の自立支援など切れ目のない支援体制を構築します。また、支援体制の構築と併せ、施設の大規模改修による長寿命化と社会的ニーズをふまえた一時保護所の機能強化や新型コロナウイルス感染症対策などにも対応した施設環境整備を行います。	子供未来局	P38

## 5 地域生活

### (1) 地域での生活を支援する

地域福祉推進事業	誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、多様な主体の参加による地域福祉活動を推進するとともに、複雑化・多様化する地域生活課題の解決に向け、住民や関係機関・団体、行政などによる支援体制づくりを進めます。また、成年後見制度の利用促進や再犯防止のための取り組みを推進します。	健康福祉局	P32
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援事業所、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点などの各種取り組みを通じて、相互に連携を図り、障害児者への支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33
障害者グループホーム整備促進事業	障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、消防設備設置や改修費用の補助を行いグループホームの新規開設などを促進するほか、行動障害支援者養成や医療的ケアが必要な方の受入支援を行う事業者に補助を行います。また、支援の質の向上について仙台市グループホーム連絡会と連携して取り組みます。	健康福祉局	P33
障害者福祉センター整備事業	地域生活を支援する拠点機能をはじめ時代のニーズに合わせた機能を有した（仮称）青葉障害者福祉センターを市民センターとの複合施設として、青葉区旭ヶ丘地区に整備します。また、既に4区に設置している障害者福祉センターについて、（仮称）青葉障害者福祉センターの整備に伴い、市全体の障害者福祉センターが今後担うべき機能などの検討を行います。	健康福祉局	P33
精神障害者地域生活支援事業	入院中の精神障害者の地域生活への移行を推進するとともに、精神障害者が地域の中で安心してその人らしい生活ができるよう、地域移行・定着に係る課題を分析のうえ、支援体制のあり方を検討します。また、精神障害当事者や精神障害者の家族を支援者として育成し、当事者性を生かした普及啓発活動や相談支援を行います。	健康福祉局	—
視覚障害者支援事業	視力低下や視野狭窄により日常生活に困難が生じ、精神的ショックから鬱などの二次障害により、社会参加に課題が生じることが少なくない視覚障害者に対して、相談支援を通じて、必要なリハビリテーションを提供し、地域生活、就労を含めた社会参加の促進を図るための支援体制を構築します。	健康福祉局	—
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。	健康福祉局 各区	P34

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
在宅医療・介護連携推進事業	地域の資源把握や相談支援、研修や啓発を通じて医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる体制づくりを進めます。	健康福祉局	－

## (2) 地域で支えあう担い手づくりを推進する

町内会等住民自治組織支援・体力強化事業	市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	－
マンション等コミュニティ強化事業	区中心部において町内会等の地域コミュニティ形成が課題となっているマンションなどに向けて、町内会形成の働きかけを行います。コミュニティ強化に向け、市政情報の発信や町内会活動の支援を行うため、地域の施設に職員が定期的に出向き、地域との連携を深める機会を創出します。	青葉区	P44

## (3) 安定したサービスを提供できる体制を整備する

障害福祉人材確保事業	人材不足が深刻化している障害福祉分野に従事する人材の確保と定着を図るため、学生と障害福祉事業所職員の交流会などを実施することで人材の裾野拡大を促進するとともに、障害福祉事業所の支援を目的としたセミナーなどを実施します。	健康福祉局	－
障害福祉サービス事業所等整備促進事業	特別支援学校を卒業する知的障害のある方の受け入れ先確保策として、今後需要超過が見込まれる区への民間による生活介護事業所の整備に対し、費用の一部補助などを行います。また、築50年を迎えるような老朽化が進む障害者支援施設などに対し、改築や大規模改修を行う際に必要な費用の一部を補助します。	健康福祉局	－
介護人材確保事業	人材不足が深刻化している介護分野に従事する人材の確保と定着を図るため、関係団体などと連携した人材確保のための取り組みや、質の高いサービスを提供できる人材の育成支援を進めます。また、介護従事者の負担軽減に向け、ICTの活用支援などの取り組みを進めます。	健康福祉局	－
介護サービス基盤整備促進事業	介護老人福祉施設などの入所施設や地域密着型サービスについて、利用希望や地域での充足状況を考慮しながら年度ごとの目標を定め、公募により事業者を選定して整備を行います。整備推進のため、施設によっては建設費助成を行うとともに、既存施設でより安全なサービスが提供できるよう補助を行います。	健康福祉局	－
高齢者等向け民間賃貸住宅推進事業	高齢者などの住まいの安定の確保を図るため、多様なニーズや実情に応じた住まいの選択肢の確保や情報の提供、関係団体との連携による民間賃貸住宅への円滑な入居支援などを行います。	都市整備局	－
太白区障害高齢支援連携事業	障害福祉サービス利用者の介護保険サービスへの円滑な移行を支援するための体制づくりや、高齢者・障害者を問わず地域での困りごとへの相談に包括的に対応できる体制づくりを進めます。	太白区	－

#### (4) 配慮を要する方を支援する

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
生活困窮者自立支援事業	仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」の運営を通して、生活困窮者の様々な相談をワンストップで受けとめ、一人ひとりに合ったプランを策定し、自立に向けた伴走支援を実施します。また、仙台市家計相談プラザの運営を通して、生活困窮者の家計に関する課題解決を支援し、自ら家計管理ができるよう支援します。	健康福祉局	P35
ひきこもり者地域支援事業	ひきこもり者の状態に応じた適切な支援を行うため、ひきこもり地域支援センターやひきこもり地域相談会における相談支援、中高年者向けの居場所支援など相談支援機能の強化を図るとともに、関係機関と協議・検討を行い、必要な社会資源の開発、改善に取り組みます。	健康福祉局	P35
重度障害者支援事業	重度障害者が地域で安心した生活を送れるよう、事業所への補助などにより医療的ケア児者の受け入れを促進するほか、重症心身障害児者に対して障害者福祉センターにおいて入浴サービスを行います。また、短期入所事業所へのコーディネーター配置や医療的ケア児者等地域支援連絡会などの活用により事業所間の連携を強化します。	健康福祉局	—
重度障害者コミュニケーション支援事業	ALSをはじめとする重度障害者の尊厳を守り生きる意欲を支えるために、意思伝達装置が使い続けられるよう訪問支援を主軸に事業展開するとともに、普及啓発、人材育成、新たな支援機器の開発などに取り組みます。	健康福祉局	—
難病患者支援事業	難病患者などの相談支援や地域交流の拠点施設として、難病相談支援センターにおいて各種事業を行うとともに、難病患者等ホームヘルパー養成研修を実施します。また、難病患者や家族に対する相談支援や在宅療養に必要な医学的指導を行うため、保健師、看護師等による電話、面接、訪問などを実施します。	健康福祉局	—
高次脳機能障害者支援事業	高次脳機能障害者が切れ目のない支援を受け、自立した生活を送れるよう、総合相談、基礎講座、家族交流会を市民に対して行うとともに、支援機関に対しては研修や事例検討などを行い、支援に関する相談にも対応します。また、課題解決に向け、高次脳機能障害者生活訓練事業や児童支援研修などを実施します。	健康福祉局	—
認知症地域支援推進事業	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症サポーターの養成や認知症カフェなどを通じて、認知症に対する地域の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員としてともに支えあう体制づくりを推進します。	健康福祉局	P34
被災者の健康支援事業	復興公営住宅への入居や防災集団移転により生活再建した被災者に生じている、閉じこもりやそれによる身体活動量の低下、心の健康状態の悪化などの健康問題や被災者の高齢化による問題に対して、個別支援や健康講座などによるコミュニティ形成支援を通じて健康の維持を図ります。	健康福祉局 各区	P66
ひとり親家庭等支援推進事業	ひとり親家庭などの生活の安定と向上を図り、その自立を促進するため、「仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン」に基づき、相談窓口の充実や相談しやすい体制づくりなど、ひとり親家庭などの支援を総合的・計画的に展開します。	子供未来局	P35

## (5) 多様な協働を推進する

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進事業	公民連携の窓口である「クロス・センダイ・ラボ」において民間企業などからの提案を一元的に受け付け、行政とは異なる視点、ノウハウ、アイデアなどを活用しながら、複雑化・多様化する行政・地域課題の解決に向けた連携を推進するほか、AI、IoT、自動走行、ドローンなど近未来技術の実証実験の円滑な実施を支援します。	まちづくり政策局	P41
地域づくりパートナーサポート事業	誰もが安全安心に暮らし続けられるまちの実現に向けて、地域コミュニティの中核を担う町内会の支援拡充を図るとともに、地域団体やNPO、事業者など多様な主体が地域の実情に応じて協働して行う取り組みを推進します。また、仙台市市民活動サポートセンターの運営や各種事業を通じ、協働の理解促進、交流や情報発信の支援などに取り組み、より多くの市民に協働まちづくりの輪を広げていけるような環境づくりを図ります。	市民局	P41
市民センター整備事業	地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。	市民局	P42
コミュニティ・センター整備事業	地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。	市民局 各区	P42
区民協働まちづくり事業	市民の暮らしの基盤である地域社会を安全・安心でより良いものとするため、各区・総合支所において、個々の地域の特性や課題を踏まえて、地域が主体的に課題解決に取り組むための体制づくりの支援を行うとともに、区の活性化につながる様々な事業を企画・実施します。	市民局 各区	—
若者が活躍するまちづくり事業	若者の発想や活動をまちづくりに生かしていくために、若者版・市民協働事業提案制度や参加型プログラムの実施などを通じて、将来にわたって若者に選ばれ、若者が活躍することが持続していくまちの実現に取り組みます。	市民局	P46
まちづくり支援専門家派遣事業	地域の方が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を生かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりの専門家を派遣することにより、専門的なアドバイスや情報提供などを行います。	都市整備局	—
宮城地区西部活性化事業	作並・新川地区や青野木・大倉地区など宮城地区西部において、地域の取り組みが円滑に進むよう活動を後押しするとともに、新たな地域の担い手の発掘と育成、町内会などの活動力の強化、地域内外の市民団体や企業などとの連携のコーディネートを通じて、地域の総合的な活動力の向上を図ります。	青葉区	P48
みやぎの地域づくり支援事業	多様な主体の連携による地域づくり活動を支援するため、情報共有・課題検討を行う勉強会や、実践活動につながるワークショップの開催などをサポートします。	宮城野区	—

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
若林まちみがき推進事業	若林区において、主体的に課題や魅力を掘り起こし行動していく元気で活力ある地域を育むため、町内会組織などの活動主体に対する、本市が保有する情報の公開や、地域団体・事業者など多様なプレイヤーとの協働に向けた支援、能動的に地域に関わっていく人材の育成など、地域力の育成・向上に向けた伴走型支援を進めます。	若林区	－
「小さくても未来へつながる連携」促進事業	太白区において、複雑化・高度化する地域課題を解決するため、課題の発掘や解決の支援を行い、異業種・多分野の実践的・創造的な連携を図り、新たな価値を創出します。また、事例を紹介するリーフレットを制作し、市民・企業などに周知することで連携のプロセスの可視化・共有化を図ります。	太白区	P45
生出地区活性化事業	生出地区において、生出地区まちづくり委員会の農業などを基軸とした活動について、大学などとの連携により活動を支援します。また、坪沼地区において、市民農園などの活用により主体的に課題解決に当たっている地域諸団体の活動を継続的に支援します。	太白区	P48
秋保地区活性化事業	秋保地区において、地域団体などと連携し、豊かな自然や歴史などの地域の魅力を活かした交流活動や情報発信を支援するとともに、農産物の特産品化や地域の産直活動を支援するなど、観光振興による地域経済の活性化を図ります。	太白区	P49
泉区西部活性化事業	泉西部地区において、課題の共有や解決策の検討などを目的とした泉西部地区まちづくり懇談会を実施するとともに、課題解決に向けた取り組みを支援します。また、泉西部地区の情報発信を行い、当該地区の認知度向上や交流人口の拡大を図ります。	泉区	P49

## 6 健康・医療

### (1) ライフステージに応じた健康づくりを推進する

一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65
食育推進事業	「仙台市食育推進計画」に基づき、家庭・地域・学校・職場など、暮らしの場で多様な機関が主体となり、それぞれの特徴を生かしながら総合的に食育を推進します。	健康福祉局	－
歯と口の健康づくり推進事業	「いきいき市民健康プラン」に基づき、生きる力を支える歯と口の健康づくりを推進するため、関係団体・機関などと連携し、市民一人ひとりが自身の歯と口の健康づくりに積極的に取り組む環境づくりに取り組みます。	健康福祉局	－

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
六郷地区の健康づくり推進事業	六郷地区において、地区組織や地域の活動団体、大学などの関係機関との連携を強化・拡充し、地域協働のもと、豊かな自然によって育まれてきた魅力や地域資源、生活文化などを生かした体験型の健康づくりや啓発を実施します。	若林区	P66

## (2) 心の健康づくりを推進する

自殺対策事業	誰も自死に追い込まれることのない仙台の実現を目指し、「仙台市自殺対策計画」に基づき、事業の実施状況や課題を把握するとともに、毎年度計画に基づく取り組みの評価・検証を行い、必要な改善を図ります。また、自殺対策連絡協議会において、関係機関・団体の取り組みを共有し、連携強化を図り、効果的な自殺対策を推進します。	健康福祉局	P38
精神科救急システム整備推進事業	心の問題や精神疾患を抱える市民が安心して生活できるよう、宮城県との協働による24時間365日体制の宮城県精神科救急システムを整備します。また、仙台市立病院を中心とした、身体疾患と精神疾患を併せ持った救急患者を受け入れる体制を整え、宮城県精神科救急システムとの機能分担や相互補完を図ります。	健康福祉局	—

## (3) 医療・救急体制を整備する

救急医療体制整備事業	安定した救急医療体制を確保するため、当番日などに救急患者の受け入れ体制を確保している医療機関に対して補助金の交付を行います。また、祝休日の小児科・整形外科の診療所を休日当番医に指定し診療を実施します。	健康福祉局	—
感染症対策事業	世界的大流行を起し、急速にまん延し重篤化する恐れのある感染症に対しては、市民一人ひとりが適切な感染予防対策がとれること、必要な医療が提供されることが重要であり、予防接種の勧奨を含めた市民啓発及び感染症医療体制の確保に向けた取り組みを推進します。	健康福祉局	—
市民ニーズに対応した救急体制推進事業	救急車を必要とする市民ニーズに対応するため、救急要請が特に多い日中時間帯に運用する「(仮称) デイタイム救急隊」を導入するとともに、病院選定時間と搬送時間を短縮させるための各種システムの安定運用を行います。また、市民が救急要請を行う判断の一助となるよう救急車適正利用の広報・啓発を実施します。	消防局	P24
救急高度化推進事業	救急活動の質的向上のため、メディカルコントロール体制の充実や救急救命士の養成などに取り組むほか、救急隊員の育成・研修を実施します。また、救命効果の向上のため、高度救命資器材の計画的な整備を実施します。	消防局	—
市民による応急救護技術向上促進事業	救命効果を向上させるため、居合わせた市民が心肺蘇生法やAEDの使用などの応急手当を適切に実施できるよう、各種団体への受講促進や小学校上学年や中学生を対象とした救命入門コースの実施、市民自身が指導者となり応急手当の指導ができる環境整備を図ります。	消防局	—

## (4) 新興感染症対策を推進する

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
新型コロナウイルス感染拡大防止事業	世界中で猛威を振るい、本市の市民生活と地域経済にも深刻な影響をもたらしている新型コロナウイルス感染症に対し、医療機関のネットワーク強化や医療提供体制の整備を行うほか、市内の患者発生状況等を正確に発信するとともに、ワクチン接種の円滑な実施に取り組みます。	健康福祉局	P21

## 7 安全・安心

### (1) 地域の安全対策を推進する

地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	—
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	—
消費生活安全・安心推進事業	消費者が安全に安心して暮らせる社会及び消費者市民社会を実現するため、消費生活の安全・安心の確保、消費者教育・啓発の推進、消費者被害の防止及び救済、高齢者など特に配慮を要する消費者への対応、多様な主体との連携の推進の5つを柱に、各施策の方向性を定め、取り組みを推進します。	市民局	—
食の安全確保推進事業	食品関係施設の監視や事業者への自主衛生管理の支援、流通食品の検査を実施することで、事業者が安全な食品を消費者に提供できるよう取り組みます。また、仙台市食品安全対策協議会における審議や市民との意見交換を踏まえて食品衛生監視指導計画を毎年度策定し、計画的に実施するとともにその結果を公表します。	健康福祉局	—

### (2) 安全・安心な生活基盤をつくる

霊園整備事業	市民に安定した墓地の供給を行うため、いずみ墓園の整備と貸し出しを行います。また、北山霊園、葛岡墓園については、施設の安全対策と修繕・更新などの再整備を計画的に実施し、返還された墓所の再貸し出しを行います。	健康福祉局	—
人と動物の共生の推進事業	「仙台市人と猫との共生に関する条例」に基づき、飼い猫の適正飼養と地域猫活動に関する知識などについて普及啓発の取り組みを進めるとともに、仙台市動物愛護行政の基本指針に基づくアクションプランを毎年度策定し、市民の理解促進を図ります。	健康福祉局	—
衛生研究所庁舎建替事業	老朽化の著しい衛生研究所庁舎について、建て替えによる再整備を行うことにより、公衆衛生と環境保全に係る試験研究業務を担う施設としての機能強化を図ります。	健康福祉局	—
鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備事業	老朽化した市営住宅の建て替えにより居住環境の改善を進めるとともに、住棟の集約などにより発生する土地について、地域にふさわしい新たな土地利用の誘導を図ります。	都市整備局	—

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
分譲マンション管理等支援事業	分譲マンションの管理組合運営や建物の維持管理などに関する情報提供、相談対応などの各種支援を行うことで、分譲マンション管理の適正化を推進し、良好な居住環境の確保を図ります。	都市整備局	－
住宅政策推進事業	市民が安全に安心して住み続けることができ、健康で快適な暮らしを実現するため、子育て世帯の住み替え支援や既存住宅ストックの活用促進など、各種住宅政策を総合的に進めます。	都市整備局	－
市営住宅ストック改善事業	既存の市営住宅などについて、建物・設備の点検状況などを踏まえ、外壁・屋上防水改修のような建物の長寿命化に資する改善事業を計画的に実施するとともに、入居者に対する福祉対応としてバリアフリー化を進めます。	都市整備局	－
地域生活道路等整備事業	市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－
道路施設長寿命化修繕事業	各道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、維持管理費のコスト縮減と平準化を図りながら、橋梁、トンネル、横断歩道橋などの道路施設について、計画的・予防保全的な修繕を行います。	建設局	－
公園施設総合改修事業	「仙台市公園マネジメント方針」に基づき、長期的な視点に立ち、計画的・効率的な施設の更新に向けた公園施設総合改修計画の策定・運用を行い、持続可能な公園運営に取り組み、公園の価値の維持と向上を図ります。	建設局	－
河川管理施設等長寿命化・保全事業	仙台市内の重要な河川について、長寿命化・保全計画を策定し、維持管理費のコスト縮減と平準化を図りながら、対策工事を実施することで河川流域の安全性を確保します。	建設局	－
下水道事業アセットマネジメントシステム改善事業	「仙台市下水道マスタープラン」を着実に推進するための仕組みとして位置づけられている仙台市下水道事業アセットマネジメントシステムについて、さらなる改善を図ります。	建設局	－
下水道改築更新事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる生活環境維持の方針に基づき、アセットマネジメントシステムを用いて老朽化リスクの評価や、リスクの高い下水道施設の優先的な改築更新を実施することにより、下水道施設の機能維持と向上を図ります。	建設局	－
污水处理施設整備事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる水環境保全の方針に基づき、生活環境の改善と公共用水域の水質改善を図るため、全戸水洗化を目指し、污水施設整備と水洗化の促進に取り組みます。	建設局	－
消防団充実強化事業	「消防団活性化五ヶ年計画」に基づき、消防団員が長く活躍できる環境を整備するとともに、消防団の魅力や地域への理解を深める広報活動の重点的な展開、消防団員が安全に活動するため資機材の充実などを図り、消防団員の入団を促進します。	消防局	P23
消防団活動拠点等整備事業	消防団の活動拠点である機械器具置場の建設や改修のほか、小型動力ポンプや簡易救助資機材などを積載した小型動力ポンプ付積載車の更新を図り、近年増加傾向にある大雨災害や台風災害などをはじめ、大規模化・多様化する災害などに的確に対応できる体制を整備します。	消防局	－

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
総合的消防力整備事業	多様化する災害から市民を守り、安全・安心を確保するため、消防施設の計画的な大規模改修などによる機能向上を進めるとともに、消防車両の計画的な更新・整備などを行い、総合的な消防力の充実強化を図ります。	消防局	－
地域密着で取り組む火災の無いまちづくり事業	婦人防火クラブと連携しながら、地域密着型の防火対策や防火防災意識の普及啓発を図るとともに、将来、地域における防火防災を担う人材となりうる幼児・児童を対象として、防火防災に関する指導育成を行い、火災の無いまちづくりを推進します。	消防局	P24
火災予防対策推進事業	火災件数のさらなる減少と被害の軽減を目指し、住宅防火対策と事業所における自主防火管理を推進し、火災予防対策の充実強化を図ります。	消防局	－
災害活動能力充実強化事業	災害活動能力の向上を図るため、仙台市荒浜訓練場に街区訓練施設などの実践的な訓練施設を整備するとともに、消火活動をより安全で効果的に実施するため、必要な資器材を計画的に整備します。	消防局	P24
危険物等事故防止対策事業	事故により重大な社会的影響が生じる可能性が高い危険物・高圧ガスなどの施設について、関連事業者などと連携し、火災や漏洩など事故防止対策を推進するとともに、石油コンビナート特定事業所に対し震災対策などの指導を実施します。また、新たなエネルギーの技術革新に対応できる体制を強化します。	消防局	－
多様化する119番通報対応事業	多様化する119番通報に迅速・的確に対応するため、聴覚や言語機能に障害のある方からの通報に備えるNET119緊急通報システムや、多言語の通報に備える三者間通訳サービスなどを適切に運用します。	消防局	－
消防ヘリコプター安全運航体制強化事業	ヘリコプター操縦士の技術向上や不測の事態発生時の緊急対応能力を向上させるため、シミュレーターを活用した研修訓練を継続的に実施します。また、災害活動時の個人装備品や飛行時の安全装備品の整備を図るとともに、平時には各種規定の不断の見直しや各種訓練を継続的に実施することで、技術の維持向上を図ります。	消防局	－
水道施設アセットマネジメント事業	アセットマネジメント手法により、水道局が保有する資産を客観的に把握・評価するとともに、中長期的な資産の状態を的確に見据え、これを基に適切な維持管理・更新を行うことで、施設と管路のライフサイクルコストを縮減します。	水道局	－
浄水場統合推進事業	稼働開始から約60年を迎え、老朽化が進行した国見浄水場の更新時期に合わせて、国見浄水場と同様に大倉ダムを水源とし、耐震性に課題のある中原浄水場との統合更新を進めます。	水道局	P87

# III

## 学びと実践の機会があふれるまちへ

### 8 教育

#### (1) 個性と社会性を育む

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
仙台自分づくり教育推進事業	仙台版キャリア教育である仙台自分づくり教育を推進するため、調査研究、社会的・職業的な体験活動の実施、社会人講師の学校への派遣、たくましく生きる力の素地となる知恵や態度を育成する事業を行います。	教育局	P52
魅力と活力ある高校教育・中高一貫教育推進事業	市立高等学校・中等教育学校が魅力と活力ある学習の場となり、特色ある学校づくりを推進するため、一定数のタブレットの各校への導入によるICT教育の充実や、市立全校における通級指導の推進、校務支援システムの導入による教職員の業務の軽減などに取り組みます。	教育局	—

#### (2) 学力と体力を育む

ICT教育推進事業	児童生徒の活動スキル・探究スキル・プログラミング・情報モラルを高めるため、系統的・教科横断的な授業を展開することで情報活用能力の育成を進めるとともに、教員のICTを活用した指導力の向上を図るため、ICT研修の充実、授業づくりの支援を実施します。	教育局	P51
新学習指導要領を踏まえた教育の充実事業	小学校・中学校における新学習指導要領の全面実施を受け、新たな教育活動である外国語教育やプログラミング教育などに取り組むため、各学校へのALTの派遣による研修やプログラミング教材の導入など各学校に対して支援を行います。	教育局	P51
確かな学力育成事業	児童生徒の確かな学力の確実な定着を図るため、「仙台市確かな学力育成プラン2018」に基づき、児童生徒の学力、生活・学習状況を的確に把握するとともに、指導手法・指導体制の充実のための施策と、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣定着のための施策を体系的に実施します。	教育局	P52

#### (3) 安心して学べる環境をつくる

いじめ防止等対策推進事業	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図るため、学校の対応力強化や相談窓口による支援の充実など各般のいじめ防止等対策を、施策の検証による不断の見直しを行いながら、関係機関と連携して総合的に推進します。また、社会全体で子どもたちをいじめから守る意識の醸成を図るための取り組みを実施します。	子供未来局 教育局	P37
たいはく思春期のいのちの授業	思春期を取り巻く関係機関とのネットワークの構築と中学生等への授業を通して「いのちの大切さ」の啓発活動を行います。	太白区	—
35人以下学級推進事業	教員が児童一人ひとりとより丁寧に向き合い、少人数によるきめ細かな指導を行っていく体制を構築するため、小学校における35人以下学級を拡充します。	教育局	P53
学校における働き方改革推進事業	教職員の多忙化を解消するため、教職員以外が担うことができる業務の整理や業務の効率化、教員の指導体制の充実を図り、学校における働き方改革を推進します。	教育局	P53

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
命を大切にする教育推進事業	たくましく生きる力を土台とした社会的自立を実現するため、全小学校・中学校において仙台版命と絆プログラムを活用しながら授業実践を行うとともに、検証・改善を行い、命を大切にする教育が円滑に展開されるように支援します。	教育局	P39
夜間中学設置推進事業	教育機会確保法により、学齢期を経過した者で学校での就学の機会が提供されなかった方々に対し、地方公共団体に夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずるとされたことを踏まえ、夜間中学設置に向けて検討します。	教育局	—
不登校対策推進事業	学校における不登校の未然防止や早期発見・早期対応を推進するため、不登校児童生徒の個々の状況に応じた環境づくりや適切な支援に向け、適応指導センターや適応指導教室、在籍学級外教室の取り組みを推進するなど、様々な視点から、家庭と学校・関係機関などの連携に取り組んでいきます。	教育局	P53
特別支援教育推進事業	障害のある児童生徒の学びと育ちを保障するため、補助員や支援員、看護師の配置などを行うとともに、共生社会の実現を目指し、児童生徒の社会性や豊かな人間性を育むための取り組みを実施します。また、学習環境の整備、学校での支援体制、授業や指導の充実を図ります。	教育局	P54
学校教育施設整備事業	子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。	教育局	—
学校給食センター整備事業	児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、老朽化した学校給食センターについて、厨房機器などの計画的な更新や施設調査に基づく改修などを進めます。	教育局	—

#### (4) 地域とともに学校をつくる

放課後児童クラブ推進事業	「仙台市すこやか子育てプラン」に基づき、小学校就学児童が放課後などを安全・安心に過ごすことができる居場所の確保を図るため、放課後児童クラブの計画的な整備などを推進するとともに、放課後子ども教室と連携し、放課後対策事業の充実を図ります。	子供未来局	P55
コミュニティ・スクール推進事業	学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携・協働しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55
学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55
地域学校協働活動推進事業	地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びを支えるため、関係者同士で顔の見える関係づくりと協働に向けた意識啓発を行うとともに、コミュニティ・スクールと連動する仕組みづくりを行います。また、地域学校協働活動の啓発を行い、学びを通じた地域づくりを目指します。	教育局	P55

## 9 子育て

### (1) 子育てを切れ目なく支援する

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56
子育てに関する情報発信充実事業	子育て情報に関するポータルサイトとスマートフォン向けアプリケーションの運用や機能の拡充により、本市における子育てに関する情報を必要とする人に効果的に発信します。	子供未来局	P59
子ども・子育てに関するオンライン等相談事業	子育て・家庭・親子関係や妊娠などの悩みを抱える方が、気軽に相談できるよう、SNSを活用した相談窓口を開設するとともに、対面・来所によらないオンラインを活用した保健指導に取り組むなど、各種相談・情報提供体制の充実を図ります。	子供未来局	P57
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57
子ども医療費助成事業	所得制限を満たす世帯を対象に、各種健康保険に加入している子どもに係る医療費のうち、保険診療による自己負担額から利用者一部負担金を除いた額を助成するとともに、より幅広い子育て家庭の経済的負担を軽減するため、所得制限の基準額を引き上げます。	子供未来局	－
児童館整備・運営事業	小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。	子供未来局	P57
子育て家庭相談支援事業	授乳、離乳食、身体の発育、子どもの性格、しつけ、病気など、子育ての悩みや不安に対し、安心して子育てができるように、電話、来所・訪問面接、メールで相談に応じるとともに、市民セミナーや広報紙などを通じて子育てに関する情報の周知を図ります。	子供未来局	－
保育士等人材確保推進事業	保育士不足を解消するため、保育士として就職・復職を希望する方を対象とした就職説明会や保育士リターンセミナーを実施するほか、各種補助金による経済的な支援により保育士などの処遇向上と労働環境の改善を図ります。	子供未来局	P58
保育所等による地域子育て支援事業	地域の子育て家庭を対象に、子育て親子の交流の場の提供や交流の促進、子育てに関する相談や援助などを行うとともに、保育士が直接家庭を訪問して子育てに関する相談に応じるなど、子育て家庭への支援の充実を図ります。	子供未来局	－
保育施設・幼稚園における保育の提供体制充実事業	保育基盤が不足する地域に保育所などを整備するとともに、幼稚園などから認定こども園への移行や幼稚園における保育機能と保育提供体制の充実を図ります。	子供未来局	P58

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
多様な保育サービス充実事業	保護者の就労形態などの多様化に対応するため、延長保育、休日保育、障害児等の保育、病児・病後児保育及び多胎児家庭への支援を含めた一時預かりなどの充実を図ります。	子供未来局	－

## (2) 子どもたちの地域生活を守る

子どもの居場所づくり推進事業	生活困窮世帯の子どもたちが安心して過ごせるよう、子どもたちが適切な生活習慣を習得し、健全に成長することができる環境をつくとともに、身近な支援者を得ることができる仕組みと場づくりを進めます。	子供未来局	P38
青少年自立促進事業	青少年の社会的自立を支えるため、青少年の様々な悩みや子どもの問題行動など各種相談に応じるとともに、日中の居場所の提供や就学・就労に向けた支援など困難を抱える青少年のための支援活動を行います。また、その時期に対応したテーマで、青少年に関するセミナーを開催します。	子供未来局	P36
児童生徒の安全確保事業	学校防犯巡視員である「仙台・まもらいだー」が、通学路や学校周辺を巡回し、安全体制の点検や指導、児童生徒の見守り活動を行うとともに、保護者や地域住民で組織する学校防犯ボランティア防犯巡視員の育成を図ることにより、児童生徒の安全を確保します。	教育局	－

## (3) 障害のある児童等を支える

就学前療育支援体制整備事業	就学前に療育が必要な児童を支援するため、児童発達支援センターに地域相談員を配置し、地域における相談支援や保育所・幼稚園の訪問支援などを行います。また、支援機関につながっていない保護者を対象にペアレント・プログラムを実施するほか、保育所などに在籍している親子に、児童発達支援センターで併行通園を実施します。	健康福祉局	P33
発達障害児者支援体制整備事業	発達障害児者とその家族が安心して地域で生活できるよう、相談支援体制や家族支援などの充実、教育と福祉など関係機関の連携を推進するとともに、地域支援機能を強化し、地域の支援力向上を図ります。	健康福祉局	P34

## (4) 子育てを応援する社会をつくる

子どもの遊びの環境充実事業	令和2年度に実施した子どもの遊びの環境に関する調査・研究の結果を踏まえ、実証実験を行うなど、遊びの環境の充実を図ります。	子供未来局	P59
子ども・子育てを応援する各種プロジェクト展開事業	子育て支援団体や地域団体、企業などの多様な主体間の連携のもと、子育てしやすいまちづくりを進める枠組みを構築し、地域社会全体で子ども・子育てを応援する機運の醸成を図るとともに、各種プロジェクトの企画・実施など、具体的な取り組みを展開します。	子供未来局	P59
企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業	仕事と子育ての両立が可能なワーク・ライフ・バランスの実現を図るため、仕事と子育ての両立支援や若手社員が自身のライフプランについて考えるセミナーの開催、リーフレットによる啓発など、企業などに両立支援の普及啓発を図ります。	子供未来局	－

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
絵本を通じたふれあいの機会づくり事業	読書を通じて子どもの健全な発達や子育て支援を図るとともに、乳幼児期から読書への親しみを育むため、絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりについて検討を進めます。	子供未来局 教育局	－
子育て推進ネットワーク事業	のびすく、保育所、児童館等の子育て支援機関、子育て支援活動をしている市民団体やボランティア区民等との有機的なネットワークを構築するとともに、子どものすこやかな成長と、子育て家庭が孤立せず、安心して子育てできる環境づくりを目指し、若林区の子育ての実情に応じた効果的な支援を企画し実施します。	若林区	－

## 10 学び

### (1) 文化芸術に親しめる環境をつくる

文化センター整備事業	市民交流の促進と地域文化の振興を図るため、市民の地域活動と文化芸術活動の場である文化センターの計画的な改修を行います。	市民局	－
国際交流事業	国際姉妹・友好都市などとのつながりを通じて、市民が国際文化に触れることができる機会の創出を図るとともに、市民による自発的な国際交流活動の支援を行うことで、国際理解と多文化共生の理解を促進します。	文化観光局	－
文化芸術によるまちの魅力づくり事業	文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるとともに、楽都・劇都としての都市の魅力を高め、交流の拡大につなげます。	文化観光局	P61
音楽ホール整備事業	音楽の都・楽都としての魅力をさらに高め、文化芸術振興の中核拠点となる音楽ホールの整備に向けて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を見極めつつ、幅広い市民、団体等の意見を伺いながら検討を進めます。	文化観光局	P61 P83
せんだい・アート・ノード・プロジェクト	文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるため、せんだいメディアテークを核に、現代アートの持つ発見性、吸引力、発信力を取り込みながらアートプロジェクトを展開し、まちの魅力と人々の活気を引き出します。	教育局	P17 P62

### (2) スポーツを楽しめる環境をつくる

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、ホストタウン相手国の事前キャンプを受け入れるとともに、利府町でのサッカー競技開催に向けた協力や、大会の応援機運を醸成する取り組みを行います。また、大会を契機に、スポーツを支える人材の育成や障害者スポーツの振興と裾野の拡大を目指します。	健康福祉局 文化観光局	－
国際スポーツイベント等の開催・招致事業	仙台国際ハーフマラソンなどの国際スポーツイベントや全国規模の大会を招致・開催し、優れた競技スポーツの観戦機会を提供することで、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。	文化観光局	P76
スポーツ施設大規模修繕・改修事業	市民のスポーツ活動の振興に資するサービスを継続的に提供するため、仙台市体育館をはじめとしたスポーツ施設の長寿命化、大規模修繕、大規模改修を計画的・効率的に実施します。	文化観光局	－

### (3) 学びを楽しむ環境をつくる

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
八木山動物公園総合整備事業	八木山動物公園の利用者の満足度向上や、学習施設としての機能充実、希少動物の繁殖・導入、イベントの一層の充実を図ります。また、施設長寿命化再整備計画に基づき、老朽化が著しい園内施設の長寿命化対策と併せ、動物園の魅力アップのための再整備を推進します。	建設局	－
ミュージアム連携事業	多面的な学びの機会をつくるため、市内のミュージアム17館がネットワークを形成する仙台・宮城ミュージアムアライアンスにおいて、連携事業などに取り組むとともに、各館が持つ知識や手法を集積し、単独館では実施困難な事業を展開します。	教育局	P61
仙台北城跡整備推進事業	歴史と趣を感じる城郭らしい景観と、来訪者が学びを楽しむことのできる環境を実現するため、城郭全体の景観を整備することで、歴史的な背景を踏まえた城郭内外からの眺望を実現します。また、発掘調査成果に基づく登城路整備を行うとともに、大手門の復元を目指し、関連する基礎調査と周辺部を含む範囲での発掘調査を実施します。	教育局	P12 P62
陸奥国分寺跡・国分尼寺跡整備事業	国の史跡である陸奥国分寺跡・国分尼寺跡を恒久的に保存するため、土地の公有化を進めると同時に、実態解明に至っていない場所の計画的・継続的な発掘調査を行います。	教育局	－
郡山遺跡整備事業	多賀城以前の陸奥国府と考えられ、全国的にも最古段階の重要な地方官衙（役所）跡として国史跡に指定されている郡山遺跡について、土地の公有化を進めるとともに、実態解明に至っていない場所の計画的・継続的な発掘調査、整備計画の策定に向けた準備を進めます。	教育局	－
博物館改修事業	「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき、博物館の長寿命化を図るとともに、機能の充実と利用者の満足度向上を目的として、施設の大規模改修工事を行います。	教育局	－
科学館展示リニューアル事業	科学館の展示について、科学の原理・法則の理解を中核に据えつつ、科学と暮らしとのつながりを分かりやすく伝えるとともに、自然に対する理解と愛情を育めるようにリニューアルを進めます。また、学校などの要請に応えた理科教育への貢献や、科学的な視点からの防災・減災教育の充実を図ります。	教育局	－
電子図書館サービス導入事業	新型コロナウイルス感染症をはじめとする不測の事態に柔軟に対応し、非来館型サービスの充実に取り組むため、小説や実用書、児童書などについて、インターネットを活用して貸出などに取り組むことで、読書環境の一層の整備を図ります。	教育局	P62

### (4) 学びを地域づくりに活かす

公文書館整備事業	保存期間が経過した公文書から歴史資料として重要な公文書を選別・保存し、広く市民に公開するため、旧貝森小学校校舎を公文書館に改修するとともに、収蔵資料を検索するためのシステムを構築し、開館と同時に供用できるよう整備します。また、公文書館事業を周知啓発するため、展示企画の検討を行います。	総務局	－
学都推進事業	地域や市民に大学などの高等教育機関の知的資源を還元する学都を目指すため、大学・市民・企業・行政など、幅広い領域での連携の推進・学都の魅力の発信を図るとともに、学都仙台コンソーシアムに運営補助金を交付することで活動を支援します。	まちづくり政策局	－

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
学生の参加による地域づくり推進事業	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげます。	青葉区	P46
みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業	次代を担う若手人材の育成を目的として、セミナーやワークショップ開催等を通じたまちづくりの知識やノウハウの蓄積を図るとともに、地域の若手同士の交流の機会を創出し、ネットワークづくりを促進します。	宮城野区	P47
わかばやし地学連携推進事業	令和5年4月に開設される東北学院大学五橋キャンパスと、土樋キャンパスに集う約11,000人の学生等を核として、地域や企業との多様な連携・協力、地域と共生する大学づくりの取り組みを支援するとともに、地域の課題解決や経済の活性化を推進します。	若林区	P47
たいはく若者まちづくりフォーラム事業	太白区において、太白区まちづくり推進協議会との共催事業として、若者のまちづくりに対する意識の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成及び地域のまちづくり活動を推進します。	太白区	P47
大学連携地域づくり事業	地域課題の解決や活力ある地域づくりを進めるため、泉区内及び近隣の計6大学、泉区まちづくり推進協議会、泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、大学が地域と連携して取り組む地域づくり活動を支援します。	泉区	P47
市民センターによる地域づくり支援事業	市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにとともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64

## IV 創造性と可能性が開くまちへ

### 11 経済

#### (1) 新たなビジネス展開を支える

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
国家戦略特区推進事業	国家戦略特区の枠組みも活用しながら、ドローンや自動走行など近未来技術を活用する可能性を探るため、民間企業などとの連携のもと実証実験を行います。また、仙台市近未来技術実証ワンストップセンターにおける民間企業などへの支援を通じ、さらなる近未来技術実証の取り組みの促進を図ります。	まちづくり政策局	P69
クリエイティブ産業振興事業	クリエイティブ産業と他産業の融合・連携を通じ、地域企業の高付加価値化、新たな価値の創造につながるビジネスの創出、地域課題の解決などを推進し、クリエイティブ産業の集積と地域経済の活性化を目指します。	経済局	—
成長産業振興事業	産学官金連携の枠組みを活用し、AIやIoT、ロボットなどの先端技術と、今後市場の拡大が見込まれる健康福祉、農林水産業、防災分野などとの融合による新事業創出を推進するとともに、ICT産業の振興や高度ICT人材の育成・確保に取り組み、地域経済の活性化を図ります。	経済局	P20 P70
ウェルビーイング産業振興事業	健康福祉など生活をより良くする産業であるウェルビーイング産業を振興し、地元中小企業に多くの事業機会を創出します。また、介護業界とICT業界の融合によるCare Tech産業振興、医療業界とICT業界の融合によるHealth Tech産業振興に取り組み、新産業創造、雇用創出を図ります。	経済局	P66
次世代放射光施設関連産業振興事業	仙台・東北の産業のイノベーションや付加価値を創出し、地域経済への波及効果を最大限に生み出すため、次世代放射光施設整備への支援を行うとともに、当該施設を中核として研究開発拠点や関連企業の立地・集積の促進を図ります。また、仙台・東北の企業による利活用促進に向けた普及啓発を進めます。	経済局	P70
起業支援事業	仙台・東北の人々が経済的・精神的豊かさを実感できる未来を目指し、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や、社会的課題に対して持続可能な解決策に挑戦する社会起業家の育成に重点的に取り組むとともに、起業の裾野の拡大と起業後のフォローアップを行います。	経済局	P71 P80
企業立地促進事業	地域経済への波及効果が高い企業などの誘致を進めるため、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを実施します。また、企業の仙台市への新規投資を促進するため、事業所の設置や設備更新などを行う企業に対して、助成金を交付します。	経済局	P70 P80

#### (2) 中小企業の経営力を強化する

経済産業政策推進事業	地域経済の持続的発展のため、仙台市中小企業活性化条例に基づき、中小企業の活性化に向けた施策を検討・実施するとともに、地域経済を牽引する地元中小企業への集中支援や、社会的課題解決・魅力的な職場環境づくりに取り組む地元中小企業の表彰・紹介など、地域経済の成長に資する各種取り組みを実施します。	経済局	P69
------------	--	-----	-----

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
地元企業成長促進事業	地元企業の成長を促すため、成長・拡大を志向する中小企業をターゲットとして、人材の育成や新規事業の創出支援、業務の効率化、商品企画から販路開拓までの一連の支援などを通じた稼ぐ力の醸成などの各種支援を実施します。	経済局	P72
人材確保定着・雇用対策事業	地元中小企業や地元就職などの魅力を効果的に発信し、若者などの地元定着・UIJターン就職を促進し、中小企業の多様な人材の確保を支援します。また、雇用のミスマッチ解消と職場定着を図るため、若者などと地元企業をマッチングさせる各種就業支援施策を実施します。	経済局	P72
中小企業経営基盤強化事業	中小企業の経営安定化と強化、生産性向上などに向けて、中小企業の課題解決や経営革新の支援を行うとともに、事業承継、事業継続力強化といった組織制度に関する課題に対しても支援を実施します。	経済局	P72
ものづくり産業支援事業	他産業への波及効果が大きいものづくり産業の振興を図るため、企画、製品開発、販路開拓の各段階において、中小企業に不足する人材、情報の提供などを行います。	経済局	－
商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業	市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	－
中小企業金融支援事業	中小企業者などを対象とした長期・低利の融資制度を運営することにより、資金面から経営支援を行い、地元中小企業者などの資金調達を円滑化することで、経営の安定と事業の発展を支援します。	経済局	－
国際経済交流事業	市内企業の海外市場開拓を支援するため、オンラインセミナーやオンライン商談会、仙台－タイ経済交流サポートデスクによるテストマーケティング・出張の代行、ジェトロ海外拠点などの利活用促進に取り組みます。	経済局	－
市場施設充実強化事業	仙台市中央卸売市場の再整備に向けて、本場と花き市場の現状・課題を取りまとめ、将来の市場のあり方と再整備計画について検討を進めます。	経済局	－

### (3) 多様な人材が活躍できる環境をつくる

働く女性の活躍推進事業	働く女性を対象としたセミナー・交流会の開催や、女性管理職・役員候補育成プログラムの実施などにより、働く女性のキャリアアップとネットワークづくりを支援するとともに、企業の経営者層や管理職を対象としたセミナー開催などを通じて、地元企業などにおける女性の活躍、女性の管理職登用を促進します。	市民局	P63
障害者就労支援体制整備事業	障害者が生きがいや働きがいのある生活を送ることができるよう、多様な就労の場の創出や就労支援に向けた普及啓発、就労支援ネットワークの推進などを通じて、障害者就労支援体制の充実を図ります。	健康福祉局	P63

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
高齢者社会参加・生きがいがづくり促進事業	高齢者が知識や経験、能力を生かすとともに、知識や経験などの有無に関わらず元気に活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供や、高齢者への就労支援、ボランティア活動、地域活動などへの支援など、高齢者の生きがいがづくりや社会参加の取り組みを進めます。	健康福祉局	P64

#### (4) 農林業を振興する

農食ビジネス支援事業	6次産業化や農商工連携の拠点となる施設を活用しつつ、新たな取り組みへのチャレンジを支援するほか、様々な主体の取り組みを一体的に情報発信することで、仙台湾産農産物の地産地消の機会の創出を図ります。	経済局	P73
農地保全対策事業	農業の持つ多面的機能の維持・発揮のための活動支援により、地域農業の継続的発展と新たな耕作放棄地の発生抑止を図ります。また、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害の軽減を目的として、地域ぐるみの効果的な防除対策を推進するとともに、捕獲対策の強化・拡充を図ります。	経済局	—
農業経営体育成支援事業	「仙台湾地域農業基盤強化プラン」により、担い手や地域の将来のあり方を明確化し、認定農業者、新規就農者、女性農業者、農業法人など多様な担い手の支援を行います。また、農地中間管理事業などを活用した担い手への農地の集積・集約化や、収益性の高い水田農業の確立と農業経営の安定、生産力の強化を図ります。	経済局	P73
農業収益向上推進事業	環境保全型農業や園芸作物の栽培などを促進し、消費者ニーズに対応した魅力ある安全・安心な農産物として売れるものづくりを進め、農業所得の向上を図ります。	経済局	—
農業生産基盤整備事業	農地の集積・集約化を促進し、経営規模の拡大・経営合理化による収益性の高い農業の実現・経営の安定化に資するため、農地の大区画化を主体とした基盤整備を推進します。	経済局	P74
森林整備活用事業	私有林を含めた森林の適切な経営管理と維持管理を行うため、森林経営管理制度の運用に向けた森林の調査、林地台帳の精度向上などを実施するとともに、森林と林道の整備・維持管理を推進します。また、育樹祭など市民参加によるイベントを通して、市民と森林・林業と接する機会を創出します。	経済局	—
農業用施設長寿命化事業	農業用施設のライフサイクルコストの低減と効率的な保全管理を推進するため、劣化状況などの現状調査を行い、長寿命化を含めた整備計画を作成するとともに、補助事業を活用し計画的な施設改修などを行います。	経済局	—

## 12 観光

### (1) 観光資源を充実させる

まつり等開催支援事業	交流人口のさらなる拡大を図るとともに、地域経済の活性化を図るため、仙台湾七夕まつり、仙台湾・青葉まつり、SENDAI光のページェント、七夕花火祭、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつりの開催を支援し、観光客の誘致を図ります。	文化観光局	P76
------------	--	-------	-----

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
仙台観光魅力創出事業	観光やビジネス等で仙台市を訪れる来訪者の滞在時間延長や消費につなげるため、伊達文化をはじめとする歴史・文化や自然のような、様々な仙台の魅力を生かした体験プログラムなど、新たなコンテンツの発掘・創出と発信を進めます。	文化観光局	P76
西部地区観光振興事業	温泉や自然、工芸など西部地区ならではの観光資源を生かした体験プログラムを発掘・創出し、効果的な魅力発信を行うことにより、西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。	文化観光局	P77
受入環境整備事業	るーぶる仙台や二次交通など来訪客が安心・快適に過ごせる滞在環境を整備することにより、観光客の満足度の向上とリピーター客の増加を通じた観光客の増加を図ります。	文化観光局	－
秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業	秋保大滝周辺では、秋保大滝植物園や大滝れすとはうすを中心とした周遊性の向上に取り組みます。また、二口エリアでは、自然資源やビジターセンターの利用促進、適正な維持管理と情報発信を行うとともに、秋保の観光施設の今後のあり方を検討し、各市有施設の魅力向上と秋保全体の活性化につなげます。	文化観光局 建設局 太白区	P78
秋保地区交流人口拡大事業	秋保地域における交流人口の拡大を図るため、地域づくりを担う人材育成の支援や、地域資源の魅力を創出・発信などとともに、特産のそばを生かした地域ブランド向上、地域おこし協力隊を活用した空き家の利活用による移住促進などに取り組みます。	太白区	P78

## (2) 戦略的なプロモーションを推進する

東北観光推進事業	東北全体の持続的な発展に寄与するため、東北の各自治体などとの連携を強化しながら、東北への誘客と周遊促進に取り組みます。また、東北が有する多様な観光コンテンツ等の魅力を国内外に発信することにより、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。	文化観光局	P74
観光客誘致宣伝事業	観光やビジネスなど様々な目的で仙台市を訪れる方々に対して、効果的に仙台の魅力を発信することができるよう、SNSやウェブサイトによる効果的な情報発信など、多様な顧客ニーズに応じたプロモーションを推進します。	文化観光局	P75
インバウンド推進事業	仙台・東北の観光の魅力を海外に発信するとともに、外国人観光客の受入環境整備や外国人に訴求する観光コンテンツの発掘・磨き上げを行うことで観光地としての魅力を一層向上させ、海外から仙台・東北へのさらなる誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。	文化観光局	P75
MICE推進事業	仙台市のグローバルMICE都市としての魅力について情報発信を行いながら、コンベンションや企業系会議などをターゲットとした誘致セールスに取り組むとともに、MICEの受入環境の充実やMICE参加者の回遊促進に取り組むことにより、長期的な交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。	文化観光局	P75

## 13 都市機能

### (1) 都心まちづくりを推進する

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
定禅寺通活性化推進事業	「杜の都・仙台」の象徴である定禅寺通において、地元関係者などとともに、道路空間再構成やエリアマネジメントの導入なども視野にエリアの将来像を描き、エリアの魅力の創出につながるアクションなどを実施することで、まちなか全体の回遊性を高め、より一層多くの人を魅了する都市を目指します。	まちづくり政策局	P12 P82
市役所本庁舎建替事業	「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進するとともに、新本庁舎における低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体的な利活用や、職員の知的生産性を向上させるための望ましい執務空間のあり方を検討し、本体設計に反映させます。	財政局	P82 P86
中心部商店街活性化促進事業	中心部商店街への来街を促進するイベントを行うほか、定禅寺通や青葉通、肴町公園などの公共空間を活用したまちづくりの取り組みと連携しながら、新たな魅力の創出や回遊性の向上を図ります。	経済局	P82
まち再生・まち育て活動支援事業	地域の実情や特性を生かした魅力的なまちづくりに戦略的に取り組むため、地元の住民や事業者などによるエリアマネジメント活動を支援するとともに、都心における低未利用地の改善方策の検討を行います。	都市整備局	P43 P83
ストック活用型都市再生推進事業	市街地において、にぎわい創出や回遊性の向上を図るとともに、懐の深い都市空間を形成するため、まちづくりのプレイヤーと連携し、遊休不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進するとともに、様々な機会を捉えた積極的な情報発信を行います。	都市整備局	P43 P83
まちなか拠点整備事業	せんだい都心再構築プロジェクトで示した都心機能強化の重点ゾーンとなっている地域などにおいて、新たににぎわいの創出や魅力の向上を図るため、市街地再開発事業などの民間開発を推進します。また、人が中心となったまちづくりの将来イメージの実現に向け、交流人口拡大に寄与する、青葉通の一部広場化に向けた取り組みを進めます。	都市整備局	P80
まちなか建替促進事業	都心部の機能強化と市街地環境の改善を図るため、防災性の向上やにぎわい創出に寄与する、老朽建築物の建て替え事業を推進するとともに、高機能オフィスを誘導します。また、優良建築物等整備事業の活用の推進や、地元が行う事業検討などへの新たな支援策について検討を進めます。	都市整備局	P81
まちなかウォークアップ推進事業	都心において、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を形成するとともに、市民が快適に滞在できるオープンスペースを創出するため、民間事業者などと連携し、国の制度などを活用しながら、公共空間における滞在環境向上に資する事業や、その効果の測定を実施します。	都市整備局	P83

### (2) 広域拠点のまちづくりを推進する

泉区役所建替事業	老朽化した泉区役所庁舎について、市民や周辺事業者などとも意見交換しながら、民間活力導入により建て替えるとともに、建て替えを契機として地域の活性化や課題の解決を図ります。	財政局 泉区	P86
----------	--	-----------	-----

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
泉中央地区活性化事業	泉中央駅前広場や七北田公園において、周辺事業者や関係団体と連携しながら、にぎわいづくりのイベントを開催するなど、泉中央地区の活性化に資する取り組みを進めます。	泉区	P45

### (3) 機能拠点のまちづくりを推進する

国際センター駅舎上部施設利活用事業	地下鉄東西線の利用促進とともに、さらなるにぎわいの創出を図るため、地下鉄東西線国際センター駅舎上部施設において、民間活力により施設を運営します。	市民局	－
仙台港周辺地区復興支援事業	国際拠点港湾である仙台港の利用促進を官民連携のもとで図るとともに、仙台港周辺地区の振興のため蒲生北部地区における産業集積を促進します。	経済局	－
蒲生北部地区復興再整備事業	防災集団移転後の都市基盤を再整備するため、土地区画整理事業を行い、津波により既存建物が流出した区域については大街区化を図ることで新たな産業集積を促進し、営業を再開している事業所が多い区域については最低限の移転に留めた整備を行います。	都市整備局	－

### (4) 都市軸のまちづくりを推進する

地下鉄沿線まちづくり推進事業	人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85
----------------	--	-------	-----

### (5) 鉄道沿線のまちづくりを推進する

鉄道駅周辺環境整備事業	仙台駅周辺におけるバス乗降場の再編や、交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上などの取り組みを推進し、東北の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化を図ります。また、鉄道駅を中心としたエリアにおいて、歩行空間のバリアフリー化や昇降施設整備など駅周辺環境の向上を図ります。	建設局	－
-------------	--	-----	---

### (6) 郊外居住区域の暮らしを維持する

地域交通運行確保・運行支援事業	市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。	都市整備局	P28 P42
先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業	少子高齢化や人口減少に起因する地域課題が山積する宮城地区西部において、「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づき、ICTなどの先進的な技術によって様々な地域課題の解決に取り組みます。	青葉区	P44 P74
協働による郊外居住地課題対応事業	郊外居住地域における様々な課題に対応するための活動が効果的に推進されるよう、専門的知見やノウハウを持つ大学・民間事業者との連携を促進します。	泉区	－

## (7) 公共交通を中心とした交通体系の充実を図る

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
コミュニティサイクル事業	都心部のより快適な交通環境の形成を目指すとともに、CO <sub>2</sub> の削減や市民の健康増進、回遊性の向上による中心市街地の活性化を図るため、コミュニティサイクル事業（DATE BIKE）を推進します。	市民局	－
新たな都市交通政策推進事業	過度に自家用車に依存しない、公共交通を中心とした交通体系の充実に取り組むとともに、都心交通環境の再構築や、多様な都市活動を支える交通政策を推進します。	都市整備局	P27
公共交通利用促進事業	公共交通の利用促進を図るため、転入者・路線バス沿線の地域住民などを対象に、自発的な公共交通の利用を促すモビリティ・マネジメントを主体とするソフト施策である「せんだいスマート」を推進するとともに、利用しやすい運賃施策を検討します。	都市整備局	P27
交通施設バリアフリー化促進事業	高齢者、子育て世代、障害者などにもやさしい公共交通を中心とした交通体系の構築を図るため、低床バス車両の導入や仙石線福田町駅のバリアフリー化、JR 仙台駅での移動を円滑にするための施設の整備などを進め、公共交通の利用環境の改善を図ります。	都市整備局	－
広域交通ネットワーク整備事業	交流や物流などの都市の活動や、災害時における救命救助や物資輸送などの活動を支えるため、本市の骨格的な幹線道路網を形成する都市計画道路や国道・県道の整備を進めるとともに、部分的な交差点改良など短期的かつ効果的な渋滞対策について検討・実施します。	建設局	P28
icsca システム更新事業	仙台圏におけるバス・地下鉄のスムーズな利用を実現し、市民生活に定着している IC 乗車券システムを安定運用していくため、耐用年数などを踏まえた機器更新を計画的に進めるとともに、利便性の向上に向けた調査・研究を行います。	交通局	－
地下鉄施設長寿命化事業	地下鉄施設について、定期的な点検・検査と、その結果に基づく効率的・効果的な予防保全工事、計画的な改修工事を行うことにより延命化を図りつつ、長期的な施設の維持管理費用の縮減を図ります。	交通局	－
地下鉄輸送サービス向上事業	地下鉄利用者の利便性と快適性の向上を図るとともに、高齢者や子育て世代、障害者などが利用しやすく、ひとにやさしい公共交通を実現するため、エスカレーターの増設やホームと車両の隙間縮小工事など地下鉄南北線駅施設の改修を進めます。	交通局	－
地下鉄新型車両導入事業	地下鉄南北線の車両の更新に伴い、バリアフリーに配慮しつつ、省エネルギー化された電気装置を持つ維持管理しやすい新型車両の導入を検討するとともに、新型車両の詳細設計、製造、走行試験などを行います。	交通局	－

## 14 市政運営

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト
人材育成機能・組織力強化事業	職員一人ひとりが知識や技術の向上を図るため、組織的なOJTや研修の体系化などと併せ、人事評価制度等を活用した人材育成の推進や、多様な主体と連携や調整を行う能力開発なども進めるとともに、職員が能力を十分に発揮できる働きやすい職場環境づくりに取り組みます。また、職員のコンプライアンス意識向上に向けた取り組みを推進します。	総務局 市民局	P90
デジタル化推進事業	行政手続きや市民サービス、地域・経済活動、市役所の内部業務など、市政の幅広い範囲においてデジタル化を推進します。	まちづくり 政策局	P90
公共施設総合マネジメント推進事業	市民に対して安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供するため、施設の長寿命化や活用の徹底、質・量の適正化などに取り組みます。	財政局 都市整備局	P86
歳入の確保	市の歳入の約4割に当たる市税について、確実な納付と適切な滞納処分により、将来にわたる安定的な確保を推進します。また、仙台市が有する債権について、収入の確保と市民負担の公平性を維持するため、適切な管理を推進します。	財政局	－
コールセンター等運用事業	市民サービスの向上と市役所業務の効率化を図るため、市政に関する問い合わせを一元的に受け付けるコールセンターを運用します。また、市政に関するよくある問い合わせと回答を専用ホームページに掲載し、市民が必要な情報を自ら入手できる環境を整えます。	市民局	－
機能集約型都市づくり推進事業	「杜の都」の豊かな自然と、市民の暮らしを支える都市機能が調和した都市をつくるため、鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりに継続的に取り組むとともに、地域別構想と立地適正化計画の策定に取り組みます。	都市整備局	P85
ガス事業民営化推進事業	電力・ガス自由化後の競争環境に対応し、さらなる市民サービスの向上などを図るため、事業が円滑に継承されるよう業務の引継ぎを行い、ガス事業の民営化を推進します。	ガス局	P89



## 第4章 各区の事業一覧

基本計画では、「まちづくりの理念」を踏まえて「地域づくりの方向性」を定めるとともに、地域のより詳細な特性を踏まえた「区ごとの地域づくりの方向性」を定めています。

「地域づくりの方向性」には、（１）ふるさとの豊かな自然を守り、安全・安心な地域をつくる、（２）支えあい、心豊かに暮らせる地域をつくる、（３）学びの環境が充実し、子どもたちが健やかに育つ地域をつくる、（４）個性あふれる賑わいと交流が生まれる地域をつくる、を掲げています。

本章では、第2章と第3章で示した事業について、基本計画における「地域づくりの方向性」と「区ごとの地域づくりの方向性」を踏まえ、地域活性化に資する事業、区民生活に身近な事業、区の資源を活用した事業を再掲しています。

### <構成>

区ごとに、以下の構成としています。

- ・冒頭に、特性と動向及び圏域図を示し、続いて、「地域づくりの方向性」ごとに目指す都市の姿との関連を示すアイコンを示すとともに、事業を一覧表で示します。
- ・事業ごとに、事業名、事業内容の概要及び担当を示すとともに、「第2章 チャレンジプロジェクト」及び「第3章 施策の一覧」に該当する事業の場合はページ数を記します。
- ・区ごとに異なる取り組みが行われるものについては、その主な取り組み内容を「事業内容の概要」に箇条書きで示します。
- ・地域が主体的に課題解決に取り組むための体制づくりの支援や、区の活性化につながる様々な事業を企画・実施する「区民協働まちづくり事業」については、その主な取り組み内容についても示します（「区民協働まちづくり事業」はP105をご参照ください）。

青葉区は5区の中で最も人口が多く、仙台駅を含む都心から山形県との県境までを包含する広い区であるため、地域ごとに様々な特性を有し、近代的な都市機能と豊かな自然環境が共生する「多様性」が区の特徴となっています。少子高齢化のさらなる進展に加え、人口減少社会の到来が予見されている中、生活基盤施設等の更新や新たな整備が要請される地域がある一方、生まれ育った場所での生活やコミュニティの維持が困難になりつつある地域があるなど、それぞれの地域の個性や特色に応じた多彩なまちづくりを進めながら、地区全体としての魅力向上に取り組む必要があります。

「都心地域」は、東北を支える多様な都市機能が集積しています。近年、建築物の老朽化が進行するとともに、仙台駅周辺に人の流れが集中していることから、中心部商店街の活性化や公共空間・民間の遊休不動産の利活用などを通じて、都心全体の価値を高める取り組みが求められています。

「都心周辺地域」は、集合住宅の建設が続き、人口は増加していますが、地域コミュニティへの参加が進んでいない状況への対応が必要となっています。また、道路や公園などの生活の基盤となる施設の老朽化対策やバリアフリー化も求められています。

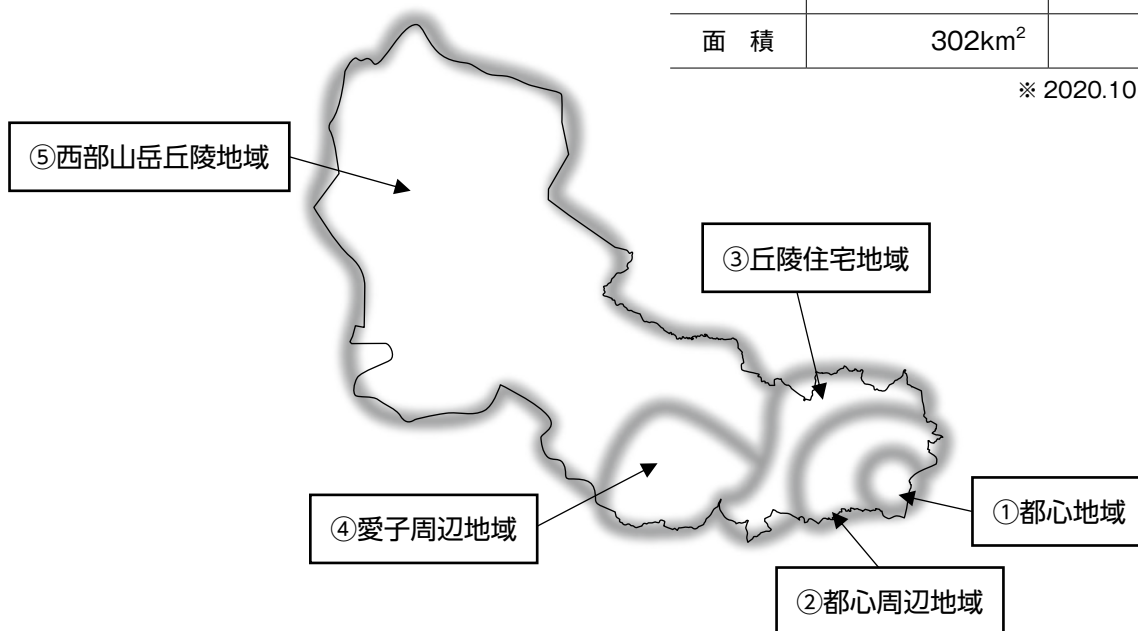
「丘陵住宅地域」は、都心周辺の外縁、高度経済成長期以降に開発された郊外住宅団地が連なっています。高齢化率が区内の平均より高い地域であり、空き家が目立ち始め、今後、さらなる高齢化の進展により、地域での支えあいや高齢化に対応したサービスの需要増加が予想されています。

「愛子周辺地域」は、住宅地の開発や市内中心部からの利便性の向上により、若い世代を中心に人口の増加が顕著となっています。増加する人口や交通量に対応するため、インフラ整備が求められています。また、子育て環境の整備や、良好な地域コミュニティ形成のための取り組みが必要となっています。

「西部山岳丘陵地域」は、市内でも高齢化率の高い地域となっており、地域交通の確保などの課題が顕在化してきています。野生鳥獣による農作物等被害などへの対策も含めた安全・安心な暮らしの確保と共に、交流人口を増やすさらなる取り組みを早期に進めていく必要があります。

	青葉区	(うち宮城総合支所管轄地域)
人 口	311,134 人	73,852 人
世帯数	163,841 世帯	29,048 世帯
面 積	302km <sup>2</sup>	260km <sup>2</sup>

※ 2020.10.1 現在推計人口



## (1) 多くの人が集い、賑わいと交流の場となる活力あるまち

都心地域では、老朽建築物の建て替えや企業ニーズに合ったオフィスの整備の促進など、公共空間と民有地が一体となった新たな賑わいを創出するとともに、定禅寺通や都市公園における魅力ある都市空間の形成、中心部商店街の活性化やリノベーションの促進により、都心全体に賑わいを広げる取り組みを進めます。西部山岳丘陵地域では、豊かな自然環境や歴史、温泉といった地域資源の活用や、先端技術を有する企業等との連携などを積極的に進めます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
定禅寺通活性化推進事業	「杜の都・仙台」の象徴である定禅寺通において、地元関係者などとともに、道路空間再構成やエリアマネジメントの導入なども視野にエリアの将来像を描き、エリアの魅力の創出につながるアクションなどを実施することで、まちなか全体の回遊性を高め、より一層多くの人を魅了する都市を目指します。	まちづくり政策局	P12 P82	P122
市役所本庁舎建替事業	「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進するとともに、新本庁舎における低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体的な利活用や、職員の知的生産性を向上させるための望ましい執務空間のあり方を検討し、本体設計に反映させます。	財政局	P82 P86	P122
中心部商店街活性化促進事業	中心部商店街への来街を促進するイベントを行うほか、定禅寺通や青葉通、肴町公園などの公共空間を活用したまちづくりの取り組みと連携しながら、新たな魅力の創出や回遊性の向上を図ります。	経済局	P82	P122
商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業	市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	—	P119
農地保全対策事業	農業の持つ多面的機能の維持・発揮のための活動支援により、地域農業の継続的発展と新たな耕作放棄地の発生抑止を図ります。また、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害の軽減を目的として、地域ぐるみの効果的な防除対策を推進するとともに、捕獲対策の強化・拡充を図ります。	経済局	—	P120
西部地区観光振興事業	温泉や自然、工芸など西部地区ならではの観光資源を生かした体験プログラムを発掘・創出し、効果的な魅力発信を行うことにより、西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。	文化観光局	P77	P121
地域交通運行確保・運行支援事業	市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。 ・新川地区：試験運行等「ハツ森号」	都市整備局	P28 P42	P123
地下鉄沿線まちづくり推進事業	人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85	P123

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
まちなかウォークブル推進事業		都心において、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を形成するとともに、市民が快適に滞在できるオープンスペースを創出するため、民間事業者などと連携し、国の制度などを活用しながら、公共空間における滞在環境向上に資する事業や、その効果の測定を実施します。	都市整備局	P83	P122
勾当台公園再整備事業		「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」のほか、市役所本庁舎の建て替えなど、周辺で進む関連プロジェクトの内容を踏まえ、勾当台公園全体のあり方についての調査・検討、基本構想・基本計画の策定、整備工事に順次着手し、市内中心部の日常的なにぎわい・交流を創出する勾当台公園の再整備を進めます。	建設局	P13 P84	P94
西公園再整備事業		地下鉄東西線大町西公園駅の整備など、周辺の環境が大きく変化した西公園について、みどりの持つ多様な機能を最大限活用しながら、園路・多目的広場の整備など計画的な再整備を行います。	建設局	P13 P84	P94
先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業		少子高齢化や人口減少に起因する地域課題が山積する宮城地区西部において、「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づき、ICTなどの先進的な技術によって様々な地域課題の解決に取り組みます。	青葉区	P44 P74	P123
区民協働まちづくり事業	青葉区民まつり事業	区民協働の芽を育み、まちづくり活動の高揚を図ることを目的に、地域の魅力を反映し、幅広い世代による交流の促進と地域の活性化に繋がる事業を実施していきます。	青葉区	—	—
	西公園キャンドルライトファンタジー事業	冬の西公園のにぎわいと魅力を創出するため、手作りろうそくのキャンドルパフォーマンスやステージ発表などを自主独立的に実施している実行委員会の活動を支援します。	青葉区	—	—
	宮城地区まつり事業(宮城地区)	豊かな自然や観光資源、伝統文化など、宮城地区の魅力を発信するとともに、市民相互の融和と連帯感を高め、ふるさと意識を高めることを目的として、地区まつりを開催します。	青葉区	—	—
	大倉ダムの魅力発信事業(宮城地区)	大倉ダムを活用し、人口減少の続く宮城地区西部への交流の拡大を目的に、西部地区の小学校・中学校の児童生徒制作による鯉のぼりを、ダムの堤体へ設置します。	青葉区	—	—
	まちづくり活動助成事業(公募助成事業)	地域課題の解決や地域コミュニティの活性化などのために市民が自発的に取り組むまちづくり事業に対して、助成を行います。	青葉区	—	—

## (2) お互いを認めあい、支えあう、誰もが健やかで心豊かに暮らせるまち

心地よさ

町内会をはじめとする地域団体の担い手の育成などに取り組むとともに、集合住宅居住者の方々に対しては、地域内の交流を促進する取り組みを進めます。高齢化率の高まりが見られる丘陵住宅地域などを念頭に、生涯を通じた健康づくりや生きがいづくりなどの取り組みを行います。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
町内会等住民自治組織支援・体力強化事業	市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	—	P103
障害者福祉センター整備事業	地域生活を支援する拠点機能をはじめ時代のニーズに合わせた機能を有した（仮称）青葉障害者福祉センターを市民センターとの複合施設として、青葉区旭ヶ丘地区に整備します。また、既に4区に設置している障害者福祉センターについて、（仮称）青葉障害者福祉センターの整備に伴い、市全体の障害者福祉センターが今後担うべき機能などの検討を行います。	健康福祉局	P33	P102
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の取り組みを通じて、関係機関などが相互に連携を図ることにより、障害者などへの支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33	P102
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。	健康福祉局 各区	P34	P102
一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65	P106
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56	P113
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジ プロジェクト	施策一覧
児童館整備・運営事業	<p>小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東六番丁：実施設計、改築工事（令和3～5年度）</li> <li>・片平：実施設計、改築工事（令和3～5年度）</li> <li>・水の森：大規模修繕工事（令和3年度）</li> <li>・貝ヶ森：大規模修繕実施設計、工事（令和4～5年度）</li> </ul>	子供未来局	P57	P113
学生の参加による地域づくり推進事業	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげます。	青葉区	P46	P117
マンション等コミュニティ強化事業	区中心部において町内会等の地域コミュニティ形成が課題となっているマンションなどに向けて、町内会形成の働きかけを行います。コミュニティ強化に向け、市政情報の発信や町内会活動の支援を行うため、地域の施設に職員が定期的に出向き、地域との連携を深める機会を創出します。	青葉区	P44	P103
学校教育施設整備事業	<p>子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東六番丁小学校：実施設計、改築工事（令和3～5年度）</li> <li>・片平丁小学校：実施設計、改築工事（令和3～5年度）</li> <li>・中山小学校：実施設計、改築工事（令和3～5年度）</li> </ul>	教育局	—	P112
コミュニティ・スクール推進事業	学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55	P112
学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55	P112
市民センターによる地域づくり支援事業	市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64	P117

### (3) 地域の防災・防犯力を高め、安全で安心して過ごせるまち

地域防災リーダーの育成や防災訓練の実施など、日頃からの防災力の向上に向けた活動を支援するとともに、帰宅困難者への対策を進めます。また、地域ぐるみの防犯活動などを推進し、安心して暮らせる地域づくりを行います。生活の基盤となる施設については、老朽化への対応をはじめ、地域の実情に応じた機能を確保していきます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	－	P98
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。 ・仙台駅	危機管理局	－	P98
市民センター整備事業	地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・水の森：大規模修繕工事（令和3年度） ・貝ヶ森：大規模修繕設計、工事（令和4年度～） ・旭ヶ丘別棟：新築設計、工事（令和3年度～）	市民局	P42	P105
コミュニティ・センター整備事業	地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・川平：大規模修繕工事（令和3年度） ・川前：大規模修繕工事（令和3年度） ・小松島：改築設計（令和5年度）	市民局 各区	P42	P105
地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	－	P108
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	－	P108
地域生活道路等整備事業	市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－	P109
下水道浸水対策事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88	P100



#### (4) 杜の都の自然、歴史が息づき、文化の薫るまち

地域資源を活かした学びの機会を提供し、その過程において様々な世代が交流する機会づくりに取り組むことにより、人と人とのつながりを深め、地域の活性化につなげていきます。また、豊かな地域資源を次の世代へ継承するとともに、あらゆる世代の人が、仙台ならではの魅力を楽しめる機会を創出し、交流人口の拡大を図ります。

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
青葉山公園整備事業		「青葉山公園整備基本計画」に基づき、国史跡指定地区では歴史的な景観を充実させるとともに、追廻地区では（仮称）公園センターと広場整備を進めるなど、青葉山と広瀬川に囲まれた区域において市民や仙台を訪れた人が楽しむことができる公園整備を進めます。	建設局	P11 P77	P94
都市公園整備事業		防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15	P95
広瀬川創生・清流保全事業		「広瀬川創生プラン」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境の保全や安全安心な川づくり、そして新たな魅力の創出について、市民と協働で取り組みます。また、「広瀬川の清流を守る条例」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境や景観などを保全します。 ・広瀬川上流域の豊かな自然環境を活かしたイベントの実施	建設局	P11	P96
宮城地区西部活性化事業		作並・新川地区や青野木・大倉地区など宮城地区西部において、地域の取り組みが円滑に進むよう活動を後押しするとともに、新たな地域の担い手の発掘と育成、町内会などの活動力の強化、地域内外の市民団体や企業などとの連携のコーディネートを通じて、地域の総合的な活動力の向上を図ります。	青葉区	P48	P105
区民協働まちづくり事業	はたらの里づくり事業	市内に生息するホタルの飼育保護などのために、水環境の保全、各種調査、イベントなどを自主独立的に実施している仙台市はたらの里づくり協議会の活動を支援します。	青葉区	—	—
	仙台伝統ものづくり塾事業	仙台のものづくりをテーマに、歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと魅力を実感し、地域で語り継ぐことを目的に、ものづくりを体験できる講座を開催します。	青葉区	—	—
	仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業	仙台の歴史や文化を、紙芝居を通してわかりやすく後世に伝えるため、各所で紙芝居上演を行い、また上演者の育成を図るために紙芝居上演体験などを実施します。	青葉区	—	—
	個性ある地域づくり計画策定事業	地域住民が自分たちの住んでいる地域の個性の創出に関する調査活動とまちづくり計画の策定・実行を通して、後世に残る新たな価値を追求し、誇りと愛着の持てる活力ある地域づくりを図ることを目的に計画を策定します。	青葉区	—	—
	青葉区令和風土記作成事業	青葉区内の地理の現状や遡れる範囲の歴史的知識を地域住民の手で「令和風土記」としてまとめ、今後の地域づくりに資することを目的に風土記を作成します。	青葉区	—	—

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジ プロジェクト	施策一覧
区民協働まちづくり事業	回文の里づくり事業 (宮城地区)	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、仙台市夏休み子ども回文コンクールなどを実施します。	青葉区	－	－
	宮城地区市民文化祭事業 (宮城地区)	宮城地区の芸術文化の伝承と創造の進展を図ることを目的に、広瀬文化センターなどを会場として、地区内の文化活動団体の作品展示やステージ発表の文化祭を開催します。	青葉区	－	－

## 宮城野区



宮城野区は、市の北東部に位置し、仙台駅東口から仙台塩釜港にかけて広がる区域です。他区と比べて年少人口と生産年齢人口の割合が高い一方で、単身高齢者の割合が高く、高齢化の進行が顕著な地域もあり、地域の状況に応じたきめ細かな対応が必要です。2011年（平成23年）の東日本大震災では、津波により、区域の35%が浸水し、甚大な被害を受けましたが、協働により復興への歩みを着実に進めており、東日本大震災の経験と教訓の継承とともに、沿岸部の新たなまちづくりに取り組んでいくことが求められています。

「都心及び周辺地域」は、宮城野通を基軸とした新しい街並みが形成されるとともに、東北楽天ゴールデンイーグルス、地下鉄東西線の開通、仙台駅東西自由通路拡幅に伴う民間開発など、新たな賑わいづくりの機運が高まる地域です。それらを活かした、より魅力あふれる都市空間づくりが求められています。

「北部住宅地域」は、古くからの交通の要衝であり、岩切城跡をはじめ、歴史の息吹を感じられる場所が随所にあります。近年は、岩切地区の土地区画整理事業により、若い世代が多く集まる地域になっており、子育て世代の方々が暮らしやすい地域づくりが求められています。

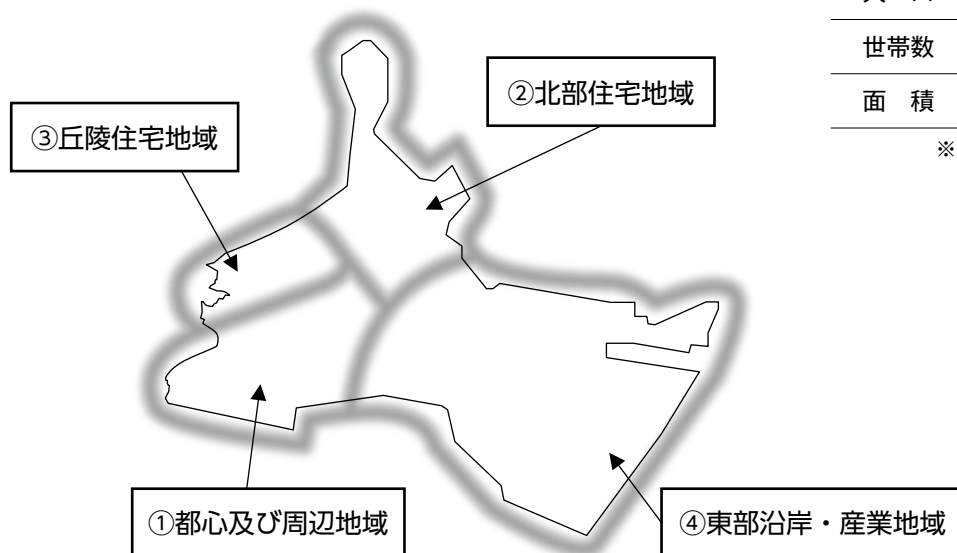
「丘陵住宅地域」は、鶴ヶ谷をはじめ、開発時期の早い団地が成熟期を迎えており、市の中でも高齢者の割合が高い地域です。市営住宅の建て替えに伴うコミュニティづくりや、地域課題に向き合う住民主体の取り組みが進んでおり、住民が安心して暮らせる環境づくりが求められています。

「東部沿岸・産業地域」は、東日本大震災の津波により大きな被害を受けましたが、岡田地区南蒲生・新浜では、コミュニティの再生に向けた新たなまちづくりが進められているほか、中野・蒲生地区を中心に産業集積が進んでいます。仙台港背後地には仙台うみの杜水族館や大型商業施設が立地しており、東部沿岸地域一帯に、さらなる活気をもたらす取り組みが求められています。

宮城野区

人 口	196,885 人
世帯数	96,023 世帯
面 積	58km <sup>2</sup>

※ 2020.10.1 現在推計人口



## (1) 海辺のふるさとをつくる～集い、想いをつなぐまち～

東日本大震災の経験と教訓を伝えるとともに、沿岸部に再び人々が集い、笑顔が行き交うまちになるよう、新たな海辺のふるさとをつくります。震災の記憶や地域の文化を伝えるコンテンツの充実や発信により魅力向上を図るとともに、若林区をはじめとする関係部局や民間事業者とも連携を図りながら、東部沿岸地域一帯の回遊性を向上させ、新たな賑わいの創出に取り組みます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	－	P98
仙台港周辺地区復興支援事業	国際拠点港湾である仙台港の利用促進を官民連携のもとで図るとともに、仙台港周辺地区の振興のため蒲生北部地区における産業集積を促進します。	経済局	－	P123
東部地域移転跡地利活用推進事業	東日本大震災により被災した東部沿岸地域の防災集団移転跡地のうち、七北田川以南の南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚の5地区について、民間の自由な発想や提案を最大限に生かした利活用を図り、地域の新たな魅力を創出していきます。	都市整備局	P16	P95
蒲生北部地区復興再整備事業	防災集団移転後の都市基盤を再整備するため、土地区画整理事業を行い、津波により既存建物が流出した区域については大街区化を図ることで新たな産業集積を促進し、営業を再開している事業所が多い区域については最低限の移転に留めた整備を行います。	都市整備局	－	P123
ふるさとの杜再生プロジェクト	震災による津波により失われた東部地域のみどりを再生するため、公園整備に合わせて市民協働で植樹を実施するとともに、これまでに植樹を実施した海岸防災林については、育樹イベントや子ども向け参加プログラムなどを実施し、市民協働の取り組みを強化しながら育てていきます。また、農村風景を構成してきた居久根について、保全や再生支援に取り組みます。 ・高砂中央公園市民植樹 ・海岸防災林（岡田字砂原）及び海岸公園（岡田地区）における育樹	建設局	P17	P95
海岸公園整備事業	海岸公園の来場者がより安全で快適に利用できるように、パークゴルフ場の増設を進めるとともに、駐車場やトイレの整備、植栽を進めるなど、自然環境に配慮しながら海岸公園の運営・管理を実施します。 ・岡田地区：親水護岸整備検討	建設局	P17	P96
海浜エリア活性化事業	東部沿岸地域において、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の豊かな自然など魅力ある資源を活用しながら、海辺のにぎわいづくりを進めます。また、集団移転跡地利活用事業者や地域住民・活動団体などと緊密に連携し、地域の特性を活かした魅力のネットワーク化など持続的な回遊性を高め海浜エリアの活性化を図る事業を推進します。 ・震災メモリアルスポット魅力発信 ・貞山運河跡へのメモリアル桜植樹 ・「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」活用・発信支援	文化観光局 宮城野区 若林区	P16 P44	P95

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
せんだい・アート・ノード・プロジェクト		文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるため、せんだいメディアテークを核に、現代アートの持つ発見性、吸引力、発信力を取り込みながらアートプロジェクトを展開し、まちの魅力と人々の活気を引き出します。	教育局	P17 P62	P115
区民協働まちづくり事業	震災の記憶伝承と命を守る防災学習事業	東日本大震災の記憶を風化させることなく次世代へ継承していくため、朗読会を開催するとともに、若い伝承者を育成します。また、災害時に自らの命を守る適切な行動をとれるよう、防災学習の場をつくります。	宮城野区	—	—

## (2) 都心のシンボルエリアをつくる～賑わいをつくり、可能性を活かせるまち～

進め！

自然

地域住民や民間事業者とともに知恵を出しあい、多くの方々が気軽に集い、訪れるとわくわくするような新たな都心のシンボルエリアをつくります。地域住民やまちづくり団体等の意見を伺いながら、宮城野通を基軸として、近隣の公園の活用や魅力あるイベントなどに取り組みます。

商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業		市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	—	P119
地下鉄沿線まちづくり推進事業		人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85	P123
まちなかウォークブル推進事業		都心において、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を形成するとともに、市民が快適に滞在できるオープンスペースを創出するため、民間事業者などと連携し、国の制度などを活用しながら、公共空間における滞在環境向上に資する事業や、その効果の測定を実施します。	都市整備局	P83	P122
都市公園整備事業		防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15	P95
区民協働まちづくり事業	宮城野通・榴岡公園ふれあい魅力UP事業	新たなにぎわいと魅力に満ちた公共空間を創出するため、榴岡公園で開催されるイベントに合わせたライトアップなどを行います。	宮城野区	—	—

### (3) 心地よいコミュニティをつくる～支えあい、安心して暮らし続けられるまち～

心地よさ

住民同士が世代を超えてつながり、多様性を尊重しあいながら、お互いの顔が見える心地よいコミュニティをつくりまします。大規模な住宅団地の再整備をはじめ、市民センターやコミュニティ・センターの計画的な整備を行うとともに、住民の方々が主体となった地域課題の解決や多世代交流の創出に向けた取り組みを進めます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。 ・仙台駅	危機管理局	－	P98
市民センター整備事業	地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・高砂：大規模修繕設計（令和5年度）	市民局	P42	P105
コミュニティ・センター整備事業	地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・原町：大規模修繕設計、工事（令和3～5年度） ・岡田：大規模修繕設計、工事（令和4～5年度）	市民局 各区	P42	P105
町内会等住民自治組織支援・体力強化事業	市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	－	P103
地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	－	P108
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	－	P108
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の取り組みを通じて、関係機関などが相互に連携を図ることにより、障害者などへの支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33	P102
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。	健康福祉局 各区	P34	P102
一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65	P106
被災者の健康支援事業	復興公営住宅への入居や防災集団移転により生活再建した被災者に生じている、閉じこもりやそれによる身体活動量の低下、心の健康状態の悪化などの健康問題や被災者の高齢化による問題に対して、個別支援や健康講座などによるコミュニティ形成支援を通じて健康の維持を図ります。	健康福祉局 各区	P66	P104
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56	P113
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113
児童館整備・運営事業	小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。 ・高砂：大規模修繕設計（令和5年度）	子供未来局	P57	P113
地域交通運行確保・運行支援事業	市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。 ・燕沢地区：本格運行「のりあい・つばめ」	都市整備局	P28 P42	P123
交通施設バリアフリー化促進事業	高齢者、子育て世代、障害者などにもやさしい公共交通を中心とした交通体系の構築を図るため、仙石線福田町駅のバリアフリー化、JR仙台駅での移動を円滑にするための施設の整備などを進め、公共交通の利用環境の改善を図ります。	都市整備局	－	P124
鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備事業	老朽化した市営住宅の建て替えにより居住環境の改善を進めるとともに、住棟の集約などにより発生する土地について、地域にふさわしい新たな土地利用の誘導を図ります。	都市整備局	－	P108
地域生活道路等整備事業	市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－	P109

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
下水道浸水対策事業		「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88	P100
みやぎの地域づくり支援事業		多様な主体の連携による地域づくり活動を支援するため、情報共有・課題検討を行う勉強会や、実践活動につながるワークショップの開催などをサポートします。	宮城野区	－	P105
区民協働まちづくり事業	地域はっぴい子育て支援事業	育児不安や育児の孤立化の解消につながるよう、乳幼児を抱える母親支援のための「ママらいふ手帳」を作成・配布するとともに、地域に出向き、同手帳を活用したワークショップを開催します。	宮城野区	－	－
	おらほの公園草刈隊支援事業	魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸し出しのほか、活動を周知する看板を設置します。	宮城野区	－	－



#### (4) 新たな魅力に出会える場をつくる～ふるさとを知り、元気を体感できるまち～

未来の地域づくりの担い手である子どもたちや若者が、地元への関心や想いを深めることができるよう、新たな魅力に出会える場をつくります。世代を超えた交流を通じ、宮城野区の魅力を実感し、地域づくりへの参画意識を高める好循環を生み出します。

みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業	次代を担う若手人材の育成を目的として、セミナーやワークショップ開催等を通じたまちづくりの知識やノウハウの蓄積を図るとともに、地域の若手同士の交流の機会を創出し、ネットワークづくりを促進します。	宮城野区	P47	P117
学校教育施設整備事業	子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。 ・榴岡小学校：増築工事（令和3年度） ・宮城野中学校：実施設計、増築工事（令和3～5年度）	教育局	－	P112
コミュニティ・スクール推進事業	学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55	P112
学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55	P112

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
市民センターによる地域づくり支援事業		市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64	P117
区民協働まちづくり事業	すずむしの里づくり事業	市の虫スズムシの飼育・普及を通じて、杜の都の自然や歴史を継承していくため、小学校への出前講座や市民への無料配布会、実験放虫を行うとともに、コミュニティまつり等におけるPR活動を行います。	宮城野区	—	—
	みやぎの・まつり	区民ふるさと意識の高揚と区内の各種団体の交流を目的として、市民団体などによるステージ発表や、工夫を凝らした区民の手作りによる各コーナーを企画実施します。	宮城野区	—	—
	みやぎの地域力向上支援事業	「地元学」発祥の地とされる宮城野区の魅力をより高めていくため、フィールドワーク等を通じて地域の資源や魅力を再発見し、アーカイブ（記録）しながら情報発信していく「みやぎの・アーカイ部」事業を実施します。	宮城野区	—	—
	宮文活性化事業	宮城野文化センター前広場を活用した催しなど、地域のにぎわい創出に資する事業を企画・実践します。	宮城野区	—	—
	宮城野盆踊り普及事業	宮城野区発祥の「宮城野盆唄」をはじめ、盆踊りの普及拡大を通じ、地元への愛着をより深め、地域のつながりや地域活動の活性化を図ります。	宮城野区	—	—
	まちづくり活動助成事業（公募助成事業）	地域課題の解決や地域コミュニティの活性化などのために市民が自発的に取り組むまちづくり事業に対して、助成を行います。	宮城野区	—	—

## 若林区

若林区は、市の南東部に位置し、5区で最も規模の小さな区です。2015年（平成27年）の地下鉄東西線の開業により区内には5つの駅が新設され、地下鉄沿線を中心として人口が大きく増加しています。2011年（平成23年）の東日本大震災では、津波により区域の56%、内陸約4kmにわたり浸水し、壊滅的な被害を受けましたが、市民の取り組みにより美しい風景を取り戻しつつあります。今後は、東日本大震災の経験と教訓の継承とともに、沿岸部の新たなまちづくりへの取り組みが求められます。

「都心及び周辺地域」では、建物の高層化や集合住宅の建設による人口の流入が進み、2023年（令和5年）には、東北学院大学の五橋キャンパスの開設も予定されているため、若い力を地域づくりに活かす取り組みが求められています。

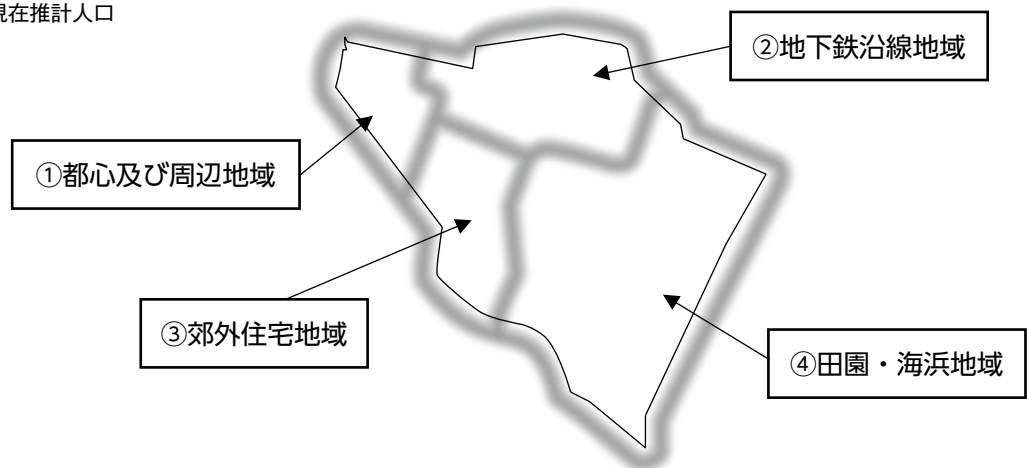
「地下鉄沿線地域」では、土地区画整理事業などにより人口が急激に増加しています。子育て世帯や沿岸部から移転した高齢者世帯など多様な世代が混在する中、コミュニティ活性化の工夫が求められています。一方で、地下鉄沿線に存在する文化芸術施設や歴史資産などを活かしたまちづくりが必要とされています。

「郊外住宅地域」では、昭和の時期から住宅地が形成され、幹線道路沿いには中高層の集合住宅や業務ビルが立地しています。地域内の人口は区内では比較的高齢化率が高くなっていることから、災害時なども含めて、安心して生活を継続できる取り組みが必要とされています。

「田園・海浜地域」では、東日本大震災を経て、ほ場整備や津波避難施設、東部復興道路などの整備が行われています。集団移転跡地の利活用も進んでおり、震災の記憶を後世に伝えるとともに、仙台の新たな賑わいを創出する役割が求められています。

若林区	
人 口	139,157 人
世帯数	67,739 世帯
面 積	50km <sup>2</sup>

※ 2020.10.1 現在推計人口





## (1) 田園・水辺・生物と共に生き、自然災害の経験を日常に活かすまち

豊かな自然環境の保全や歴史ある水資源の活用、生態系の維持、水辺に親しめる機会づくりを進めます。また、災害の歴史とそこで培われた知恵を学び、日常生活に防災の意識を根付かせる取り組みを行います。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	－	P98
東部地域移転跡地利活用推進事業	東日本大震災により被災した東部沿岸地域の防災集団移転跡地のうち、七北田川以南の南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚の5地区について、民間の自由な発想や提案を最大限に生かした利活用を図り、地域の新たな魅力を創出していきます。	都市整備局	P16	P95
ふるさとの杜再生プロジェクト	震災による津波により失われた東部地域のみどりを再生するため、公園整備に合わせて市民協働で植樹を実施するとともに、これまでに植樹を実施した海岸防災林については、育樹イベントや子ども向け参加プログラム、ほ場整備などを実施し、市民協働の取り組みを強化しながら育てていきます。また、農村風景を構成してきた居久根について、保全や再生支援に取り組みます。 ・貞山運河桜植樹（令和3年度） ・海岸防災林（南官林）及び海岸公園（荒浜地区、井土地区）における育樹	建設局	P17	P95
都市公園整備事業	防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15	P95
広瀬川創生・清流保全事業	「広瀬川創生プラン」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境の保全や安全安心な川づくり、そして新たな魅力の創出について、市民と協働で取り組みます。また、「広瀬川の清流を守る条例」に基づき、広瀬川の豊かな自然環境や景観などを保全します。 ・広瀬川下流域において市民が気軽に訪れることができるイベントの実施	建設局	P11	P96
海岸公園整備事業	海岸公園の来場者がより安全で快適に利用できるように、パークゴルフ場の増設を進めるとともに、駐車場やトイレの整備、植栽を進めるなど、自然環境に配慮しながら海岸公園の運営・管理を実施します。	建設局	P17	P96
下水道浸水対策事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88	P100

## (2) 新旧の住民が混ざりあい、支えあうあたたかなまち

地下鉄東西線の開業による人口の増加を踏まえ、子育て相談支援体制の充実や地域住民の交流の促進を図ります。また、健康を保ち、地域で安心して安全に暮らせるまちづくりを進めていきます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。 ・仙台駅	危機管理局	－	P98
地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	－	P108
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	－	P108
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の取り組みを通じて、関係機関などが相互に連携を図ることにより、障害者などへの支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33	P102
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。	健康福祉局 各区	P34	P102
一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65	P106
被災者の健康支援事業	復興公営住宅への入居や防災集団移転により生活再建した被災者に生じている、閉じこもりやそれによる身体活動量の低下、心の健康状態の悪化などの健康問題や被災者の高齢化による問題に対して、個別支援や健康講座などによるコミュニティ形成支援を通じて健康の維持を図ります。	健康福祉局 各区	P66	P104
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56	P113

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業		母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113
児童館整備・運営事業		小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。 ・沖野：大規模修繕工事（令和3～4年度） ・遠見塚：大規模修繕設計（令和5年度）	子供未来局	P57	P113
地域交通運行確保・運行支援事業		市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。	都市整備局	P28 P42	P123
地域生活道路等整備事業		市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－	P109
子育て推進ネットワーク事業		のびすく、保育所、児童館等の子育て支援機関、子育て支援活動をしている市民団体やボランティア区民等との有機的なネットワークを構築するとともに、子どものすこやかな成長と、子育て家庭が孤立せず、安心して子育てできる環境づくりを目指し、若林区の子育ての実情に応じた効果的な支援を企画し実施します。	若林区	－	P115
区民協働まちづくり事業	六郷地区の健康づくり推進事業	六郷地区において、地区組織や地域の活動団体、大学などの関係機関との連携を強化・拡充し、地域協働のもと、豊かな自然によって育まれてきた魅力や地域資源、生活文化などを生かした体験型の健康づくりや啓発を実施します。	若林区	P66	P107
	若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	「仙台市安全安心街づくり条例」に基づき、令和3年度まで薬師高砂堀通り周辺地区において地域団体、警察等と協議しながら、防犯の事業を実施します。その後の事業展開については、「安全安心街づくり基本計画」により、新たなモデル地区を選定し、引き続き同計画の趣旨に則った取り組みを推進します。	若林区	－	－
	若林区健康づくり区民会議	若林区健康づくり行動計画に基づき、区民が主体となれる健康づくり推進を図るため、関連する団体や他機関と緊密に連携し、健康課題を含めた情報共有や啓発のための共催イベントを開催します。	若林区	－	－

### (3) 歴史のなかで暮らし、地域の魅力を育てあうまち

歴史や地域の魅力に気づくことができる学びの場づくりに取り組むとともに、東部沿岸エリアに点在する資源を結びつけ、地域全体の活性化を図ります。また、学生をはじめとした若い世代の力を活かし、魅力を高めあう環境づくりに取り組みます。

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
市民センター整備事業		地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・沖野：大規模修繕工事（令和3～4年度）	市民局	P42	P105
コミュニティ・センター整備事業		地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・蒲町：大規模修繕工事（令和3年度） ・沖野：大規模修繕設計、工事（令和4～5年度） ・遠見塚：大規模修繕設計（令和5年度）	市民局 各区	P42	P105
海浜エリア活性化事業		東部沿岸地域において、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の豊かな自然など魅力ある資源を活用しながら、海辺のにぎわいづくりを進めます。また、集団移転跡地利活用事業者や地域住民・活動団体などと緊密に連携し、地域の特性を活かした魅力のネットワーク化など持続的な回遊性を高め海浜エリアの活性化を図る事業を推進します。	文化観光局 宮城野区 若林区	P16 P44	P95
学校教育施設整備事業		子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。 ・六郷小学校：大規模改修工事（令和3年度）	教育局	－	P112
コミュニティ・スクール推進事業		学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55	P112
学校支援地域本部事業		学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55	P112
陸奥国分寺跡・国分尼寺跡整備事業		国の史跡である陸奥国分寺跡・国分尼寺跡を恒久的に保存するため、土地の公有化を進めると同時に、実態解明に至っていない場所の計画的・継続的な発掘調査を行います。	教育局	－	P116
区民協働まちづくり事業	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」事業補助	広瀬川灯ろう流し実行委員会が広瀬川灯ろう流しに合わせて行う「光と水とコンサートの夕べ」の開催を支援します。	若林区	－	－
	若林区魅力発信事業	若林区の地域資源の魅力を発信し、区への興味愛着を促進する「若林わくドキまち歩き」の開催や、まち歩きマップ「若林WALKER」を更新し、増刷します。	若林区	－	－

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
区民協働まちづくり事業	地域メディアの活用による<新しい地縁>創造プロジェクト	区民有志スタッフとコミュニティFM「ラジオ3」との協働で、地域に根ざした情報番組「ラヂオはいらいん若林」を制作・放送します。	若林区	—	—

#### (4) 多様な協働を通じて、新しい変化を生み出すまち



地下鉄東西線の開業や東北学院大学の移転、東部の集団移転跡地の活用といった大きな変化をまちの活力に変えるため、まちづくりの新たな担い手が育ち、活躍する環境づくりに取り組みます。

町内会等住民自治組織支援・体力強化事業		市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	－	P103
商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業		市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	－	P119
地下鉄沿線まちづくり推進事業		人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85	P123
わかばやし地学連携推進事業		令和5年4月に開設される東北学院大学五橋キャンパスと、土樋キャンパスに集う約11,000人の学生等を核として、地域や企業との多様な連携・協力、地域と共生する大学づくりの取り組みを支援するとともに、地域の課題解決や経済の活性化を推進します。	若林区	P47	P117
若林まちみがき推進事業		若林区において、主体的に課題や魅力を掘り起こし行動していく元気で活力ある地域を育むため、町内会組織などの活動主体に対する、本市が保有する情報の公開や、地域団体・事業者など多様なプレイヤーとの協働に向けた支援、能動的に地域に関わっていく人材の育成など、地域力の育成・向上に向けた伴走型支援を進めます。	若林区	－	P106
市民センターによる地域づくり支援事業		市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64	P117
区民協働まちづくり事業	若林区民ふるさとまつり	区民のふるさと意識の醸成を図り、新しいコミュニケーションの輪を広げていく場として、計画の段階から多くの市民参加を得て様々な企画の総合的イベントを開催します。	若林区	－	－
	若林区合唱のつどい	区内の小学校・中学校・高等学校や一般サークルによる合唱の発表を行うとともに、一般から参加者を募った区民合唱団「宙」（そら）などの企画を取り入れ、合唱を通じた区民交流の祭典を開催します。	若林区	－	－

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジ プロジェクト	施策一覧
区民協働まちづくり事業	わかばやし区春らんまん事業補助	わかばやし区春らんまん実行委員会が、若林区役所特設会場においてイベントを開催し、区のにぎわいづくりや地域のコミュニケーションの推進を図ります。	若林区	－	－
	まちづくり活動助成事業 (公募助成事業)	地域課題の解決や地域コミュニティの活性化などのために市民が自発的に取り組むまちづくり事業に対して助成を行います。	若林区	－	－

## 太白区

太白区は、市の南西部に位置し、名取川河口近くから山形県境まで東西に带状に広がっています。東部では子育て世代などの人口増加が続いている一方、西部では人口減少・少子高齢化が進んでいる地域もあります。地域の状況に応じて、生活課題が多様化していることから、地域での密接なつながりを基盤として、支えあうまちづくりが求められています。

「南部拠点地域」では、貨物操車場跡の区画整理事業によるあすと長町の誕生を機に、地下鉄・JR長町駅周辺や地下鉄長町南駅周辺を中心に、商業施設やスポーツ施設、中高層マンションなどの集合住宅の建設が進んでおり、新しい賑わいを創出する取り組みが求められています。

「名取川右岸地域」では、幹線道路を中心に商業施設が集積し、長く暮らしている住民に加え、若い子育て世代が増加しており、農業のまちから住宅が連なるまちへ変化していることから、幅広い世代が楽しめ、交流する場づくりが必要です。

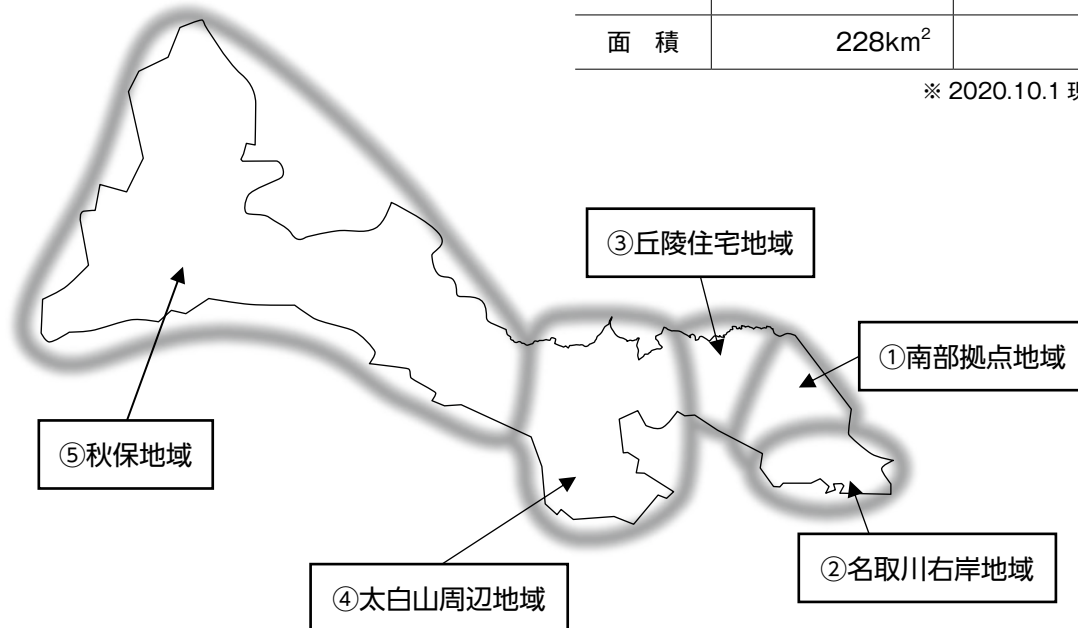
「丘陵住宅地域」では、動物公園や遊園地の賑わいととも、2015年（平成27年）の地下鉄東西線開通による西の起点駅の誕生を契機とした、新たなまちの魅力づくりが求められています。

「太白山周辺地域」では、古くから住民主体のまちづくりが進められ、豊かな自然資源を活かした地域活性化に向けた住民主体の活動が盛んに行われていますが、区内でも高齢化率が高い地域であるため、地域の移動手段の維持・確保など、地域課題の解消に向けた取り組みが求められています。

「秋保地域」は、二口峡谷や秋保大滝などの観光資源と温泉に恵まれた地域であり、秋保温泉は古くから療養の地として親しまれてきました。現在は温泉やそば文化の発信など、豊かな地域資源を活かした体験観光による交流活動、地域の魅力づくりが一層求められています。

	太白区	(うち秋保総合支所管轄地域)
人 口	232,317 人	4,097 人
世帯数	105,779 世帯	1,804 世帯
面 積	228km <sup>2</sup>	145km <sup>2</sup>

※ 2020.10.1 現在推計人口



## (1) とともに支えあい、誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち

誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちの実現に向け、障害のある方の社会参加の促進や高齢者をはじめとした健康づくり、子育て支援を進めるとともに、各分野を越えたつながりの強化を図ります。また、多様な主体との協働による交通手段の確保など、日常生活における利便性の維持・改善に向けた取り組みを進め、地域の中で快適に暮らせる環境づくりに取り組んでいきます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の取り組みを通じて、関係機関などが相互に連携を図ることにより、障害者などへの支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33	P102
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組めます。	健康福祉局 各区	P34	P102
一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65	P106
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56	P113
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113
児童館整備・運営事業	小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。 ・東中田：大規模修繕工事（令和3年度）	子供未来局	P57	P113
地域交通運行確保・運行支援事業	市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。 ・坪沼地区：試験運行等「つぼぬま号」 ・秋保地区：試験運行等「ぐるりんあきう」	都市整備局	P28 P42	P123

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
たいはく思春期のいのちの授業	思春期を取り巻く関係機関とのネットワークの構築と中学生等への授業を通して「いのちの大切さ」の啓発活動を行います。	太白区	－	P111
太白区障害高齢支援連携事業	障害福祉サービス利用者の介護保険サービスへの円滑な移行を支援するための体制づくりや、高齢者・障害者を問わず地域で生活する上での様々な困りごとへの相談に包括的に対応できる体制づくりを進めます。	太白区	－	P103
学校教育施設整備事業	子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。 ・四郎丸小学校：改築工事（令和3年度） ・長町中学校：実施設計、改築工事（令和3～5年度） ・東長町小学校：実施設計、増築工事（令和3～5年度） ・富沢中学校：実施設計、増築工事（令和3～5年度） ・八木山小学校：大規模改修工事（令和3年度） ・西多賀中学校：大規模改修工事（令和3年度）	教育局	－	P112
コミュニティ・スクール推進事業	学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55	P112
学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55	P112



## （２）災害に強く、安全・安心に暮らせるまち

地域の特性に応じた市民一人ひとりの自助の力を高めるとともに、地域のネットワークを広げ、災害時要援護者対策を含めた共助の取り組みを推進し、災害に強いまちを目指します。地域や関係団体との連携による交通安全や防犯の取り組みも進め、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	－	P98
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。 ・長町駅	危機管理局	－	P98
地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	－	P108

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	－	P108
地域防災力向上事業	災害から命を守り、いざという時の適切な行動に備えるため、浸水想定区域等への自助・共助の仕組みづくりを支援するとともに、地域で安全迅速に避難し、住民の安否を確認できる共助の取り組みを推進します。	太白区	－	P98
地下鉄沿線まちづくり推進事業	人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85	P123
地域生活道路等整備事業	市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－	P109
下水道浸水対策事業	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88	P100

### (3) 豊かな地域資源を活かした賑わいと潤いのあるまち



太白区が持つ豊かな自然環境や民俗芸能、プロスポーツなどの地域資源を守り、磨き上げながら、その魅力を実感できるよう、学び、感じ、伝える機会や場を創出し、賑わいと潤いのあるまちづくりを推進します。

農地保全対策事業	農業の持つ多面的機能の維持・発揮のための活動支援により、地域農業の継続的発展と新たな耕作放棄地の発生抑止を図ります。また、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害の軽減を目的として、地域ぐるみの効果的な防除対策を推進するとともに、捕獲対策の強化・拡充を図ります。	経済局	－	P120
西部地区観光振興事業	温泉や自然、工芸など西部地区ならではの観光資源を生かした体験プログラムを発掘・創出し、効果的な魅力発信を行うことにより、西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。	文化観光局	P77	P121
都市公園整備事業	防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15	P95
秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業	秋保大滝周辺では、秋保大滝植物園や大滝れすとはうすを中心とした周遊性の向上に取り組めます。また、二口エリアでは、自然資源やビジターセンターの利用促進、適正な維持管理と情報発信を行うとともに、秋保の観光施設の今後のあり方を検討し、各市有施設の魅力向上と秋保全体の活性化につなげます。	文化観光局 建設局 太白区	P78	P121

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
生出地区活性化事業		生出地区において、生出地区まちづくり委員会の農業などを基軸とした活動について、大学などとの連携により活動を支援します。また、坪沼地区において、市民農園などの活用により主体的に課題解決に当たっている地域諸団体の活動を継続的に支援します。	太白区	P48	P106
秋保地区活性化事業		秋保地区において、地域団体などと連携し、豊かな自然や歴史などの地域の魅力を活かした交流活動や情報発信を支援するとともに、農産物の特産品化や地域の産直活動を支援するなど、観光振興による地域経済の活性化を図ります。	太白区	P49	P106
秋保地区交流人口拡大事業		秋保地域における交流人口の拡大を図るため、地域づくりを担う人材育成の支援や、地域資源の魅力の創出・発信などとともに、特産のそばを生かした地域ブランド向上、地域おこし協力隊を活用した空き家の利活用による移住促進などに取り組みます。	太白区	P78	P121
区民協働まちづくり事業	ディスカバーたいはく	太白区内の自然、史跡、名所などを訪れる「探訪会」を開催し、太白区の魅力を再発見する機会を提供します。	太白区	—	—
	太白区まち物語	地域の成り立ちや歩み、地域資源、生活史の移り変わりなどを地域住民によりまとめた手づくりの地域誌「まち物語」や小冊子、マップを製作する活動などを支援します。	太白区	—	—
	広瀬川灯ろう流し“光と水とコンサート”のタベ”事業補助	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしながら、川にまつわる自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援します。	太白区	—	—
	秋保ミュージアム環境整備支援事業（秋保）	秋保全体を中山間地ミュージアムと捉え、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光などの資源を発掘・整理し新たな視点で結び付けて、情報発信する取り組みを進めます。	太白区	—	—



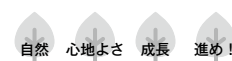
#### （４）幅広い世代が交流し、集い、活動が生まれるまち

住民との協働によるまちづくりや市民センターを拠点とした活動を通して、地域内の幅広い世代の交流を促し、多様性を尊重し互いに影響しあう機会を増やす取り組みを進めます。また、地域を越えた担い手同士の交流や新たな担い手育成を目的とした事業を展開するなど、地域づくり活動の活性化と協働の輪を広げ、交流と活動が活発な住民主体のまちづくりを推進します。

市民センター整備事業	地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・東中田：大規模修繕工事（令和３年度）	市民局	P42	P105
コミュニティ・センター整備事業	地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・袋原：大規模修繕設計、工事（令和３～４年度） ・大野田別館：大規模修繕設計、工事（令和４～５年度） ・人來田：大規模修繕設計、工事（令和４～５年度） ・芦の口：大規模修繕設計（令和５年度）	市民局 各区	P42	P105

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
町内会等住民自治組織支援・体力強化事業		市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	－	P103
市民センターによる地域づくり支援事業		市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64	P117
商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業		市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	－	P119
「小さくても未来へつながる連携」促進事業		太白区において、複雑化・高度化する地域課題を解決するため、課題の発掘や解決の支援を行い、異業種・多分野との実践的・創造的な連携を図り、新たな価値を創出します。また、事例を紹介するリーフレットを制作し、市民・企業などに周知することで連携のプロセスの可視化・共有化を図ります。	太白区	P45	P106
区民協働まちづくり事業	たいはく若者まちづくりフォーラム	太白区において、太白区まちづくり推進協議会との共催事業として、若者のまちづくりに対する意識の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成及び地域のまちづくり活動を推進します。	太白区	P47	P117
	太白区民まつり	文化活動などの多様な市民活動の発表や、商店会や農業者、地域団体の出店などにより、太白区における市民の総合的な交流の場を創出します。	太白区	－	－
	たいはくっこくらぶ	太白区内小学校5・6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、区内の自然・歴史・文化に触れて楽しく学ぶ「まちづくり塾」を開催し、児童の地域理解の促進と健全育成を図ります。	太白区	－	－
	地域づくりの担い手支援事業	区内の市民センターが、地域住民との協働で実施している地域づくりの担い手の交流やネットワーク化、人材の発掘・育成事業への支援を通して、地域住民主体の地域づくり活動の活性化を推進します。	太白区	－	－
	まつりだ秋保（秋保）	市民団体などによるステージ発表や地元野菜の直売など、地域特性を生かしたまつりの開催により、自然豊かな秋保地区を多くの市民にPRし、市民交流と地域活性化を図ります。	太白区	－	－
	秋保地区スポーツレクリエーション大会（秋保）	ニュースポーツを取り入れたレクリエーション大会を開催し、秋保地区の冬期間における地域住民の交流と世代間交流を図ります。	太白区	－	－
	元気もり森まもり隊	住宅地に隣接する都市緑地において、「仙台市森林アドバイザーの会」の協力のもと、地域住民との協働による、散策や環境整備などの緑地内での活動を実施し、今後の緑地のあり方や樹木・緑地の保全の大切さを伝えます。	太白区	－	－
	まちづくり活動助成事業（公募助成事業）	地域課題の解決や地域コミュニティの活性化などのために市民が自発的に取り組むまちづくり事業に対して助成を行います。	太白区	－	－

## (5) 多様な地域特性を活かせるまち



太白区は、秋保地域も含め、合併による区の成り立ちや地理的要因を踏まえた日常生活圏としての一体性、土地利用や都市機能などの特性に応じて、圏域ごとの動向や取り組みが異なります。それぞれの圏域が持つ地域特性に応じた、きめ細かなまちづくりを推進します。

※上記（１）～（４）に掲げる事業のうち各圏域において重点的に取り組むものを再掲しています。

地 域	事業名	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
① 南部拠点地域	商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業	経済局	－	P119
	地下鉄沿線まちづくり推進事業	都市整備局	P85	P123
	地域づくりの担い手支援事業	太白区	－	－
② 名取川右岸地域	地域防災リーダー養成・支援事業	危機管理局	－	P98
	児童館整備・運営事業	子供未来局	P57	P113
	地域防災力向上事業	太白区	－	P98
③ 丘陵住宅地域	下水道浸水対策事業	建設局	P88	P100
	地域交通運行確保・運行支援事業	都市整備局	P28, P42	P123
	地下鉄沿線まちづくり推進事業	都市整備局	P85	P123
	地域防災力向上事業	太白区	－	P98
	たいはく若者まちづくりフォーラム	太白区	P47	P117
④ 太白山周辺地域	農地保全対策事業	経済局	－	P120
	地域交通運行確保・運行支援事業	都市整備局	P28, P42	P123
	生出地区活性化事業	太白区	P48	P106
⑤ 秋保地域	農地保全対策事業	経済局	－	P120
	西部地区観光振興事業	文化観光局	P77	P121
	地域交通運行確保・運行支援事業	都市整備局	P28, P42	P123
	秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業	文化観光局 建設局 太白区	P78	P121
	秋保地区活性化事業	太白区	P49	P106
	秋保地区交流人口拡大事業	太白区	P78	P121

## 泉区

泉区は、市の北部に位置し、北西部にそびえる泉ヶ岳や七北田川などの恵まれた自然環境と、泉中央地区を中心に多様な機能が集積する本市北部の拠点としての都市機能を併せ持っています。泉区は仙台市の中でも、平成の間に最も人口が増加した区ですが、近年は高齢人口割合が最も高くなるとともに人口も減少に転じています。課題を地域ごとに見据えつつ、多様な資源や地域のつながり、泉中央地区などでの新しいまちづくりの動きも活かしながら、まち全体の持続的な活力を生み出す取り組みを進めていく必要があります。

「泉中央及びその周辺地域」では、泉区役所庁舎の建て替えを契機として、周辺エリアと一体となったまちづくりへの期待が高まっています。公共空間を利活用しながら多くの人を呼び込む魅力的なコンテンツの創出や効果的な情報発信など、さらなる賑わいづくりに向けた取り組みが求められています。

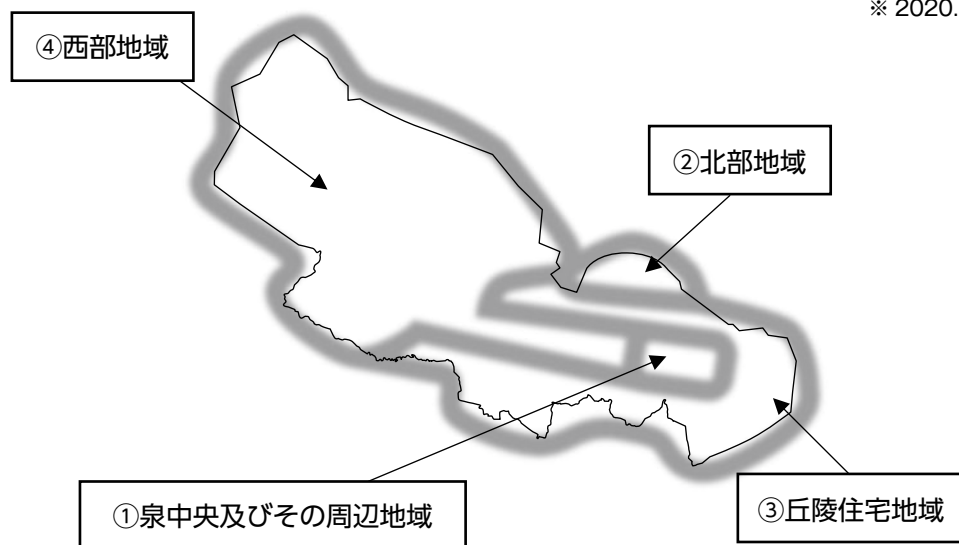
「北部地域」には、本市産業の新しい展開を先導する拠点として、先端技術を育む企業や産業支援機能を持つ研究所などが立地し、交通アクセスも良好なため、流通機能や大規模商業施設等も進出しています。職住近接で働きやすいライフスタイルを実現できる環境を今後も維持していく必要があります。

「丘陵住宅地域」には、区内市街地面積の大半を占める住宅団地があり、多くの緑地が良好に保全され、快適な居住環境を有している一方で、高齢化や人口減少の進展が予測されることから、快適に安心して住み続けられる環境づくりが求められています。

「西部地域」は、泉区のシンボルである泉ヶ岳の麓に田園風景が広がり、歴史と文化が色濃く根付いた地域です。これらを維持・活用しながら、自然を身近に感じ、触れあうことができるまちに向けた取り組みを進めていく必要があります。

泉区	
人 口	212,499 人
世帯数	93,577 世帯
面 積	146km <sup>2</sup>

※ 2020.10.1 現在推計人口



## (1) 一人ひとりが自分らしい心豊かな生活を送ることができる「安心」のまち



住み慣れた地域で安心した生活を送り続けられるよう、身近な地域での健康づくりや、自分の経験・能力を活かせる地域づくりの促進、防犯・交通安全対策の推進、自主防災活動の支援、地域づくりを担う人づくりなどを通して、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダーの養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開します。	危機管理局	－	P98
帰宅困難者対策事業	大規模災害発生時における、仙台市中心部などの交通結節点での帰宅困難者発生による、交通や避難所の混乱、二次災害の発生を防止し、避難所運営や救急救助、消火活動の円滑化を図るため、帰宅困難者対策を官民一体で推進します。 ・泉中央駅	危機管理局	－	P98
地域安全対策事業	特殊詐欺の対象となりがちな高齢者をはじめとした市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯団体への活動支援などを通じて、各地域における対策を推進します。また、迷惑行為の防止、人的連携や犯罪の起こりにくい環境づくりを進め、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を図ります。	市民局 各区	－	P108
交通安全対策事業	自動車や自転車による交通事故を防止するため、交通安全啓発活動を実施するとともに、安全・安心な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間の整備を行います。	市民局 各区	－	P108
障害者相談支援体制推進事業	障害者相談支援、市・区障害者自立支援協議会、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の取り組みを通じて、関係機関などが相互に連携を図ることにより、障害者などへの支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図ります。	健康福祉局 各区	P33	P102
高齢者生活支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、公的なサービスの充実だけでなく、地域資源の発掘や育成など、その特性に応じた支え合い体制づくりに取り組みます。	健康福祉局 各区	P34	P102
一般介護予防推進事業	65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106
市民健康づくり推進事業	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。	健康福祉局 各区	P65	P106
地域生活道路等整備事業	市民生活の基盤となる地域の生活道路について、子どもをはじめとした市民が地域で安全・安心に過ごせる環境づくりのため、交通安全対策や歩道整備、道路改良などを実施します。	建設局 各区	－	P109

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
下水道浸水対策事業		「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。	建設局	P88	P100
市民センターによる地域づくり支援事業		市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにとにも取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。	教育局	P64	P117
区民協働まちづくり事業	区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及啓発、泉区写真コンクール、ベガルタ仙台ホームタウンフェスタin泉などを実施します。	泉区	—	—
	まちづくり活動助成事業（公募助成事業）	地域課題の解決や地域コミュニティの活性化などのために市民が自発的に取り組むまちづくり事業に対して助成を行います。	泉区	—	—



## （２）魅力的なコンテンツを上手に活かし、人を呼び込める「にぎわい」のまち 進め！

交流人口の拡大を図り、まちににぎわいを生み続けていけるよう、多様な団体と連携したイベントの開催や、泉中央駅前広場・ペDESTリアンデッキの利活用を促進するほか、泉区役所庁舎の建て替えを契機に、周辺エリアと一体となったまちづくりを進めていきます。また、泉区の持つ多彩で魅力的なコンテンツの情報発信を推進し、にぎわいのさらなる向上を図ります。

商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業	市内商店街のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指し、商店街間の連携促進と個店の魅力発信を支援するとともに、来街者にとって安全で快適な環境を整備し、商店街機能の維持・向上を図ります。	経済局	—	P119
泉区役所建替事業	老朽化した泉区役所庁舎について、市民や周辺事業者などとも意見交換しながら、民間活力導入により建て替えるとともに、建て替えを契機として地域の活性化や課題の解決を図ります。	財政局 泉区	P86	P122
泉中央地区活性化事業	泉中央駅前広場や七北田公園において、周辺事業者や関係団体と連携しながら、にぎわいづくりのイベントを開催するなど、泉中央地区の活性化に資する取り組みを進めます。	泉区	P45	P123
地下鉄沿線まちづくり推進事業	人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。	都市整備局	P85	P123

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
大学連携地域づくり事業		地域課題の解決や活力ある地域づくりを進めるため、泉区内及び近隣の計6大学、泉区まちづくり推進協議会、泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、大学が地域と連携して取り組む地域づくり活動を支援します。	泉区	P47	P117
区民協働まちづくり事業	泉区民ふるさとまつり	区民のふるさと意識の醸成を図り、世代や地域を超えた新しいコミュニケーションの輪を広げていく場として、市民参加のイベントを開催します。	泉区	—	—
	泉区民文化祭	芸術文化活動の成果を発表する機会を設け、区民一人ひとりの文化向上に対する熱意を推進し、文化の香り高い泉区として発展することを目的に文化祭を開催します。	泉区	—	—
	いずみ朝市	地元の生産者などが、農産物や加工品など地場産品を直接消費者に提供することにより、生産者と消費者の交流と地域の振興を図ります。	泉区	—	—

### (3) みどり豊かな風景や四季折々の自然を身近に感じ、体験できる「癒し」のまち

都市機能と自然が調和したまちを維持、発展させていくため、豊かな自然資源や歴史資産、生活文化などを活用した観光振興を進めるとともに、魅力的な公園づくりを進めていくなど、市民協働により身近な癒しであるみどりの維持・向上に努めていきます。



西部地区観光振興事業		温泉や自然、工芸など西部地区ならではの観光資源を生かした体験プログラムを発掘・創出し、効果的な魅力発信を行うことにより、西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。	文化観光局	P77	P121
都市公園整備事業		防災・減災機能や良好な環境の構築、子どもの遊び場や市民の健康づくりのように、多様な機能を持つグリーンインフラとして、公園緑地の整備・再整備を推進します。	建設局 各区	P15	P95
泉区西部活性化事業		泉西部地区において、課題の共有や解決策の検討などを目的とした泉西部地区まちづくり懇談会を実施するとともに、課題解決に向けた取り組みを支援します。また、泉西部地区の情報発信を行い、当該地区の認知度向上や交流人口の拡大を図ります。	泉区	P49	P106
区民協働まちづくり事業	泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさととの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、区民の交流促進を図るため、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを開催します。	泉区	—	—
	七北田川クリーン運動	泉区のシンボルである七北田川の清掃と鮎の放流の活動を行うことにより、ふるさとへの愛着心と環境保護についての意識の高揚を図ります。	泉区	—	—
	泉ヶ岳利活用推進	里山再生を目的とした芳の平での下刈り作業やミズバショウ保全管理計画策定に向けたモニタリング調査などへの協力のほか、市民公募による自然観察をしながらの登山の開催や、リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布し、泉ヶ岳の魅力創出・発信に取り組めます。	泉区	—	—

#### (4) 洗練された街並みや日々の居心地のよさで選ばれ続ける「定住」のまち

住み続けたいと思える定住のまちとして選ばれ続けるよう、地域における子育て支援の取り組みや子連れ外出の環境整備など、子育て世代が安心して住むことができる環境づくりを進めるほか、地域交通の確保や買い物困難者への対応などの課題に取り組みます。また、地域での活動を通して、地域を知る、学ぶ機会を充実させるなど、地域への愛着を育む取り組みも推進します。

事業名	事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
市民センター整備事業	地域活動や生涯学習活動、市民の交流拠点である市民センターについて、中学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・将監：改築工事（令和3年度） ・高森：大規模修繕設計、工事（令和3～5年度） ・南中山：大規模修繕工事（令和3～4年度） ・松陵：大規模修繕設計、工事（令和4年度～） ・長命ヶ丘：大規模修繕設計（令和5年度） ・黒松：大規模修繕設計（令和5年度）	市民局	P42	P105
コミュニティ・センター整備事業	地域における活動・交流の拠点であるコミュニティ・センターについて、小学校区を基準として計画的に整備や修繕を実施します。 ・虹の丘：大規模修繕工事（令和3年度） ・鶴が丘：大規模修繕設計、工事（令和3～4年度） ・住吉台：大規模修繕設計、工事（令和3～4年度） ・南光台東：大規模修繕設計、工事（令和4～5年度）	市民局 各区	P42	P105
町内会等住民自治組織支援・体力強化事業	市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる町内会などの活性化・持続性の強化を図るため、財政的支援、表彰、町内会の運営に資する研修などを実施します。	市民局 各区	—	P103
のびすく運営事業	地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく（子育てふれあいプラザ等）」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。	子供未来局	P56	P113
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠を望んだ時期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113
児童館整備・運営事業	小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。 ・将監地域複合施設：建設工事（令和3年度） ・七北田：大規模修繕工事（令和3年度） ・根白石：大規模修繕工事（令和3年度） ・南光台東：大規模修繕実施設計、工事（令和3～4年度） ・住吉台：大規模修繕実施設計、工事（令和3～4年度） ・虹の丘：大規模修繕実施設計、工事（令和4～5年度） ・松陵：大規模修繕実施設計、工事（令和4～5年度）	子供未来局	P57	P113

事業名		事業内容の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
地域交通運行確保・運行支援事業		市民が暮らしやすいと感じるまちを実現するために、現行の路線バスの維持に努めながら、市民協働による乗合タクシーの導入など、地域に根ざした持続可能な移動手段の確保に向けた取り組みを行います。	都市整備局	P28 P42	P123
協働による郊外居住地課題対応事業		郊外居住地域における様々な課題に対応するための活動が効果的に推進されるよう、専門的知見やノウハウを持つ大学・民間事業者との連携を促進します。	泉区	－	P123
学校教育施設整備事業		子どもたちが安心・安全に学ぶことができる良好な教育環境をつくるため、狭あい化・老朽化した学校教育施設の改築を進めるとともに、建物の機能回復のための設備などの更新や、劣化を遅らせるための措置を講じることによる長寿命化、トイレの洋式化などの改修を行います。 ・七北田中学校：改築工事（令和3～4年度） ・泉松陵小学校：大規模改修工事（令和3年度） ・南光台東小学校：大規模改修工事（令和3年度） ・南中山小学校：大規模改修工事（令和3年度） ・仙台商業高等学校：大規模改修工事（令和3～4年度）	教育局	－	P112
コミュニティ・スクール推進事業		学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。	教育局	P55	P112
学校支援地域本部事業		学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。	教育局	P55	P112
区民協働まちづくり事業	泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行います。	泉区	－	－
	いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会などを開催します。	泉区	－	－
	地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を開催するほか、関係団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施します。	泉区	－	－
	青少年健全育成推進	少年の主張泉区大会や地球のステージの開催のほか、青少年健全育成標語コンクールを行うなど、青少年の健全な育成推進に取り組めます。	泉区	－	－

## 第5章 計画の推進

基本計画のまちづくりの理念や目指す都市の姿を実現するためには、事業の着実な推進のみならず実効性の確保に向けた取り組みが不可欠です。そのため、「第2章 チャレンジプロジェクト」における数値目標などの達成状況について評価・点検を実施するとともに、その結果をもとに次年度の予算への適切な反映に努め、計画的に事業を推進します。

## 1 進行管理の方針

### (1) 数値目標と年次計画の設定

「第2章 チャレンジプロジェクト」において数値目標を設定するとともに、各事業における計画期間中の年次計画を示します。

### (2) 市民意識調査の実施

「第2章 チャレンジプロジェクト」の目標に対応した市民意識、施策の評価、今後必要だと考えられる施策などについて、市民に対して意識調査を実施します。

### (3) 自己評価の実施

数値目標の達成状況や各事業の事業進捗を集約・整理し、市民意識調査の結果も踏まえて、事業の進捗にかかる自己評価を実施します。

### (4) 市民協働による評価・点検

自己評価の結果に基づき、市民参画イベントにより事業の評価・点検を実施します。

### (5) 評価・点検結果の公表と市議会への報告

市民意識調査、自己評価、市民参画イベントの結果を報告書として取りまとめ、ホームページなどで公表するとともに、市議会に報告します。

### (6) 評価・点検結果を踏まえた改善

報告書の内容や市議会の議論などを踏まえ、事業の改善や次年度の予算への反映に努めるなど、本計画に掲げる事業の着実な推進と実効性の確保を図ります。

# 参考

チャレンジプロジェクトと SDGs の対応表、新型コロナウイルス感染症対策事業一覧を示します。

# 1 チャレンジプロジェクトとSDGsの対応表

SDGs（Sustainable Development Goals）とは2015年の国連サミットで採択された2030年までの持続可能な開発目標です。持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴール、169のターゲットを定めています。8つのプロジェクトはSDGsの達成にも貢献するため、SDGsを共通言語として、同じ目的意識を持った方々との協働を重ね、プロジェクトを推進していきます。

下表では、「第2章 チャレンジプロジェクト」の各施策とSDGsの17の目標との対応関係を示します。

	SDGsの17の目標																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
<b>1 杜と水の都プロジェクト</b>						○			○		○			○	○		○
青葉山エリア魅力創出						○			○		○				○		○
グリーンインフラを活用した都心まちづくり									○		○				○		○
杜の都の景観を彩るみどりのまちづくり									○		○				○		○
交遊の海辺づくり推進											○			○	○		○
<b>2 防災環境都市プロジェクト</b>			○		○		○		○		○	○	○				○
防災環境都市づくり推進					○				○		○						○
新型コロナウイルス感染拡大防止			○														○
防災・減災発信強化											○		○				○
消防体制強化推進			○		○						○						○
脱炭素都市づくり推進							○				○	○	○				○
資源循環都市づくり推進											○	○	○				○
都市交通戦略推進			○						○		○		○				○
<b>3 心の伴走プロジェクト</b>	○		○		○					○	○					○	○
インクルージョン推進					○					○							○
地域支えあいの基盤づくり	○		○		○					○	○						○
社会的自立支援	○				○					○	○						○
子どもの安全・安心確保	○		○		○					○						○	○
心を支える取り組み推進	○		○		○					○							○
<b>4 地域協働プロジェクト</b>				○	○				○	○	○						○
協働が生まれる基盤整備					○				○		○						○
地域づくりパートナーシップ推進					○					○	○						○
ユースチャレンジ推進				○	○					○	○						○
西部地区活性化									○		○						○

	SDGsの17の目標																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任　つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
<b>5 笑顔咲く子どもプロジェクト</b>	○		○	○	○											○	○
挑戦する力を育てる学び推進				○	○												○
個性に応じた一人ひとりの学び推進	○		○	○	○												○
学校・地域・家庭の協働による学びや成長の環境づくり推進				○	○												○
切れ目のない子育て支援	○		○	○	○											○	○
子育て応援社会推進			○	○	○											○	○
<b>6 ライフデザインプロジェクト</b>			○	○	○			○		○							○
多彩な学びと実践の環境づくり推進				○													○
多様な主体の活躍推進				○	○			○		○							○
ヘルスケア向上推進			○		○			○									○
<b>7 TOHOKU 未来プロジェクト</b>		○						○	○		○						○
ローカルイノベーション推進								○	○								○
起業支援								○	○								○
地域経済循環促進								○	○								○
農業振興		○						○	○								○
仙台・東北交流人口拡大								○	○		○						○
仙台観光コンテンツ創出								○									○
西部地区魅力向上推進								○			○						○
<b>8 都心創生プロジェクト</b>								○	○		○	○					○
都心のビジネス環境向上								○	○		○	○					○
巡りたくなる都心の魅力づくり								○	○		○						○
<b>9 市政運営</b>				○	○			○	○		○	○				○	○
持続可能な都市基盤づくり推進									○		○	○					○
公共施設経営推進									○		○	○					○
公共インフラ災害対策									○		○	○					○
ガス事業民営化推進											○	○					○
人材育成機能・組織力強化				○	○			○									○
デジタル化推進									○							○	○

## 2 新型コロナウイルス感染症対策事業一覧

「第3章 施策の一覧」に掲載されている事業のうち、新型コロナウイルス感染症対策に資する事業について、その取り組みの内容を掲載します。

### (1) 市民の「命」を守る医療・検査体制の確立

事業名	新型コロナウイルス感染症対策の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
自殺対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う失業や休業等による生活苦などからの自死を未然に防止するため、相談体制の強化として、対面相談とSNS相談を拡充します。	健康福祉局	P38	P107
新型コロナウイルス感染拡大防止事業	世界中で蔓延する新型コロナウイルス感染症に対応するため、相談体制や宿泊療養施設などの感染症医療提供体制の確保に向けた取り組みを推進するとともに、ワクチンの接種体制を整えます。	健康福祉局	P21	P108
救急高度化推進事業	新型コロナウイルス感染症に適切に対応できるようメディカルコントロール体制の充実を図るとともに、感染防止用資器材の適切な整備・運用を行うほか、必要数の備蓄を行うなど、より高度で円滑な救急搬送体制の整備を推進します。	消防局	－	P107

### (2) 市民の「暮らし」を支える感染症にも強い地域社会づくり

避難所等備蓄物資管理事業	避難所における新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等の備蓄を行います。	危機管理局	－	P98
帰宅困難者対策事業	東日本大震災の教訓や感染症防止の観点から一斉帰宅の抑制や時差帰宅の推奨について、チラシなどによる周知啓発を事業所や学校で行います。	危機管理局	－	P98
防災環境都市づくり推進事業	関係機関や地域などとのネットワークを生かしながら、地震・津波だけでなく、風水害や感染症などの新たな都市の課題にも対応できるステークホルダーの育成に努めます。	まちづくり政策局	P19	P97
デジタル化推進事業	行政手続きや市民サービス、地域・経済活動、市役所の内部業務など、市政の幅広い範囲においてデジタル化を推進します。	まちづくり政策局	P90	P125
ドメスティック・バイオレンス等の防止・被害者支援事業	ドメスティック・バイオレンスと性暴力の根絶に向けて啓発を実施するとともに、被害者の相談対応や回復・自立に向けた支援を行い、適切な支援につなげられる環境づくりを進めます。	市民局	－	P101
消費生活安全・安心推進事業	新型コロナウイルス感染症に関連した悪質商法などへの注意喚起を行います。また、最新で正確な情報を提供することで、適切な消費行動を促します。	市民局	－	P108
福祉避難所の機能強化事業	避難所における新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等の備蓄を行います。	健康福祉局	－	P98
生活困窮者自立支援事業	仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」において、新型コロナウイルス感染症により生活に大きな影響を受けた方の相談に応じ、自立に向けた伴走支援を実施します。また、仙台市家計相談プラザにおいて、生活困窮者の家計に関する課題解決を支援します。	健康福祉局	P35	P104

事業名	新型コロナウイルス感染症対策の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
障害理解促進事業	障害理解の普及啓発により、障害を理由とする差別の解消や合理的配慮の提供に取り組みます。特に、点字ややさしい日本語版など障害種別に応じた情報保障を推進します。	健康福祉局	P31	P101
一般介護予防推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響による外出の機会減少や地域団体の活動休止等により停滞している高齢者の健康づくり活動の再開や活性化を支援するため、地域の活動に健康運動指導士を派遣し、市民による介護予防の活動を支援します。	健康福祉局 各区	P65	P106
市民健康づくり推進事業	外出控えにより在宅で過ごす時間が多くなる中、日常生活における活動量の低下と体重増加に伴う生活習慣病のリスクを低減させるため、「新しい生活様式」の視点を取り入れた健康づくりを推進します。	健康福祉局 各区	P65	P106
いじめ防止等対策推進事業	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図るため、学校の対応力強化や相談窓口による支援の充実など各般のいじめ防止等対策を、施策の検証による不断の見直しを行いながら、関係機関と連携して総合的に推進します。	子供未来局 教育局	P37	P111
子ども・子育てを応援する各種プロジェクト展開事業	新型コロナウイルス感染症の影響下において、多様な主体間の連携のスキームや各種プロジェクトのあり方について検討を進め、多様な主体との連携を通じて、子ども・子育てを応援する具体的な取り組みを展開します。	子供未来局	P59	P114
ひとり親家庭等支援推進事業	多様で複層的な課題を抱える家庭に対して、総合的な支援をする仕組みづくりとして、各区保健福祉センターなどにおいて相談窓口の充実を図ります。	子供未来局	P35	P104
児童虐待防止推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により子どもの見守りの機会が減少しているため、支援の必要性が高い児童等の居宅訪問などにより、生育状況の把握や食事の提供、学習・生活指導等を行うとともに、関係機関とも連携しながら、必要な支援につなげることができるよう支援体制の強化を図ります。	子供未来局	P37	P101
子どもの居場所づくり推進事業	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会と連携し、子ども食堂への経費助成を行うほか、運営団体相互のネットワーク化などに取り組むことで、地域における子どもの居場所づくりを推進します。	子供未来局	P38	P114
妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業	十分な感染防止対策を講じながら、妊産婦からの相談への対応や訪問指導を行うとともに、支援が必要な妊産婦の見守りの強化や、オンラインを活用した相談や交流の機会の拡充をするなど、安心して子どもを産み育てることができる環境の構築を図ります。	子供未来局 各区	P57	P113
放課後児童クラブ推進事業	新型コロナウイルス感染症の発生時期や学校の臨時休業期間中、医療従事者など社会の機能を維持するために就業を継続する必要がある方や、ひとり親家庭などで仕事を休むことが困難な家庭の児童が安心して過ごすことができるよう、児童館等における、児童の受け入れ体制の確保を図ります。	子供未来局	P55	P112

事業名	新型コロナウイルス感染症対策の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
保育施設・幼稚園における保育の提供体制充実事業	新型コロナウイルス感染症の発生時期においても、医療従事者など社会の機能を維持するために就業を継続する必要がある方や、ひとり親家庭などで仕事を休むことが困難な家庭の児童が安心して過ごすことができるよう、保育所、幼稚園等における、児童の受け入れ環境の確保に向けた支援を行います。	子供未来局	P58	P113
児童相談所機能強化事業	保護者の新型コロナウイルス感染により、養育者が不在となり一時保護が必要となった児童を受け入れる環境整備を行います。	子供未来局	P38	P102
環境教育・学習推進事業	「せんだい環境学習館たまきさんサロン」において、多様なテーマのサロン講座のほか、動画などを活用した児童生徒の学習や環境団体の活動の場の提供など、拠点施設としての機能の充実を図ります。	環境局	P26	P97
ごみ減量・リサイクル推進事業	分別・排出の方法などに関するわかりやすく適切な情報発信を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図ります。	環境局	P26	P96
ごみ処理施設整備事業	今後のごみ処理体制について、ごみ質の変化や排出量等だけでなく、感染症の流行下においても市民生活における衛生的な環境を維持する観点も含め、安定的な体制の確保に向けた検討を行います。	環境局	—	P97
多文化共生推進事業	仙台で暮らす外国人住民を支援するため、仙台多文化共生センターにおいて生活情報の提供や多言語相談対応のほか、専門家による相談会開催、通訳サポート電話の運営などを行います。	文化観光局	P31	P101
学校における働き方改革推進事業	学校における消毒作業などを担う教職員以外の人員体制の充実を図ります。また、学校のICT環境の整備を進め、ICTを活用した業務の充実と効率化を進めます。	教育局	P53	P111
ICT教育推進事業	ICTの活用により、感染症や自然災害などによる臨時休業や不登校児童生徒、病気療養中の児童生徒への支援など、様々な状況に対応した学びを保障するため、遠隔教育を推進します。	教育局	P51	P111
確かな学力育成事業	児童生徒の学習内容の定着状況に目を配り、児童生徒一人ひとりの学びをフォローアップし、学習の質の向上を図ります。また、新型コロナウイルス感染症への対応も意識し、児童生徒の継続的な学びの機会の確保に取り組んでいきます。	教育局	P52	P111

### (3) 仙台的「経済」の活性化とまちの賑わいの創出

定禅寺通活性化推進事業	コロナ禍における屋外空間活用ニーズの高まりなどを踏まえ、官民連携による歩行者空間などの利活用や情報発信・集客コンテンツの企画・運営にあたっては、新しい生活様式なども参考に実施することを推進します。	まちづくり政策局	P12 P82	P122
地元企業成長促進事業	ECサイト等の活用により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元中小企業の販路拡大や発信力強化を支援します。また、新型コロナウイルス感染症の影響による消費行動、消費者ニーズの変化に対応するため、新規事業や業態転換など既存のビジネス手法の変更・改善に果敢に挑戦する意欲のある事業者を支援します。	経済局	P72	P119

事業名	新型コロナウイルス感染症対策の概要	担 当	チャレンジプロジェクト	施策一覧
人材確保定着・雇用対策事業	企業の人材確保と新規卒業者などの就職活動を支援するため、企業の採用活動のオンライン化を支援するとともに、学生や求職者などに対して、オンラインでの就職活動の支援を行います。	経済局	P72	P119
中小企業経営基盤強化事業	新型コロナウイルス感染症により表出した、中小企業が抱える人材育成や事業継承などの経営課題の解決、経営力・競争力の強化、生産性の向上などに向けた取り組みを支援するため、相談窓口を開設するとともに、経営者の育成に資するセミナーなどを実施します。	経済局	P72	P119
中心部商店街活性化促進事業	新しい生活様式に対応するため、経営の多角化や業態転換に取り組む事業者が増えている中で、都心部の公園や道路等を活用し、キッチンカーによる販売機会の創出を図り、移動販売の可能性と課題を検証します。	経済局	P82	P122
クリエイティブ産業振興事業	優れたデザインを活用した高付加価値商品の開発・販路開拓を促進するため、ウェブサイト「暮らす仙台」を活用し、地域産品事業者のBtoC販売を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店等の商品・サービスのPRに取り組みます。	経済局	－	P118
商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業	新型コロナウイルスの影響により来街者が減少する中で、感染症対策を行いながらにぎわい創出と売上げ回復に繋がる事業を実施する商店街を支援します。	経済局	－	P119
中小企業金融支援事業	感染症や災害などの影響を受けた中小企業者に対し、セーフティネット保証等融資制度により、金融支援を行います。	経済局	－	P119
成長産業振興事業	新たな日常への移行により生じる社会的課題を新事業創出の機会と捉え、AIやIoTなどのICTを活用した課題解決と事業化への取り組みを支援します。	経済局	P20 P70	P118
ウェルビーイング産業振興事業	コロナ禍における介護現場での課題解決に資する製品・サービス開発の支援などにより、ウェルビーイング産業を振興し、地元中小企業に多くの事業機会を創出します。	経済局	P66	P118
起業支援事業	新型コロナウイルスの影響による社会の変化を見据えたイノベーションの創出や、顕在化した社会的課題の解決などを目指す起業家を優先的に支援します。	経済局	P71 P80	P118
国際経済交流事業	新型コロナウイルスの影響による社会の変化を見据えて、オンライン商談会などを活用した海外展開を支援します。	経済局	－	P119
企業立地促進事業	関係機関と連携し、誘致対象分野の情報収集を行うとともに、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを実施します。	経済局	P70 P80	P118
東北観光推進事業	自宅に居ながら地域の多様な魅力を体験できるオンラインツアー等の推進により、東北への来訪意欲の喚起や地域活性化を目指します。	文化観光局	P74	P121

事業名	新型コロナウイルス感染症対策の概要	担 当	チャレンジ プロジェクト	施策一覧
観光客誘致宣伝事業	コロナ禍を契機に重要性が増している域内観光なども踏まえた国内プロモーションの推進のため、伊達文化交流事業、伊達武将隊を活用した観光客誘致事業、仙台を代表するまつりや観光アンバサダーなどを活用した仙台市の認知度向上と誘客促進などを実施します。	文化観光局	P75	P121
まつり等開催支援事業	新型コロナウイルス感染症対策などを踏まえ、仙台七夕まつりや仙台・青葉まつり等の大型観光イベントに対する支援等を行うほか、各イベントの会議などに参加し、企画・運営に参画します。	文化観光局	P76	P120
仙台観光魅力創出事業	コロナ禍を契機とした新たなニーズやトレンドを踏まえて、新しい旅のスタイルや誘客の多角化につながるコンテンツの創出を図ります。	文化観光局	P76	P121
西部地区観光振興事業	来訪者の属性の分析などといったデジタルマーケティングを実践し、コロナ禍を契機に重要性が増している域内需要の増加も視野に誘客促進を図ります。	文化観光局	P77	P121
インバウンド推進事業	新型コロナウイルス感染症が収束する時期を見据えて、新しい旅のスタイルや訪日旅行の多角化などに対応した受入環境の充実を図るとともに、外国人の視点を取り入れた新たな観光資源の発掘・磨き上げを行います。	文化観光局	P75	P121
MICE推進事業	新しいMICE開催形式のひとつとなることが想定されるオンラインとのハイブリット形式の会議にも対応しながら、誘致セールスを推進します。	文化観光局	P75	P121
国際スポーツイベント等の開催・招致事業	新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、仙台を代表するスポーツイベントである仙台国際ハーフマラソンを開催します。	文化観光局	P76	P115
文化芸術によるまちの魅力づくり事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新たな試みを行いながら文化芸術活動に取り組む地域の文化芸術関係者を支援します。	文化観光局	P61	P115
まち再生・まち育て活動支援事業	新しい生活様式を踏まえ、屋外での密集しない程度の日常的なにぎわいや、テイクアウト等による経済活動の場を創出するため、地域のまちづくり団体等と連携し、公共空間利活用を推進します。	都市整備局	P43 P83	P122
まちなか建替促進事業	新型コロナウイルスの影響などにより、建て替え計画の検討が困難となっている中小規模の事業者に対して、計画検討などの新たな支援について検討を進めます。	都市整備局	P81	P122
まちなかウォークアップ推進事業	居心地がよく歩きたくなるまちなか空間を形成するとともに、コロナ禍にも対応したオープンスペースの利活用を推進するため、公共空間等における滞在環境の向上に取り組みます。	都市整備局	P83	P122



